

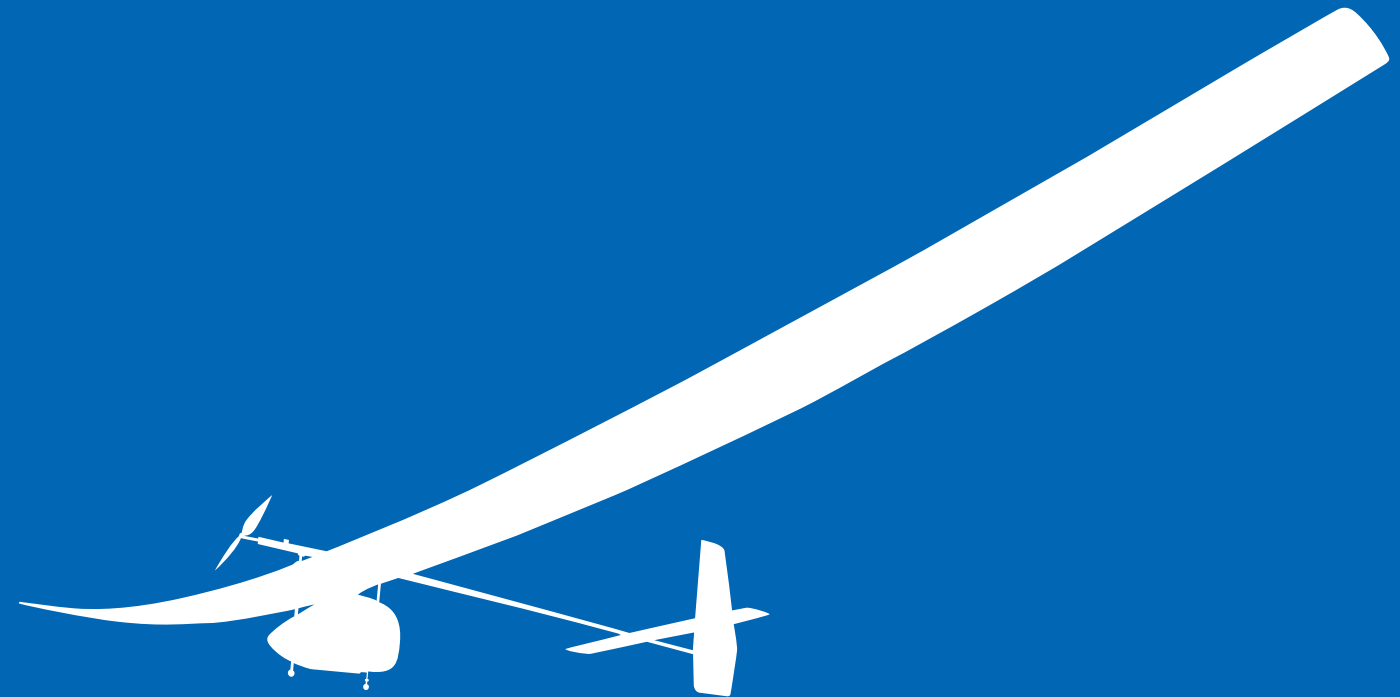
MAP

- 大岡山キャンパス 東京急行大井町線・目黒線（大岡山駅下車徒歩1分）
- すすかけ台キャンパス 東京急行田園都市線（すすかけ台駅下車徒歩5分）
- 田町キャンパス JR山手線・京浜東北線（田町駅下車徒歩2分）



科学と技術で未来を創造する
2011年、創立130周年

東京工業大学プロフィール 2009/2010



国立大学法人東京工業大学 広報センター

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1

Tel: 03-5734-2975 Fax: 03-5734-3661

URL: <http://www.titech.ac.jp/>

2009年12月発行

世界最高の理工系総合大学へ



東京工業大学長 伊賀健一

東工大は世界最高の理工系総合大学を目指しています。創立130年事業を中心に「大学力」を高め、新しい価値を創り出す大学として、学術界、産業界、世界に貢献していきます。

東京工業大学(東工大: Tokyo Institute of Technology)は、1881年設置の東京職工学校、蔵前に位置した東京高等工業学校を経て1929年に大学となって以来128年余の歴史をもち、2011年には創立130年を迎えます。常に産業のフロントを切り拓き、頼りになる東工大人材を育ててきました。「流石は東工大」というイメージは、密度の高い専門教育とユニークな卓越研究に基づいた内外からの評価です。

東工大は、理学、工学、生命理工学の3学部、理工学(理学、工学)、生命理工学、総合理工学、情報理工学、社会理工学、イノベーションマネジメントの6大学院研究科、資源化学、精密工学、応用セラミックス、原子炉工学の4附置研究所、そして約30の研究教育施設・センターにより、社会、産業界の要請に応えてきました。「理工へ行くなら東工大」、「学生をとるなら東工大」です。これから激変する産業、社会構造に対応すべく、先端科学技術、融合領域、新規領域などに意欲的に取り組み、多様性のあるそれぞれの分野で、本学が誇る多彩な教授・准教授・助教の教職員・研究員が国際的に活躍し、先導的な役割を果たしています。

文部科学省の21世紀COE(Center of Excellence)は、本学が世界に誇るもっとも強い12の研究分野で世界研究教育拠点を形成しました。後継事業のグローバルCOEでは、2007年度に5チーム、2008年度に3チーム、2009年度に1チームが採択され、合計9チームが活動しています。2005年には、文部科学省のプログラムで“統合研究院”が設立されました。異なる研究分野の研究者を結集して、想定した重要課題解決を図るソリューション研究を中心に2010年度より研究所群が引き継ぎます。また、教育分野においても文部科学省の2007年度以来大学院教育改革プログラムに7チームが採択され、イノベーション人材、および、男女共同参画プログラムも2008年度にスタートしました。

本学の創造性豊かな教育に伴い、ノーベル賞受賞者の白川英樹博士をはじめ、数多くの優れた人材を世に送り出してきました。確かな基礎力を修得した「創造型人間」の育成を目指しています。“ものづくり教育研究支援センター”と密接に連携し、実践の場で“もの

づくり”に自主的・主体的に取り組み、確かな基礎学力と深い専門性の修得へと訓練するという独自のプログラムもあります。

特筆すべきものとして、四大学連合、進化を続けるスーパーコンピュータ“TSUBAME”の幅広い稼働、世界に開かれた若手研究者のGlobal Edge Instituteの設立、国際的リーダーシップを育む東工大・清華大合同大学院の開設、さまざまな国際連携、組織的・戦略的な産学連携など、東工大は世界に窓を開いています。2009年のTHE-QS大学世界ランキング55位、同工学分野19位、鳥人間コンテストや合唱コンクールでの優勝など、国内外での評価を得ています。

創立130周年記念事業として、「東工大130」を立ち上げ、教育、研究、貢献を3本柱として重点的に“東工大らしさ”を出そうと努力しています。その一環として大岡山キャンパスに新しい図書館を建設中で、すずかけ台キャンパスには産学共同体棟ともいふべき建物を建設予定です。また、附属科学技術高校を含む町田キャンパスの有効利用を進めます。これには本学同窓会としての「蔵前工業会」が強い味方で、大学の“同窓力”を高め、社会との交流を目指します。そのための「場」として、大岡山に東工大蔵前会館が2009年5月26日の創立記念日に竣工し、広く皆様にもお使いいただいています。

しかし、大きく変化する世界に対応できる大学として進化する必要があります。「東工大ビジョン2009」と名付けた計画をもとにさらなる改革を行います。



東工大本館時計塔(水晶時計発祥の地)

東京工業大学の歩み

- 1881.5 東京職工学校設立
- 1890.3 東京工業学校と改称
- 1901.5 東京高等工業学校と改称
- 1929.4 東京工業大学へ昇格
- 1949.5 国立東京工業大学新設、工学部設置
- 1953.4 大学院工学研究科設置
- 1954.4 建築材料研究所、資源化学研究所、精密工学研究所、窯業研究所を整備
- 1955.7 工学部を理工学部に改称
- 1956.4 大学院工学研究科を大学院理工学研究科に改称
- 1958.4 建築材料及び窯業研究所を統合し、工業材料研究所附置
- 1964.4 原子炉工学研究所附置
- 1967.6 理工学部に理学部、工学部に分離
- 1975.4 大学院総合理工学研究科設置
- 1990.6 生命理工学部設置
- 1992.4 大学院生命理工学研究科設置
- 1994.4 大学院情報理工学研究科設置
- 1996.4 大学院社会理工学研究科設置
- 5 工業材料研究所を応用セラミックス研究所に改組
- 2004.4 国立大学法人東京工業大学設立
- 2005.4 大学院イノベーションマネジメント研究科設置
工学部附属工業高等学校を改組し、附属科学技術高等学校を設置



シンボルマーク
左のシンボルマークは、1948年、当時東京美術学校教授の掘進二氏の図案によるもので、工業の「工」の字につばめを「大」の字に図案化して配しています。「工」の字は窓を象っており、学窓の意味をも象徴しています。また、「つばめ」は、瑞鳥として古くから愛されています。



ロゴマーク
2007年、大学のブランド力を高める戦略として“TOKYO TECH Pursuing Excellence”をキャッチフレーズとし、ロゴマークを定めました。東工大ブランドを世界に向けて発信することを目的とした本学の理念を込めたメッセージです。



東工大 略称
2002年、それまで全学的に統一されていなかった略称に関する申し合わせを制定しました。日本語略称は「東工大」、英文表記上の略称は「Tokyo Tech」です。また、「Tokodai」の愛称も使われています。



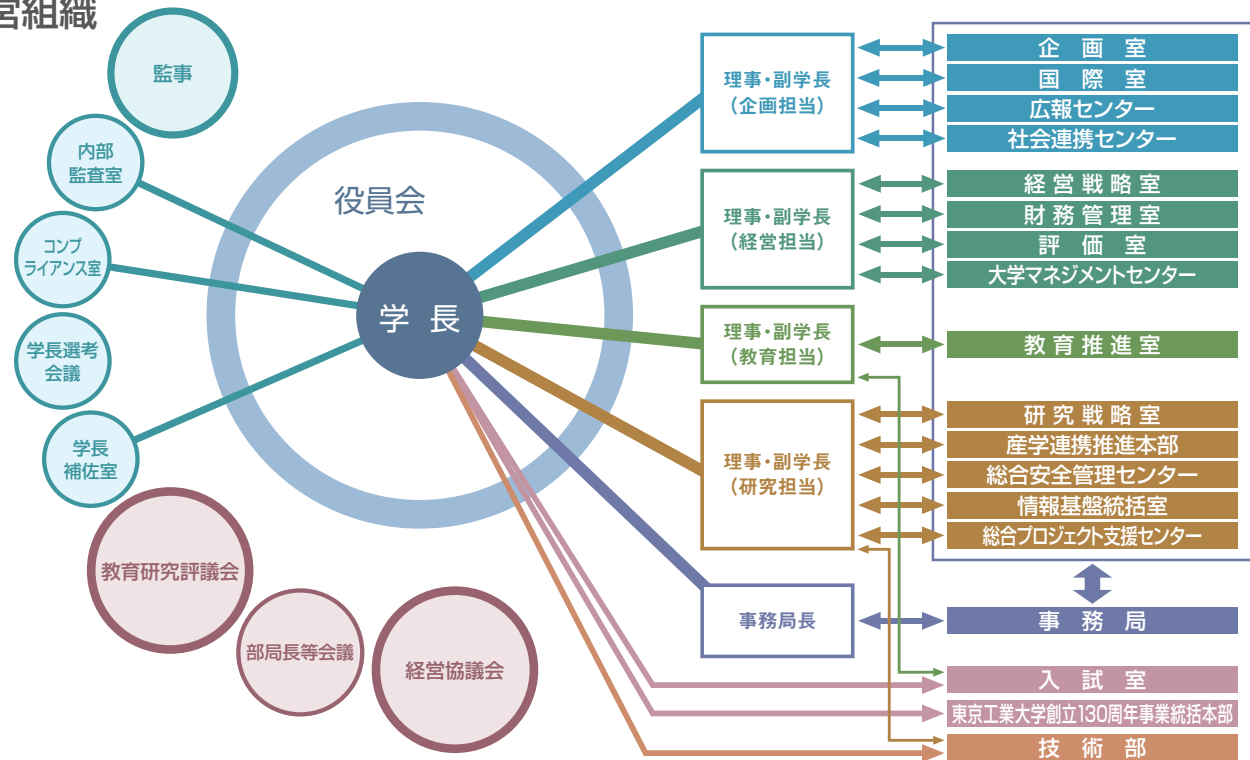
スクールカラー
2004年春、それまで明文化されていなかった「スクールカラー」を定めました。この色は「ロイヤルブルー」とも呼ばれ、躍進と進化を象徴する色です。

- CONTENTS
- 組織 2
- 財務 3
- 学部 5
- 大学院 6
- 研究所・施設・センター等 9
- 附属図書館・附属高等学校 1
- 職員・学生・研究員数等 2
- 入学・卒業状況等 7
- 研究プログラム 9
- 産学連携 4
- 教育プログラム 6
- 国際連携 9
- キャンパスマップ 6
- 歴史 10
- 役員等紹介 5

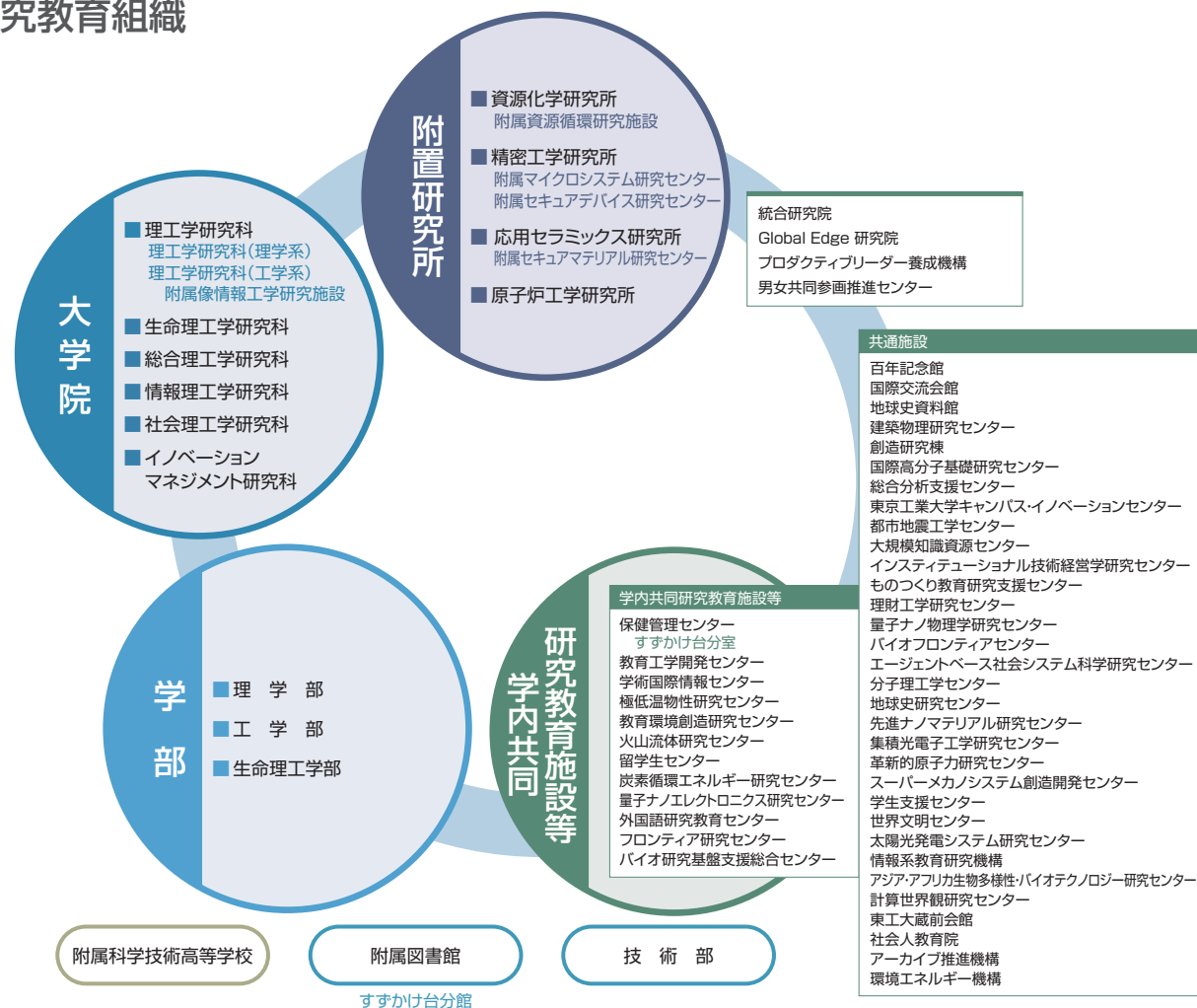
組織

組織

運営組織



研究教育組織



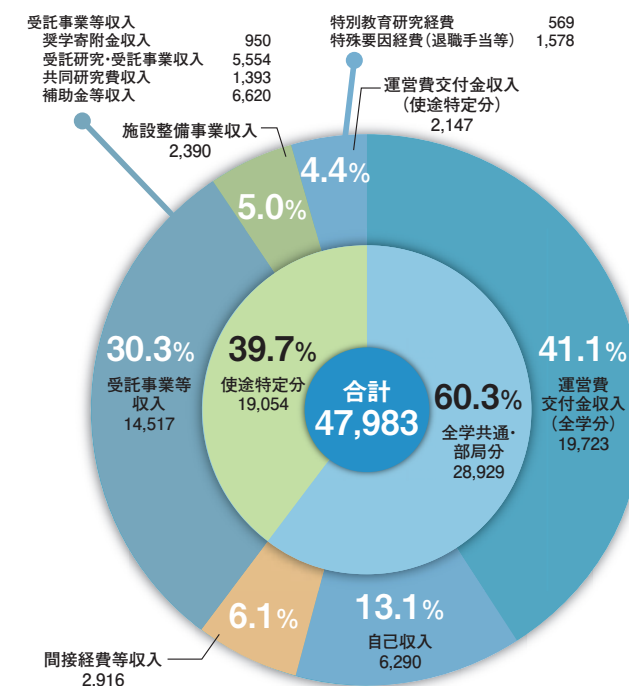
財務

財務

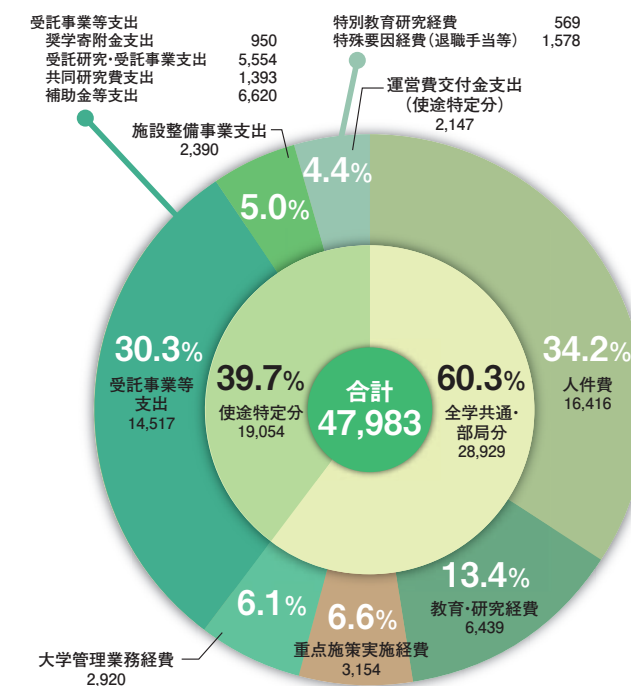
平成21年度収入と支出(見込)

(単位:百万円)

収入額内訳



支出額内訳



貸借対照表

(平成21年3月31日)

(単位:百万円)

| 資産の部 | 金額 | 負債の部 | 金額 |
|--------------|---------|----------------|---------|
| 固定資産 | 213,707 | 固定資産 | 19,739 |
| 有形固定資産 | 210,492 | 資産見返負債 | 19,020 |
| 土地 | 139,338 | その他の固定負債 | 718 |
| 減損損失累計額 | △2 | 流動負債 | 17,225 |
| 建物 | 63,775 | 運営費交付金債務 | 666 |
| 減価償却累計額 | △13,606 | 寄附金債務 | 4,985 |
| 構築物 | 3,553 | 前受金 | 7 |
| 減価償却累計額 | △1,139 | 預り科学研究費補助金等 | 629 |
| 工具器具備品 | 31,414 | 未払金 | 8,065 |
| 減価償却累計額 | △21,118 | その他の流動負債 | 2,870 |
| 建設仮勘定 | 578 | 負債合計 | 36,965 |
| その他の有形固定資産 | 7,700 | 純資産の部 | |
| 無形固定資産 | 397 | 資本金 | 179,557 |
| 投資その他の資産 | 2,817 | 政府出資金 | 179,557 |
| 投資有価証券 | 1,800 | 資本剰余金 | 9,072 |
| その他の投資その他の資産 | 1,017 | 資本剰余金 | 25,105 |
| 流動資産 | 14,299 | 損益外減価償却累計額等(一) | △16,032 |
| 現金及び預金 | 9,154 | 利益剰余金 | 2,411 |
| その他流動資産 | 5,145 | 目的積立金 | 1,454 |
| 資産合計 | 228,006 | 積立金 | 241 |
| | | 当期未処分利益 | 715 |
| | | 純資産合計 | 191,041 |
| | | 負債・純資産合計 | 228,006 |

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

損益計算書

(平成20年4月1日~平成21年3月31日)

(単位:百万円)

| 負債の部 | 金額 |
|-----------------------|--------|
| 経常費用(A) | 41,452 |
| 業務費 | 38,670 |
| 教育経費 | 2,553 |
| 研究経費 | 6,941 |
| 教育研究支援経費 | 2,368 |
| 受託研究費 | 6,139 |
| 受託事業費 | 370 |
| 役員人件費 | 108 |
| 教員人件費 | 13,877 |
| 職員人件費 | 6,310 |
| 一般管理費 | 2,466 |
| 財務費用 | 36 |
| 雑損 | 279 |
| 経常収益(B) | 42,099 |
| 運営費交付金収益 | 21,987 |
| 学生納付金収益 | 4,327 |
| 受託研究等収益 | 7,267 |
| 受託事業等収益 | 385 |
| 寄附金収益 | 1,125 |
| 補助金等収益 | 2,327 |
| 施設費収益 | 101 |
| その他の収益 | 4,577 |
| 臨時損益(C) | - |
| 目的積立金取崩額(D) | 68 |
| 当期総利益(当期総損失)(B-A+C+D) | 715 |

(記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。)

財務

外部資金の変遷

(単位:千円)

| 年度 | 奨学寄附金 | | 受託研究費 | | 共同研究費 | | 科学研究費補助金 | | 合計金額 |
|--------|-------|-----------|-------|---------------------|-------|---------------------|----------|---------------------|------------|
| | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 金額 | 件数 | 交付金額 | |
| 1993年度 | 1,244 | 1,553,966 | 90 | 292,233 | 21 | 132,952 | 622 | 2,278,270 | 4,257,421 |
| 1994年度 | 1,151 | 1,505,344 | 96 | 294,805 | 31 | 113,566 | 719 | 2,539,907 | 4,453,622 |
| 1995年度 | 1,165 | 1,514,461 | 110 | 934,342 | 32 | 81,506 | 860 | 3,429,317 | 5,959,626 |
| 1996年度 | 1,219 | 1,497,442 | 128 | 1,482,465 | 43 | 130,032 | 878 | 3,686,766 | 6,796,705 |
| 1997年度 | 1,153 | 1,373,547 | 179 | 1,980,309 | 61 | 313,719 | 883 | 3,922,595 | 7,590,170 |
| 1998年度 | 1,054 | 1,308,346 | 218 | 2,318,725 | 57 | 245,140 | 944 | 3,646,626 | 7,518,837 |
| 1999年度 | 1,058 | 1,073,273 | 216 | 2,715,194 | 81 | 369,526 | 943 | 3,892,840 | 8,050,833 |
| 2000年度 | 952 | 1,142,806 | 214 | 2,632,039 | 114 | 485,958 | 911 | 3,787,345 | 8,048,148 |
| 2001年度 | 916 | 1,002,015 | 175 | 1,416,838 (97,849) | 149 | 551,852 | 901 | 4,219,317 (275,220) | 7,190,022 |
| 2002年度 | 953 | 1,055,472 | 202 | 1,287,123 (61,264) | 207 | 889,290 | 903 | 4,111,805 (355,830) | 7,343,690 |
| 2003年度 | 929 | 1,040,681 | 238 | 2,519,600 (95,250) | 264 | 863,578 | 885 | 4,387,534 (448,530) | 8,811,393 |
| 2004年度 | 937 | 1,027,383 | 244 | 2,990,887 (215,869) | 344 | 1,182,882 (174,146) | 925 | 4,311,301 (422,517) | 9,512,453 |
| 2005年度 | 856 | 1,067,970 | 260 | 3,837,512 (343,774) | 423 | 1,309,985 (257,149) | 969 | 4,646,263 (465,990) | 10,861,730 |
| 2006年度 | 862 | 1,037,816 | 294 | 4,737,492 (484,671) | 368 | 1,513,580 (317,323) | 978 | 4,947,213 (625,438) | 12,236,101 |
| 2007年度 | 868 | 982,218 | 309 | 5,478,090 (593,602) | 447 | 1,787,062 (367,041) | 973 | 5,023,916 (776,463) | 13,271,286 |
| 2008年度 | 810 | 999,996 | 290 | 6,085,691 (724,971) | 449 | 1,802,415 (377,330) | 898 | 4,778,065 (838,992) | 13,666,167 |

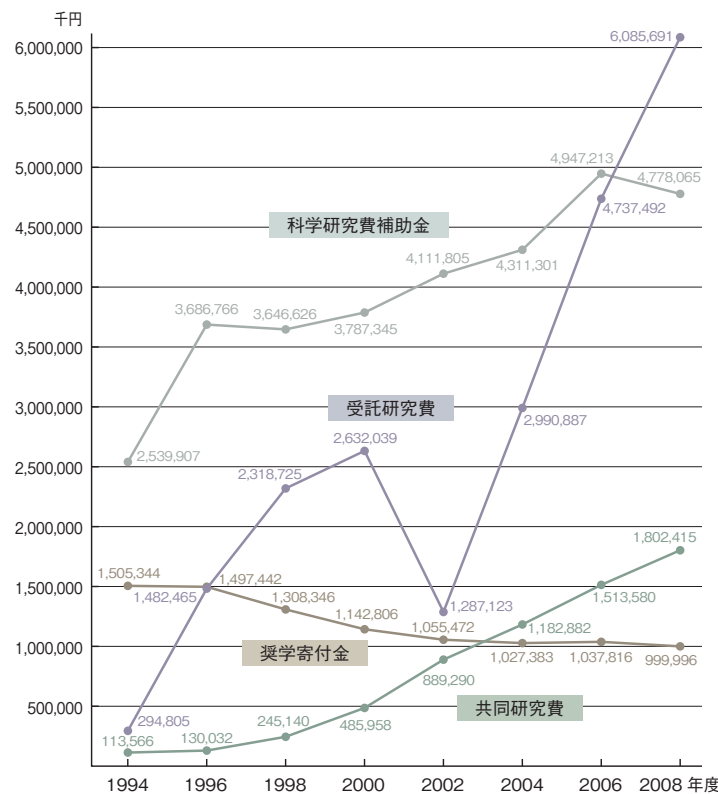
(注) ()内は、間接経費で内数。

2008年度科学研究費補助金

| 研究種目 | 件数 | 交付金額(千円) |
|------------------|-----|---------------------|
| 特別推進研究 | 2 | 365,560 (84,360) |
| 特定領域研究 | 97 | 883,897 |
| 新学術領域研究(研究領域提案型) | 4 | 83,720 (19,320) |
| 新学術領域研究(研究課題提案型) | 4 | 42,380 (9,780) |
| 基盤研究(S) | 12 | 267,191 (61,659) |
| 基盤研究(A) | 68 | 898,229 (207,284) |
| 基盤研究(B) | 143 | 889,091 (205,175) |
| 基盤研究(C) | 110 | 174,851 (40,350) |
| 萌芽研究 | 55 | 77,100 |
| 若手研究(S) | 3 | 74,490 (17,190) |
| 若手研究(A) | 21 | 181,480 (41,880) |
| 若手研究(B) | 138 | 228,629 (52,761) |
| 若手研究(スタートアップ) | 17 | 28,704 (6,624) |
| 特別研究促進費 | 1 | 8,000 |
| 学術創成研究費 | 4 | 401,306 (92,609) |
| 特別研究員奨励費 | 219 | 173,437 |
| 合計 | 898 | 4,778,065 (838,992) |

(注1) ()内は、間接経費で内数。
(注2) 翌年度への繰越額を含む。

外部資金の変遷



学部

理学部(5学科・5学科目)

2009年5月1日現在

理学部は5学科からなり、本学のサイエンス教育の根幹を担い、それぞれの専門的知識と論理的思考力、問題解決能力を兼ね備えた、高度科学技術時代に求められる人材の育成を目的としています。

- 数学**
<http://www.math.titech.ac.jp/>
学科目: 数学
- 化学**
<http://www.chem.titech.ac.jp/>
学科目: 化学
- 地球惑星科学**
<http://www.geo.titech.ac.jp/>
学科目: 地球惑星科学
- 物理学**
<http://www.phys.titech.ac.jp/>
学科目: 物理学
- 情報科学**
<http://www.is.titech.ac.jp/>
学科目: 情報科学

工学部(16学科・22学科目)

2009年5月1日現在

工学部は全学の23学科のうちの16学科が属し、第2類から第6類までに相当します。学部の学生数としては全学の70%が工学部であります。工学部の教育では、徹底した基礎学問の教育を行うとともに、各学科で創造性育成科目を設定し、基礎、アイデア、応用、もの作りを統合して、学生チームで問題発見から問題解決までを行うプロジェクトを通じた創造性・独創性の育成教育にも力を入れています。本学伝統の「くさび型教育」を基本として、卒業生に求められる「工学基幹学力」、「国際コミュニケーション力」、「リーダーシップ力」を入学から卒業までスパイラルアップ的に向上させる科目を新設するとともに、カリキュラムの構造化を図ってきています。

- 金属工学**
<http://www.mtl.titech.ac.jp/metal-j.html>
学科目: 金属工学
- 機械知能システム学**
<http://www.mep.titech.ac.jp/index.html>
学科目: 機械知能システム学
- 情報工学**
<http://www.cs.titech.ac.jp/~csu/index-jap.html>
学科目: 情報工学
- 有機材料工学**
<http://www.op.titech.ac.jp/op/index.html>
学科目: 有機材料工学
- 機械宇宙学**
<http://www.mes.titech.ac.jp/index-j.html>
学科目: 機械宇宙学
- 土木・環境工学**
http://www.cv.titech.ac.jp/index_j.html
学科目: 土木・環境工学
- 無機材料工学**
<http://www.ceram.titech.ac.jp/index.html>
学科目: 無機材料工学
- 制御システム工学**
<http://www.ctrl.titech.ac.jp/home-j.html>
学科目: 制御システム工学
- 建築学**
<http://www.arch.titech.ac.jp/>
学科目: 建築学
- 化学工学**
<http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm>
<http://www.apc.titech.ac.jp/apc-j.html>
学科目: 化学工学/応用化学
- 経営システム工学**
<http://www.me.titech.ac.jp/index-j.html>
学科目: 管理技術/数理システム基礎
- 社会工学**
<http://www.soc.titech.ac.jp/index.html>
学科目: 都市計画・地域計画/景観デザイン/公共政策/環境・経済システム
- 高分子工学**
<http://www.op.titech.ac.jp/polymer/index.htm>
学科目: 高分子工学
- 電気電子工学**
<http://www.u.ee.titech.ac.jp/>
学科目: 電気電子工学/電子物理工学
- 国際開発工学**
<http://www.ide.titech.ac.jp/index-j.html>
学科目: 国際開発工学
- 機械科学**
<http://www.mech.titech.ac.jp/homejp.html>
学科目: 機械科学

生命理工学部(2学科・13学科目)

2009年5月1日現在

生命理工学部は、平成2年6月に、生命理工学の基礎教育を推進するため生命理学科、生体機構学科、生物工学科、生体分子工学科の4学科で創設され、平成12年に生命科学科、生命工学科の2学科体制に再編されました。生命理工学部の入学定員は150名で、高専・短大等からの編入定員は10名です。2年次までの教育は原則として大岡山キャンパス、3・4年次はかずかけ台キャンパスで行われますが、1・2年生にもかずかけ台キャンパスの教員・学生・院生と交流する機会が設けられています。

- 生命科学**
<http://www.bio.titech.ac.jp/kagakuka/>
学科目: 生化学/細胞生物学/生体反応学/発生生物学/情報生体科学/生体物理化学/生物科学
- 生命工学**
<http://www.bio.titech.ac.jp/kougakuka/>
学科目: 生物機能工学/生物化学工学/遺伝子工学/細胞工学/生体材料学/生体システム学



大学院

理工学研究科(20専攻・1研究施設)

2009年5月1日現在

[]内は、寄附講座又は寄附研究部門 ○印は、客員教員を置く講座
☆印は、協力講座 ○印は、連携講座 △印は、連携教員を置く講座

【理学系】 理学系では、6専攻の教職員・学生がさまざまな新しい分野の研究に日夜励んでいます。研究の動機・推進力は、研究者個人の発見の喜びにあります。物事の根本から疑問を一つ一つ解きほぐして「自分の頭で論理的に思考する」事をこそ学び取る人材を育てています。

それは、素数の成り立ち、量子コンピュータの原理、宇宙の究極構造、新しいナノ物質や分子の合成、地球史・生命の誕生のなぞまで、多岐に渡り、人類の追い求めてきた夢にあふれています。どの研究も分野の最前線で活躍する研究者による最先端の業績を挙げ、国際的にも高い評価を受けています。

【工学系】 工学系には15専攻と1研究施設があり、教員および大学院生の数で全学の30%を抱えています。大学院の工学系では、修士を中心とした体系的な教育に加えて、所属する研究室で最先端の研究テーマに取り組みことになります。工学系では、優秀な学生が博士課程へ進学すること推進するために独自のRA経費を配分するとともに、アジアオセアニアトップリーグ(AOTULE)をはじめ、海外有力協定校との学生交換プログラムによりグローバルに通用する学生の育成を行っており。さらに、名古屋大学および大阪大学との三大学工学系人材交流プログラム等を通して、教員の育成にも努めています。

数学

<http://www.math.titech.ac.jp/>

講座名

代数構造論／代数空間論／幾何学／位相数学／解析学／大域数学

兼任教員等の所属する専攻等名

数理・計算科学

基礎物理学

<http://www.phys.titech.ac.jp/>

講座名

基礎物理学理論／基礎物理学実験／境界領域基礎物理学

兼任教員等の所属する専攻等名

バイオ研究基盤支援総合センター

物性物理学

<http://www.phys.titech.ac.jp/bussei/>

講座名

量子物性物理学／統計固体物理学／応用物理学／分子物理学／量子基礎実験／新領域物性物理学／☆極低温物性物理学／○最先端物性物理学

兼任教員等の所属する専攻等名

材料物理科学／物理電子システム創造／極低温物性研究センター

化学

<http://www.chemistry.titech.ac.jp/>

講座名

分子凝縮系化学／分子化学／有機化学／地球環境化学／☆エネルギー環境化学／☆火山化学／○分子機能創発／○高ひずみ分子／○天然物合成化学

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学／炭素循環エネルギー研究センター／火山流体研究センター

地球惑星科学

<http://www.geo.titech.ac.jp/>

講座名

地球惑星物理学／地球惑星進化学／太陽系創世学／△宇宙探査学

兼任教員等の所属する専攻等名

化学／火山流体研究センター

物質科学

<http://www.cms.titech.ac.jp/>

講座名

物質構造／物質変換／物質設計／物質機能

兼任教員等の所属する専攻等名

化学／物質電子化学／有機・高分子物質

材料工学

<http://www.macs.titech.ac.jp/>

講座名

金属物理学／金属化学／材料設計工学／△無機機能材料／無機環境材料／複合材料／○セラミック薄膜材料

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学／原子核工学／物質科学創造／材料物理科学

有機・高分子物質

<http://www.op.titech.ac.jp/index.html>

講座名

高分子科学／ソフトマテリアル／有機材料工学／NEDO特別講座／〔カーボン触媒工学(日清紡)〕

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学

応用化学

<http://www.apc.titech.ac.jp/apc-j.html>

講座名

分子機能設計／化学反応設計／○生体機能分子設計

兼任教員等の所属する専攻等名

物質科学

化学工学

<http://www.chemeng.titech.ac.jp/index.htm>

講座名

プロセス解析／プロセス設計／プロセス操作／☆情報解析

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学／機械物理学／経営工学／化学環境学

機械物理学

<http://www.3mech.titech.ac.jp/index.html>

講座名

熱流体科学／ダイナミクス調和工学／機械システム学／創成工学／○構造システム科学／○材料システム科学

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学

機械制御システム

<http://www.3mech.titech.ac.jp/index.html>

講座名

知能工房学／材料機能システム学／エネルギー工学／動的システム学／計測制御学／システム制御／☆地球環境工学

兼任教員等の所属する専攻等名

機械物理学／炭素循環エネルギー研究センター

機械宇宙システム

<http://www.3mech.titech.ac.jp/index.html>

講座名

極限熱流体力学／構造設計学／△機械創造学／○スマートメカニクス

兼任教員等の所属する専攻等名

機械物理学／情報環境学

電気電子工学

<http://ee.titech.ac.jp/>

講座名

△自律システム工学／△電力エネルギー／通信伝送工学／☆光デバイス工学

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学／集積システム／物理電子システム創造／創造エネルギー／計算工学／人間行動システム／量子ナノエレクトロニクス研究センター

電子物理学

<http://pe.titech.ac.jp/>

講座名

△先端電子工学／電気電子物性／集積デバイス／☆量子デバイス物理／○量子ナノデバイス

兼任教員等の所属する専攻等名

量子ナノエレクトロニクス研究センター

集積システム

<http://www.ss.titech.ac.jp/index-j.html>

講座名

△先端情報システム／高機能集積システム／情報通信システム／☆知的ネットワーク

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学／電気電子工学／人間行動システム／技術経営／学術国際情報センター

土木工学

http://www.cv.titech.ac.jp/index_j.htm

講座名

○社会基盤工学／広域環境工学／△国土計画工学／○数値力学

兼任教員等の所属する専攻等名

国際開発工学／人間環境システム／環境理工学創造／情報環境学／メカノマイクロ工学

建築学

<http://www.arch.titech.ac.jp/>

講座名

建築基礎学／建築計画学／建築設計学／環境建築学／☆地域施設計画学

兼任教員等の所属する専攻等名

情報環境学／教育環境創造研究センター

国際開発工学

<http://www.ide.titech.ac.jp/index-j.html>

講座名

△国際環境／開発基盤工学／開発産業システム／☆国際共存

兼任教員等の所属する専攻等名

化学工学／留学生センター／学術国際情報センター

原子核工学

<http://www.nr.titech.ac.jp/graduate/>

講座名

☆原子核エネルギー／☆原子燃料システム／☆システム・安全／△バックエンド工学／△革新炉工学

兼任教員等の所属する専攻等名

化学工学／創造エネルギー／環境理工学創造／学術国際情報センター

共通講座

講座名

○広域理学(理学研究流動機構)
<http://www.ircs.titech.ac.jp/index-j.html>
工学基礎科学

附属像情報工学研究施設

<http://www.isl.titech.ac.jp/index-j.html>

情報の像化及び像のプロセス技術に関する研究を行っています。

研究部門名

情報記録／像情報解析／像情報システム／応用画像／知的システム／〔電子行政システムケア工学(NTTデータ)〕

生命理工学研究科(5専攻)

2009年5月1日現在

○印は、客員教員を置く講座 ☆印は、協力講座 ○印は、連携講座

大学院生命理工学研究科は、平成4年4月に、バイオサイエンス専攻、バイオテクノロジー専攻の2専攻で創設され、平成11年度及び平成12年度に研究主導型教育体制の確立を目指した改組を行い、分子生命科学専攻、生体システム専攻、生命情報専攻、生物プロセス専攻、生体分子機能工学専攻の5専攻に再編されました。

大学院生命理工学研究科の修士課程に約100名、博士後期課程に約50名が毎年入学し、バイオサイエンス・バイオテクノロジー、環境、医農薬、化粧品等の最先端分野にチャレンジしています。

分子生命科学

http://www.bio.titech.ac.jp/ls_j/index.html

講座名

バイオダイナミクス／バイオ構造化学／バイオ情報制御学／☆生命フロンティア／☆バイオ情報分子科学／○広域生命科学

生体システム

http://www.bio.titech.ac.jp/bs_j/index.html

講座名

情報・形態形成学／進化・統御学／細胞・発生生物学／☆ゲノム機能解析

生命情報

http://www.bio.titech.ac.jp/bi_j/index.html

講座名

生命情報医学／高次生命情報／生命情報工学／☆生命情報科学／○◎広域生命情報

生物プロセス

http://www.bio.titech.ac.jp/b_j/index.html

講座名

細胞・分子工学／生体分子プロセス／生物機能工学／☆細胞生物学

生体分子機能工学

http://www.bio.titech.ac.jp/be_j/index.html

講座名

生体分子物性／生体材料設計／生体機能制御工学／☆生物計算化学／☆生物有機科学／○広域生体機能工学

総合理工学研究科(11専攻)

2009年5月1日現在

※印は、大講座 ○印は、客員教員を置く講座 △印は、連携教員を置く講座

大学院総合理工学研究科は学部・学科から独立した研究科であり、従来の学問領域を超え、総合と創造に力点をいた大学院です。物質・材料系、情報・システム系、環境・エネルギー系の3つの系に合計11の専攻を擁し、それぞれの系には一つずつ新分野を切り拓く進化型専攻としての創造専攻を置いてわが国の資源循環型社会、豊かで安全・安心な社会を実現するために必要な様々な科学技術に柔軟に対応できる学際領域における研究と人材育成を展開しています。

物質科学創造

<http://www.iem.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△環境適応型物質

協力講座名

※超機能物質／※物質ダイナミクス

物質電子化学

<http://www.echem.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△分子変換／※△物質エネルギー変換

協力講座名

錯体電子化学／触媒電子化学／有機電子化学／生物電子化学／電子分光化学／固体物性化学／分子デバイスフロンティア

材料物理科学

<http://www.materia.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△材料構造機能／※△量子表面

協力講座名

超環境物質合成／低負荷物質合成／精密構造解析／電子活性物質／相乗機能物質／材料機能評価／材料構造設計／物質フロンティア

環境理工学創造

<http://www.depe.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△自然環境／※△社会環境

協力講座名

環境エネルギー工学／環境材料工学／環境構造工学／環境安全工学／環境化学システム／環境社会フロンティア

人間環境システム

<http://www.enveng.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△人間環境評価／※人間都市計画／※△ニューフロンティア基礎

協力講座名

都市空間／都市環境／景観工学／環境設備

創造エネルギー

<http://www.es.titech.ac.jp/index-j.html>

基幹講座名

※△エネルギー環境／※エネルギー変換システム／※△エネルギー創造

協力講座名

エネルギー環境システム／直接変換システム／超高輝度光工学

化学環境学

<http://www.chemenv.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△環境解析構築／※△環境プロセス化学

協力講座名

環境分子変換／化学プロセス計画／高分子プロセス／化学環境プロセス設計／環境調和分子設計／環境微生物工学／環境材料化学

物理電子システム創造

<http://www.ep.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△先端デバイス／※△新機能デバイス

協力講座名

イメージング材料／フロンティア物性デバイス／フォトニックシステムデバイス／知的電子デバイス・システム／物質情報フロンティア

メカノマイクロ工学

<http://www.pms.titech.ac.jp/Japanese/index.html>

基幹講座名

※機能創造

協力講座名

極限デバイス／先端メカトロニクス／セキュアデバイス

知能システム科学

<http://www.dis.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※◎知能システム基礎／※△複雑システム解析／※△創発システム

協力講座名

知的機能形成／知覚認識機構／脳情報伝達／神経情報演算／システム解析／システム情報科学／生産システム

物理情報システム

<http://www.ip.titech.ac.jp/>

基幹講座名

※△未来型情報システム／※△新機能情報システム

協力講座名

知覚像処理／応用像情報／感性情報フロンティア／波動応用システム／生体情報システム

大学院

情報理工学研究科(3専攻)

2009年5月1日現在

◎印は、客員教員を置く講座 △印は、連携教員を置く講座

情報とその処理に関する手法は、自然科学の諸分野の問題はもとより、社会科学を含めた広い分野に浸透し、各分野に大きな影響を与えるようになってきました。コンピュータシステムと社会との結び付きが強まるにつれ、人間とコンピュータシステムとのインターフェースをいかに協調的にするか、社会とコンピュータシステムをどう調和させるか、などといった新しい視点が重要です。

そこで、情報数理的なものの考え方やコンピュータを主として対象としたこれまでの情報科学・情報工学の分野を中核に据え、人間および社会に関する諸問題を、情報の科学技術により解決する手法を学問として体系化し、それに基づく教育によって有為な人材を社会に送り出します。

数理・計算科学

http://www.is.titech.ac.jp/

大講座名(分野名)

◎計算機支援情報科学(計算機支援数理/ソフトウェア界面/数理情報科学)/数理科学(離散数理/非線形数理/統計数理/計画数理)/計算科学(ソフトウェア解析/ソフトウェア構成)/計算科学基礎/ソフトウェア科学基礎/△計算機科学ソフトウェア構成

兼任教員等の所属する専攻等名

学術国際情報センター/社会工学

計算工学

http://www.cs.titech.ac.jp/cs-home-j.html

大講座名(分野名)

情報統合システム学(ソフトウェア環境学/マルチメディア情報処理)/△計算組織学(超高信頼性計算システム/非同期超並列アーキテクチャ/先端アーキテクチャ設計)/ソフトウェア機構学(ソフトウェア設計論/ソフトウェア論理学)/認知機構学(知識工学/推論機構/計算言語学/情報認識機構)/情報工学基礎/情報ネットワーク/△先端計算工学

兼任教員等の所属する専攻等名

電気電子工学/情報環境学/学術国際情報センター/機械制御システム/知能システム科学

情報環境学

http://www.mei.titech.ac.jp/

大講座名(分野名)

◎統合情報環境学(現象の情報化と意思決定/情報環境制御論/情報政策科学/情報環境社会)/人間環境情報学(人間環境情報/情報環境適応)/情報駆動システム(自律分散協調システム/情報環境センシング)/情報環境設計学(広域知識ベース/情報空間環境匠論/知的情報基盤論)/情報環境基礎/△生体・環境工学/△環境モニタリング・モデリング/△沿岸環境学/△ロボット情報学

兼任教員等の所属する専攻等名

機械制御システム/社会工学/学術国際情報センター

社会理工学研究科(4専攻)

2009年5月1日現在

☆印は、協力講座 △印は、連携教員を置く講座

情報技術、バイオテクノロジー、遺伝子技術などの先端技術の飛躍的な発展とともに、私たちは産業化の新たな段階を迎えつつあります。技術革新は私たち人類に新たな機会と可能性をもたらしてくれますが、一方で、地球環境の破壊や生命の尊厳の侵害などの諸問題も引き起こしています。これらの問題の解決には、科学技術と人間社会のインターフェースをうまく設計し運用することが肝要です。私たちは、このインターフェースに位置する文化や科学技術を対象とする学問領域を切り拓くため、「社会理工学研究科」を設立致しました。

人間行動システム

http://www.hum.titech.ac.jp/

大講座名(分野名)

△人間開発科学(認知学習科学/教育システム開発/科学技術人材養成/教育評価)/行動システム(生体動態/身心相関/言語行為)/☆教育学(学習メディア工学/先端学習システム)

兼任教員等の所属する専攻等名

計算工学/教育学開発センター/留学生センター/学術国際情報センター

経営工学

http://www.me.titech.ac.jp/

大講座名(分野名)

開発・生産流通工学(技術開発戦略基盤/技術経営戦略工学/生産・人間相関/プロセス評価)/財務経営工学(経営計算/理財工学)/経営数理・情報(経営数理工学/経営情報システム)/技術構造分析(技術発達動態分析/科学社会連関分析/科学技術方法)

兼任教員等の所属する専攻等名

技術経営

社会工学

http://www.soc.titech.ac.jp/

大講座名(分野名)

国土・都市計画(都市計画/国土デザイン)/△公共システムデザイン(公共政策/制度設計/公共空間/歴史空間/地球環境政策)/社会工学基礎(決定理論/応用経済/社会制度)

兼任教員等の所属する専攻等名

建築学/情報環境学

価値システム

http://www.valdes.titech.ac.jp/

大講座名(分野名)

価値論理(価値構造/表象機能/価値表象/言説構成)/社会数理(社会システム/社会計測)/△決定過程論(社会的選択/政経論理/政治決定)

兼任教員等の所属する専攻等名

社会工学/外国語研究教育センター/留学生センター

イノベーションマネジメント研究科(2専攻)

2009年5月1日現在

☆印は、協力講座

技術を創造し、知的資産として事業化・社会化するイノベーション創出サイクルのマネジメントに秀でた実践的人材と研究者を育成することを使命として、2005年に設立された研究科。日本型MOTの教育・研究を通じて、国内外でリーダーとして活躍するMOT人材を育成することを目標としている。

技術経営専攻は、グローバルな視野と高い倫理観を持ち、イノベーション創出のリーダーとして活躍できる能力を持つ人材の育成を行う専門職学位課程。日本の高い技術力や日本の企業文化・マーケット文化に根ざした日本型MOTの教育を提供している。イノベーション創出サイクルのマネジメントに秀でた実践的人材とともに、知的財産マネジメントや金融工学の専門家の育成を行う。

イノベーション専攻は、将来のMOT教育・研究を担い、MOTをリードする人材を育成する博士後期課程。技術経営戦略、知的財産マネジメント、ファイナンス、サービスイノベーションの各分野の研究を行うとともに、日本型MOTの体系化・理論化のための研究を行う。

技術経営※1

http://www.mot.titech.ac.jp/

講座名

技術経営戦略/知的財産マネジメント/ファイナンス/サービスイノベーション/☆最先端技術

※1 専門職学位課程:修士

兼任教員等の所属する専攻等名

計算工学/経営工学

イノベーション※2

http://www.mot.titech.ac.jp/

講座名

技術経営戦略/知的財産マネジメント/ファイナンス/サービスイノベーション

※2 博士後期課程

兼任教員等の所属する専攻等名

計算工学

研究所・施設・センター等

附置研究所(4研究所・3研究施設)

2009年5月1日現在

※印は、客員部門 | | は、連携客員研究分野 ◎印は、客員教員を置く部門

資源化学研究所

http://www.res.titech.ac.jp/cgi-bin/index-j.cgi

資源に関する化学の学理および応用の研究を基本理念として、有機化学、無機化学、物理化学、生化学などの基礎化学の分野から、実用への展開には欠かせない触媒化学、高分子化学、材料化学、生物工学などの応用化学、工業上必要な化学工学など、化学全般にわたる広い分野を対象に総合化学研究所として活発に活動しています。

13部門・1寄附研究部門・2連携客員研究部門

無機資源/新金属資源/有機資源/生物資源/触媒化学/高分子材料/合成化学/分光化学/化学システム構築/プロセスシステム工学/無機機能化学/集積分子工学/◎スマートマテリアル/エネルギー変換材料(凸版印刷)寄附研究/[資源化学連携研究推進]/[資源化学連携教育研究推進]

資源循環研究施設

http://www.res.titech.ac.jp/~junkan/index-j.htm

地球資源の有効活用に関する基礎および応用研究を行うとともに、光合成微生物の利用などこれに資する研究を推進します。

精密工学研究所

http://www.pi.titech.ac.jp/

精密機械研究所(昭和14年創設)と電気科学研究所(昭和21年創設)を統合して昭和29年に設立。情報・電気・機械・材料の多様な分野から構成され、精密と知能の融合を旗印に、各専門分野の確立と学際領域を含む新しい分野への展開により、社会への貢献を目指します。

5大部門・2客員部門・2連携客員研究分野

知能化学(知覚情報処理/認知機構/ヒューマンインターフェース)/極微デバイス(電子デバイス/光デバイス/波動応用デバイス)/精機デバイス(超微細加工/精密機素/集積マシン)/高機能化システム(制御システム/動的システム/知的システム)/先端材料(材料設計/極限材料/機能評価)/[知的財産利用支援システム]/[光エレクトロニクス]

マイクロシステム研究センター

http://vcsel-www.pi.titech.ac.jp/index-j.html

大容量光通信システム、並列情報処理システムなど、超高速・大容量光電子システムを実現するための新しいデバイス、サブシステムの基礎研究を行っています。

学内共同研究教育施設等

保健管理センター

http://www.gakumu.titech.ac.jp/gakuseisien/health/center/index.html

本学における保健管理に関する専門的業務を行い、学生及び職員の健康の保持増進を図っています。

◎教育学開発センター

http://www.cradle.titech.ac.jp/index_j.html

教育学的手段によって教育の改善に関する研究、開発、実践を行っています。

◎学術国際情報センター

http://www.gsic.titech.ac.jp/index.html

本学の学術研究及び情報教育を支援するため、計算機システム、認証・認可システム、基幹ネットワーク等の情報基盤の整備及び研究開発を行っています。また、これら情報基盤を活用した国際共同研究を行うとともに、諸外国との研究・教育に関する国際交流を推進しています。

極低温物性研究センター

http://www.rcltp.titech.ac.jp/

本学内外の研究者の協力を得て、極低温下における物性及び理工学の基礎研究を行っています。また、寒剤供給や低温技術の提供を通じて学内の関連研究を支援しています。

◎教育環境創造研究センター

http://www.rcfef.gh4.titech.ac.jp/center/index.htm

学校施設をはじめとする教育・学術・スポーツ・文化施設について、社会の進展に寄与する機能的、効果的な利用を図るための総合的な施設計画に関する研究開発を行っています。

火山流体研究センター

http://www.ksvo.titech.ac.jp/jpn/index.html

草津白根山をはじめとする全国の活動的火山において、化学的及び物理学的方法で総合的な火山学の研究を行っています。また、観測調査ならびに研究等の実習の場として学生に利用されています。

留学生センター

http://www.ryu.titech.ac.jp/

留学生に対する日本語、日本事情教育と、相談業務、更に本学からの海外への留学の促進、支援を主な仕事としています。実際の教育、指導だけでなく、それらがより有効で意味のあるものとなるように、調査研究にも力を入れています。

◎炭素循環エネルギー研究センター

http://www.rccre.titech.ac.jp/index.html

地球温暖化問題を技術的に解決するためのエネルギー高効率利用技術、二酸化炭素隔離技術、太陽エネルギーとのハイブリッド利用技術などの基盤・実用化研究を推進しています。

応用セラミックス研究所

http://www.msl.titech.ac.jp/

セラミックスを含む先端無機材料と建築構造体の材料・システムなどの基礎科学及び応用に関する研究と教育とを行っています。本研究所は、全国共同利用・共同研究拠点「先端無機材料共同研究拠点」に選ばれており、上記両分野の拠点として国内外の研究者と毎年数多くの共同研究を行っています。

3大部門・3客員部門・1外国人客員部門・

3連携客員研究分野・2協力研究部門

◎セラミックス機能(超機能薄膜/ナノ機能開発/強相関機能/コンビナトリアルテクノロジー/固体強酸触媒)/◎セラミックス解析(熱解析/結晶構造解析/電子解析/超構造解析/物質ダイナミクス/極限材料)/◎材料融合システム(防災材料/複合構造材料/融合材料)/[反応化学デザイン]/[衝撃現象数値シミュレーション]/[免震制振構造学]

セキュアデバイス研究センター

http://www.msl.titech.ac.jp/~secure/index.html

セキュアデバイスの創成及び基礎技術の開拓並びにそれらを応用した社会の安全・安心を支えるシステムの開発に関する総合的研究を行っています。

原子炉工学研究所

http://www.nr.titech.ac.jp/

3大部門・3連携客員研究分野

◎エネルギー工学(高温エネルギー/高密度エネルギー/エネルギー変換/複合機能流体/[エネルギー環境工学研究])◎物質工学(粒子線エネルギー/燃料サイクル/物質変換/物質分離/[地層処分工学])◎システム・安全工学(超高速エネルギー/エネルギー材料/システム安全/※システム構成/[核燃料廃棄物処理工学])

原子炉工学研究所は、「原子炉工学に関する学理及びその応用の研究」を設置目的として1956年4月に研究施設として産声を上げました。附置研究所としては規模は余り大きくありませんが、設立時から原子力と放射線応用の分野において多くの優れた研究成果を上げてきました。そして、現在もこれらの研究分野と人材の育成において重要な役割を担っています。

◎量子ナノエレクトロニクス研究センター

http://www.pe.titech.ac.jp/qncr/jp/index-j.shtml

ナノメートル構造で生じる量子効果による光・電子デバイスの飛躍的性能向上、新機能発現、そのための結晶成長・加工・デバイス集積化法を研究しています。

外国語研究教育センター

http://www.flc.titech.ac.jp/

言語一般及び個別言語について基礎理論研究及び応用研究を行い、言語コミュニケーション理論の発展及び異文化理解の深化を目指すとともに、本学における新しい言語教育システムの確立を図っています。

◎フロンティア研究センター

http://www.fcrc.titech.ac.jp/

平成19年11月にフロンティア創造共同研究センターを改組し、従来の機能にVBL、INC、総合研究館を加えた新センターとして発足しました。産・学・官の連携に基づく最先端の研究を大学主導で計画的に推進し、新産業創生の芽となる研究を進めている学内の優れた人材を支援するとともに、これらの活動内容を平易に展示紹介しています。

◎バイオ研究基盤支援総合センター

http://www.grc.bio.titech.ac.jp/

最先端の生命科学研究の推進と支援のため、本センターは研究部門と基盤部門から構成されています。研究部門では蛋白質情報解析、ゲノム情報解析及びRNA情報解析の研究が行われています。基盤部門は、生物実験分野、遺伝子実験分野及びアイトープ分野から構成され、実験動物の飼育・管理、遺伝子及びアイトープ実験の教育・研究支援を行っています。

研究所・施設・センター等

統合研究院

2009年5月1日現在

<http://www.iri.titech.ac.jp/>

本研究院は、スーパーCOEと言われる文部科学省のプログラムにより、2005年に開設されました。院長である学長の強いリーダーシップの下に運営され、「ソリューション研究機構」と「先進研究機構」が置かれています。「ソリューション研究機構」では、近い将来に実現すべき社会・産業課題を設定し、学内外と広く連携して取り組む組織的研究である「ソリューション研究」を推進しており、エネルギー、医療・バイオ、医療情報などのプロジェクトに取り組んでいます。また、この研究推進のシンクタンク機能を果たすイノベーションシステム研究センターは、教員、機構長室とともに、新規プロジェクトの企画・形成に取り組んでいます。「先進研究機構」は12の21世紀COEプログラム及び新しく採択された2つのグローバルCOEプログラムの成果をさらに発展させるために設置された14の研究センター群によって構成されています。各センターは、最高水準の最先端研究を推進するとともに、博士課程の学生に多彩な教育・研究の機会を提供しています。

Global Edge 研究院

2009年5月1日現在

<http://www.global-edge.titech.ac.jp/>

本研究院では、世界レベルの活躍が見込まれる優秀な若手研究者を国内外より発掘・採用し、自立した研究の促進、分野を越えた研究交流の場の形成を目指しています。その実現に向け本学初のテニュア・トラック制度、メンター制度を導入し、全学的な人材システム改革を促進しています。本研究院にテニュア・トラック助教として採用された若手研究者は、約5年間の任期において、独立した研究スペースとスタートアップ資金を足がかりとして、メンターの指導を仰ぎながら世界最高水準の研究を進めていきます。英語使用を原則とし、国際性も培っていきます。任期終了前に行うテニュア審査に合格した場合には、本学の准教授もしくは教授への道が開かれます。

プロダクティブリーダー養成機構

2009年5月1日現在

<http://www.productiveleader.jim.titech.ac.jp/>

若手研究者（博士課程学生及び博士学位取得後5年以内のポスドク）を対象に、産業界で活躍できる研究者の養成と多様なキャリアパス創出のための様々なプログラムを実施しています。以下のプログラムを通じて、「専門分野の領域だけでなく国際的で幅広い視野、柔軟な課題設定能力、研究シーズの事業化へ向けた価値創造能力、自己の考えを的確に相手に伝える能力、チームとして研究開発にあたる協調性」を身につけ、活躍の場を広げることを支援しています。

「On-campus Training(講義と公開講座)」: 学内外の専門家を講師に招き、研究シーズの事業化、海外企業の研究取り組み実態あるいは専門性に異分野を付加した事業などを学ぶ講義／「フュージョンプロジェクト」: 企業関係者を招いて行う受講生によるプレゼンテーションとディスカッション／「イノベーションツアー」: PLIP連携企業へ受講生が訪問し、若手研究者と懇談／「価値創造インターンシップ」: 最大の特徴となる3ヶ月以上にわたる長期インターンシップ

男女共同参画推進センター

2009年5月1日現在

<http://www.gec.jim.titech.ac.jp/>

本センターは研究教育の現場で、男性女性が互いに人格を尊重し、それぞれの能力を十分に発揮できるよう、男女共同参画社会の推進をミッションとしています。男女共同参画ポリシー及び男女共同参画を推進するための基本指針に基づき、男女共同参画推進行動計画を策定しています。全教職員・学生向けのベビーシッター派遣支援、出産・育児・介護中の教員に対する研究・教育等支援アシスタントの雇用支援、女性向け相談室開設、などを実施しています。文部科学省科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業に採択され、女性研究者のニーズに合わせた支援の構築やキャリアモデル提示を行うなど、本センターが中心となり上述の事業を初めとする様々な事業を実施しています。

東工大蔵前会館(Tokyo Tech Front)

この会館は、本学とその同窓会組織である社団法人蔵前工業会との共同事業により、教育と研究における社会との交流の場として建設され、2009年5月に竣工しました。この会館は、教職員・学生・卒業生が一体となって交流・連携を深めると共に、学術上のシンポジウム、学会、公開講座などを幅広く開催し、本学の研究教育の発展及び学術国際交流の推進に寄与することを目的としています。

A館 B館

| | | | |
|-----------|-------------------------------------|-----------|---|
| 4F | ・蔵前工業会事務室 ・同会議室 ・同談話室 | 3F | ・男女共同参画推進センター ・就職資料室 ・キャリアアドバイザールーム |
| 3F | ・130年事業事務室 ・手島精一記念会議室 | 2F | ・小会議室 ・大会議室 |
| 2F | ・アートメディアルーム ・レストラン ロイヤルブルー精養軒 | 1F | ・インフォメーション ・エクセルシオールカフェ |
| 1F | ・くらまえホール ・ロイヤルブルーホール ・ギャラリー | | |



附属図書館・附属高等学校

附属図書館

2009年5月1日現在

<http://www.libra.titech.ac.jp/>

附属図書館では、理工系外国雑誌を中心とした専門性の高い蔵書を整備して、学内外の利用に供しています。電子図書館にも取り組んでおり、インターネットを介して電子ジャーナルをはじめとして、豊富なサービスを提供しています。2007年からは機関リポジトリとして「Tokyo Tech Research Repository (T2R2)」を運用し、学内における研究成果を広く公開しています。なお、2011年春には現在建築中の新しい図書館が開館する予定です。

蔵書数

| 図書 | 本館(大岡山地区) | 分館(すずかけ台地区) | 計 |
|----|-----------|-------------|----------|
| 和書 | 307,413冊 | 41,117冊 | 348,530冊 |
| 洋書 | 331,973冊 | 94,209冊 | 426,182冊 |
| 計 | 639,386冊 | 135,326冊 | 774,712冊 |

| 雑誌 | 本館(大岡山地区) | 分館(すずかけ台地区) | 計 |
|------|-----------|-------------|----------|
| 国内雑誌 | 3,570種類 | 1,022種類 | 4,592種類 |
| 外国雑誌 | 12,535種類 | 2,132種類 | 14,667種類 |
| 計 | 16,105種類 | 3,154種類 | 19,259種類 |

| 電子ジャーナル(本学契約分) | 7,815種類 |
|----------------|---------|
|----------------|---------|



新図書館イメージ

2008年度利用状況

| | 本館(大岡山地区) | 分館(すずかけ台地区) | 計 |
|------|-----------|-------------|----------|
| 入館者数 | 413,772人 | 78,329人 | 492,101人 |
| 館外貸出 | 78,152冊 | 23,257冊 | 101,409冊 |

附属科学技術高等学校

2009年5月1日現在

<http://www.hst.titech.ac.jp/>

東京工業大学附属科学技術高等学校は、スーパーサイエンスハイスクール指定校として研究・開発した教育システムを定着させ、科学技術を志向する全人的教育を目指します。また、本学と一体となった理工学教育のあり方を求め、その一環として本学入学者に特別枠を設け、別途の選抜による受験も可能としています。



構成

| 本科 | 専攻科 |
|--------|----------------------------|
| 科学・技術科 | 機械科 電気科 工業化学科 建築科 |

生徒数

| 学科名 | 本科 | | | | | | | | | | 専攻科 | | | | | | | |
|---------------------|------|-----|----|-----|----|-----|----|-----|----|------|-----|---|-----|----|----|----|---|----|
| | 入学定員 | 1学年 | | 2学年 | | 3学年 | | 合計 | | 入学定員 | 1学年 | | 2学年 | | 合計 | | | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 計 | |
| 科学・技術科 | 200 | 162 | 34 | | | | | 162 | 34 | 196 | | | | | | | | |
| 材料科学・環境科学・バイオ技術分野 | | | | 31 | 10 | 34 | 6 | 65 | 16 | 81 | | | | | | | | |
| 情報・コンピュータサイエンス分野 | | | | 38 | 3 | 27 | 8 | 65 | 11 | 76 | | | | | | | | |
| システムデザイン・ロボット分野 | | | | 39 | 2 | 38 | 2 | 77 | 4 | 81 | | | | | | | | |
| エレクトロニクス・エネルギー・通信分野 | | | | 39 | 2 | 40 | 0 | 79 | 2 | 81 | | | | | | | | |
| 立体造形・デジタルデザイン分野 | | | | 28 | 5 | 25 | 8 | 53 | 13 | 66 | | | | | | | | |
| 機械科 | | | | | | | | | | | 25 | 0 | 0 | 6 | 1 | 6 | 1 | 7 |
| 電気科 | | | | | | | | | | | 25 | 0 | 0 | 5 | 1 | 5 | 1 | 6 |
| 工業化学科 | | | | | | | | | | | 20 | 0 | 0 | 3 | 1 | 3 | 1 | 4 |
| 建築科 | | | | | | | | | | | 20 | 0 | 0 | 8 | 5 | 8 | 5 | 13 |
| 計 | 200 | 162 | 34 | 175 | 22 | 164 | 24 | 501 | 80 | 581 | 90 | 0 | 0 | 22 | 8 | 22 | 8 | 30 |

(注)本科の入学生は科学・技術科で受け入れ、2学年から5分野に所属します。

職員・学生・研究員数等

職員数 部局別職員数

2009年5月1日現在

| 区分 | 役員等 | | | | 教員 | | | | | | | その他の職員 | | | | 合計 | | |
|------------------|-----|--------|----|----|-----|-----|----|-----|------|----|------|--------|-----|------|------|-----|-------|-----|
| | 学長 | 理事・副学長 | 監事 | 小計 | 教授 | 准教授 | 講師 | 助教 | 教務職員 | 教諭 | 養護教諭 | 実習助手 | 小計 | 事務職員 | 技術職員 | | その他 | 小計 |
| 学長、理事・副学長、監事 | 1 | 4 | 2 | 7 | | | | | | | | | | | | | | 7 |
| 理工学研究科理学系・理学部 | | | | | 48 | 37 | | 59 | 3 | | | | 147 | | | | | 147 |
| 理工学研究科工学系・工学部 | | | | | 106 | 103 | | 111 | 1 | | | | 321 | | | | | 321 |
| 生命理工学研究科 | | | | | 21 | 19 | 3 | 36 | 2 | | | | 81 | | | | | 81 |
| 総合理工学研究科 | | | | | 52 | 45 | 3 | 42 | 3 | | | | 145 | | | | | 145 |
| 情報理工学研究科 | | | | | 27 | 24 | 4 | 22 | | | | | 77 | | | | | 77 |
| 社会理工学研究科 | | | | | 26 | 25 | | 23 | | | | | 74 | | | | | 74 |
| イノベーションマネジメント研究科 | | | | | 8 | 2 | | 1 | | | | | 11 | | | | | 11 |
| 資源化学研究所 | | | | | 10 | 11 | 1 | 22 | | | | | 44 | | | | | 44 |
| 精密工学研究所 | | | | | 13 | 15 | | 18 | | | | | 46 | | | | | 46 |
| 応用セラミックス研究所 | | | | | 9 | 15 | | 7 | | | | | 31 | | | | | 31 |
| 原子炉工学研究所 | | | | | 9 | 10 | | 14 | | | | | 33 | | | | | 33 |
| 学内共同研究教育施設等 | | | | | 40 | 30 | 3 | 11 | 1 | | | | 85 | | | 2 | 2 | 87 |
| 附属科学技術高等学校 | | | | | | | | | | | 42 | 8 | 50 | | | | | 50 |
| 総合研究院 | | | | | 5 | | | | | | | | 5 | | | | | 5 |
| 事務局 | | | | | | | | | | | | | 459 | | | 4 | 463 | 463 |
| 技術部 | | | | | | | | | | | | | | 88 | | | 88 | 88 |
| 合計 | 1 | 4 | 2 | 7 | 374 | 336 | 14 | 366 | 10 | 42 | 8 | 1,150 | 459 | 88 | 6 | 553 | 1,710 | |

※外国人教師1名を外国語センターの講師として算入
※監事2名は非常勤

非常勤職員数

2009年5月1日現在

| | 左の内数 | 特命教授 | | 特任教授 | 特任准教授 | 特任講師 | 特任助教 | 計 | 連携教授 | 連携准教授 | 計 | 客員教授 | 客員准教授 | 計 | その他 | |
|---------|-------|------|---|------|-------|------|------|----|------|-------|----|------|-------|----|-----|-----|
| | | 計 | 計 | | | | | | | | | | | | | |
| 教員 | 247 | → | 6 | 6 | 110 | 37 | 6 | 57 | 210 | | | | 1 | 1 | 30 | |
| 研究員 | 237 | → | | | 8 | 4 | 2 | 9 | 23 | | | | | | 214 | |
| 講師 | 196 | → | | | | | | | | 95 | 41 | 136 | 40 | 16 | 56 | 4 |
| 教育研究支援員 | 42 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事務員 | 230 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 技術員 | 64 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 研究支援推進員 | 18 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補佐員 | 504 | → | | | | | | | | | | | | | 504 | |
| 総計 | 1,538 | 計 | 6 | 6 | 118 | 41 | 8 | 66 | 233 | 95 | 41 | 136 | 40 | 17 | 57 | 752 |

※外国人教師は1名常勤の講師へ

研究員数

2008年度

| 部局名 | 受託研究員 | 民間等共同研究員 | 内地研究員 | プロジェクト研究員 | 日本学術振興会特別研究員 | | | | 合計 |
|--------------------|-------|----------|-------|-----------|--------------|-----|-----|-----|-----|
| | | | | | PD | DC2 | DC1 | 計 | |
| 理工学研究科(理学系) | | 4 | | 2 | 8 | 13 | 10 | 31 | 37 |
| 理工学研究科(工学系) | 27 | 18 | | | 9 | 9 | 16 | 34 | 79 |
| 生命理工学研究科 | 4 | 8 | | | 6 | 3 | 9 | 18 | 30 |
| 総合理工学研究科 | 1 | 16 | | | 7 | 4 | 4 | 15 | 32 |
| 情報理工学研究科 | | 1 | | | 2 | 4 | 2 | 8 | 9 |
| 社会理工学研究科 | | 1 | 1 | | 5 | 3 | 3 | 11 | 13 |
| イノベーションマネジメント研究科 | | 1 | | | | | | | 1 |
| 資源化学研究所 | | 14 | | | 1 | 5 | 3 | 9 | 23 |
| 精密工学研究所 | 5 | 10 | | | 2 | 2 | 5 | 9 | 24 |
| 応用セラミックス研究所 | | 6 | | | 2 | | | 2 | 8 |
| 原子炉工学研究所 | | 4 | | | | | | | 4 |
| 教育工学開発センター | | | | | | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 学術国際情報センター | | 2 | | 2 | | | | | 4 |
| 炭素循環エネルギー研究センター | | | | | | | 1 | 1 | 1 |
| 量子ナノエレクトロニクス研究センター | | | | | | | 2 | 2 | 2 |
| フロンティア研究センター | | 12 | | | | 1 | 3 | 4 | 16 |
| パイオ研究基盤支援総合センター | 1 | | | | | | | | 1 |
| グローバルエッジ研究院 | | | | | 1 | | | 1 | 1 |
| ナノファイバー先端研究戦略推進体 | | 8 | | | | | | | 8 |
| イノベーション研究推進体 | | 3 | | | | | | | 3 |
| 計 | 38 | 108 | 1 | 4 | 43 | 45 | 59 | 147 | 298 |

(注) 日本学術振興会特別研究員は、指導教員の所属部局による。また、新規採用及び継続を含む。

客員研究員

2008年度受入の延人数

(受入別)

| 部局名 | 人数 |
|---------------------|-----|
| 大学院理工学研究科(理系) | 25 |
| 大学院理工学研究科(工系) | 77 |
| 大学院生命理工学研究科 | 7 |
| 大学院総合理工学研究科 | 26 |
| 大学院情報理工学研究科 | 26 |
| 大学院社会理工学研究科 | 10 |
| 大学院イノベーションマネジメント研究科 | 4 |
| 資源化学研究所 | 8 |
| 精密工学研究所 | 14 |
| 応用セラミックス研究所 | 6 |
| 原子炉工学研究所 | 10 |
| 教育工学開発センター | 2 |
| 学術国際情報センター | 2 |
| 留学生センター | 1 |
| フロンティア研究センター | 9 |
| 計 | 227 |

(国別)

| 国名 | 人数 | 国名 | 人数 | 国名 | 人数 |
|---------------|----|-----------|----|-------------|-----|
| 中華人民共和国 | 50 | アメリカ合衆国 | 14 | オランダ王国 | 2 |
| 大韓民国 | 16 | カナダ | 6 | オーストリア共和国 | 1 |
| インド | 10 | ブラジル連邦共和国 | 2 | スロバキア共和国 | 2 |
| タイ王国 | 19 | フランス共和国 | 8 | ハンガリー共和国 | 4 |
| フィリピン共和国 | 8 | ドイツ連邦共和国 | 9 | セルビア共和国 | 1 |
| バングラデシュ人民共和国 | 1 | ロシア連邦 | 1 | ルーマニア | 4 |
| ベトナム社会主義共和国 | 5 | スペイン | 3 | ニュージーランド | 1 |
| インドネシア共和国 | 6 | 英国 | 7 | オーストラリア連邦 | 2 |
| 日本 | 4 | スウェーデン王国 | 1 | トルコ共和国 | 3 |
| パキスタン・イスラム共和国 | 1 | スイス連邦 | 1 | イラン・イスラム共和国 | 3 |
| モンゴル国 | 2 | ノルウェー王国 | 1 | アフガニスタン | 1 |
| マレーシア | 3 | ベルギー王国 | 1 | イスラエル王国 | 2 |
| シンガポール共和国 | 3 | ポーランド共和国 | 2 | カメルーン | 1 |
| ラオス人民民主共和国 | 2 | デンマーク王国 | 2 | エジプト・アラブ共和国 | 1 |
| カンボジア王国 | 1 | フィンランド共和国 | 7 | 合計(46カ国) | 227 |
| ミャンマー連邦 | 1 | イタリア共和国 | 2 | | |

職員・学生・研究員数等

学部学生数

2009年5月1日現在

| 学部 (1年次) | 学 科 | 入学定員 | 在 学 生 数 | | | | | | | | | | 合 計 | |
|---------------|-----------|-----------|---------|---------|---------|-----------|---------|-----------|---------|------------|------------|------------|------------|--------|
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 4年次 | | 計 | | | |
| | | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | |
| 1 理 学 部 | 数 学 | 25 | | | 28(1) | 1 | 27 | 2 | 42 | 2 | 97(1) | 5 | 102(1) | |
| | 物 理 学 | 54 | | | 62(1) | 4 | 54(2) | 6(1) | 63(2) | 8 | 179(5) | 18(1) | 197(6) | |
| | 化 学 | 37 | | | 37 | 6 | 29 | 6 | 37 | 6 | 103 | 18 | 121 | |
| | 情報科学 | 34 | | | 29 | 3 | 30 | 3 | 45(1) | 4(1) | 104(1) | 10(1) | 114(2) | |
| | 地球惑星科学 | 35 | | | 22 | 9 | 17 | 7 | 45 | 5 | 84 | 21 | 105 | |
| | 1年次 | | 192(1) | 23(2) | | | | | | | 192(1) | 23(2) | 215(3) | |
| | 計 | 185 | 192(1) | 23(2) | 178(2) | 23 | 157(2) | 24(1) | 232(3) | 25(1) | 759(8) | 95(4) | 854(12) | |
| 2 工 学 部 | 金属工学 | 33 | | | 28 | 2 | 35 | 1 | 42(1) | 5 | 105(1) | 8 | 113(1) | |
| | 有機材料工学 | 20 | 92(2) | 7(1) | 25(2) | 2(1) | 22(2) | 2 | 24(1) | | 71(5) | 4(1) | 75(6) | |
| | 無機材料工学 | 30 | | | 31(1) | 4 | 27 | 1 | 27 | 5 | 85(1) | 10 | 95(1) | |
| | 化学工学 | 70 | | | 71(5) | 5 | 56(1) | 15(5) | 79(2) | 8(5) | 206(8) | 28(10) | 234(18) | |
| | 高分子工学 | 30 | 106 | 14 | 24 | 6 | 28(2) | 7 | 31(2) | 7(1) | 83(4) | 20(1) | 103(5) | |
| | 機械科学 | 52 | | | 48(3) | 8(2) | 52(3) | 1 | 54(3) | 6(1) | 154(9) | 15(3) | 169(12) | |
| | 機械知能システム学 | 40 | | | 39(2) | 3(2) | 35(3) | 4 | 50(5) | 2 | 124(10) | 9(2) | 133(12) | |
| | 機械宇宙学 | 40 | 221(11) | 20(11) | 38(1) | 3(1) | 45(1) | 4 | 49(2) | 1(1) | 132(4) | 8(2) | 140(6) | |
| | 制御システム工学 | 43 | | | 50(6) | 3 | 49(2) | 2(1) | 54(1) | 3 | 153(9) | 8(1) | 161(10) | |
| | 経営システム工学 | 36 | | | 32 | 6(2) | 37(1) | 6(2) | 44(3) | 5(2) | 113(4) | 17(6) | 130(10) | |
| | 開発システム工学 | | | | | | | 36(13) | 5(4) | 38(14) | 13(10) | 74(27) | 18(14) | 92(41) |
| | 国際開発工学 | 40 | | | 30(10) | 6(6) | 2 | | | | 32(10) | 6(6) | 38(16) | |
| | 電気電子工学 | 82 | 231(10) | 7(1) | 96(4) | 4(1) | 86(9) | 3(1) | 96(7) | 3(1) | 278(20) | 10(3) | 288(23) | |
| | 情報工学 | 102 | | | 89(2) | 4 | 108(5) | 7(1) | 151(11) | 6 | 348(18) | 17(1) | 365(19) | |
| | 土木工学 | | | | | | | | 36(6) | 7 | 36(6) | 7 | 43(6) | |
| | 土木・環境工学 | 34 | 87(1) | 21 | 20(1) | 12 | 35(2) | 4 | 3 | | 58(3) | 16 | 74(3) | |
| | 建築学 | 45 | | | 30 | 14(1) | 30 | 22(2) | 43(1) | 23(1) | 103(1) | 59(4) | 162(5) | |
| | 社会学 | 36 | | | 32 | 8 | 29 | 5 | 45 | 7 | 106 | 20 | 126 | |
| | 1年次 | *20 | 737(24) | 69(13) | | | | | | | 737(24) | 69(13) | 806(37) | |
| | 計 | 733 | 737(24) | 69(13) | 683(37) | 90(16) | 712(44) | 89(16) | 866(59) | 101(22) | 2,998(164) | 349(67) | 3,347(231) | |
| 7 生 命 理 工 学 部 | 生命科学 | 75 | | | 50 | 13 | 64(1) | 12(1) | 72 | 17(1) | 186(1) | 42(2) | 228(3) | |
| | 生命工学 | 75 | | | 66(1) | 16(1) | 70 | 16 | 68(2) | 25(2) | 204(3) | 57(3) | 261(6) | |
| | 1年次 | *10 | 139(2) | 31(3) | | | | | | | 139(2) | 31(3) | 170(5) | |
| | 計 | 150 | 139(2) | 31(3) | 116(1) | 29(1) | 134(1) | 28(1) | 140(2) | 42(3) | 529(6) | 130(8) | 659(14) | |
| 合 計 | 1,068 | 1,068(27) | 123(18) | 977(40) | 142(17) | 1,003(47) | 141(18) | 1,238(64) | 168(26) | 4,286(178) | 574(79) | 4,860(257) | | |

(注) *印の定員は、第3年次編入学定員で外数。()内は、留学生で内数。

研究生数

2009年5月1日現在

| 区 分 | 理工学 研究科 (理学系) | 理工学 研究科 (工学系) | 生 命 理工学 研究科 | 総 合 理工学 研究科 | 情 報 理工学 研究科 | 社 会 理工学 研究科 | イノベーション マネジメント 研究科 | 資源化学 研究所 | 精密工学 研究所 | 応 用 セラミックス 研究所 | 原子炉工学 研究所 | その他 | 合 計 |
|-----|---------------------|---------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------------|-------------|-------------|----------------------|--------------|-----|-----|
| 日本人 | 2 | 11 | 5 | 7 | 3 | 4 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 2 | 38 |
| 留学生 | 0 | 33 | 3 | 9 | 4 | 11 | 2 | 1 | 5 | 0 | 4 | 8 | 80 |
| 合 計 | 2 | 44 | 8 | 16 | 7 | 15 | 2 | 1 | 7 | 1 | 5 | 10 | 118 |

(注) その他は、学術国際情報センター等学内共同研究教育施設。

大学院学生数

2009年5月1日現在

| 研究科 | 専 攻 名 | 入学定員 | 修士課程 | | | | | | 修士 総合計 | 博士後期課程 | | | | | | | | 博士 総合計 | | |
|-----------------|-----------------|---------|---------|---------|---------|------------|---------|------------|-----------|---------|-------|---------|--------|---------|--------|----------|--------|-----------|---------|--------|
| | | | 在 学 生 数 | | | | | | | 在 学 生 数 | | | | | | | | | | |
| | | | 1年次 | | 2年次 | | 計 | | | 1年次 | | 2年次 | | 3年次 | | 計 | | | | |
| 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | | | |
| 理 工 学 研 究 科 | 数 学 | 22 | 20 | 2 | 24 | 2(1) | 44 | 4(1) | 48(1) | 8 | 3 | 0 | 3(1) | 0 | 7 | 0 | 13(1) | 0 | 13(1) | |
| | 基礎物理学 | 23 | 24 | 4 | 23 | 4 | 47 | 8 | 55 | 8 | 7(1) | 1 | 6(1) | 0 | 6 | 1 | 19(2) | 2 | 21(2) | |
| | 物性物理学 | 35 | 35(1) | 2 | 34 | 3 | 69(1) | 5 | 74(1) | 12 | 4(1) | 1 | 9(1) | 0 | 8 | 0 | 21(2) | 1 | 22(2) | |
| | 化 学 | 35 | 38 | 6 | 44 | 2 | 82 | 8 | 90 | 12 | 9(1) | 1(1) | 11 | 2(1) | 16(1) | 1 | 36(2) | 4(2) | 40(4) | |
| | 地球惑星科学 | 19 | 17 | 4 | 18 | 4 | 35 | 8 | 43 | 7 | 7 | 2 | 4 | 6 | 3 | 2 | 14 | 10 | 24 | |
| | 物質科学 | 29 | 34 | 3(1) | 32(1) | 3(2) | 66(1) | 6(3) | 72(4) | 10 | 4 | 0 | 4 | 1 | 9(1) | 2(1) | 17(1) | 3(1) | 20(2) | |
| | 材料工学 | 36 | 42 | 4 | 52(12) | 6(2) | 94(12) | 10(2) | 104(14) | 13 | 6(1) | 4(3) | 15(3) | 1(1) | 10(3) | 4(3) | 31(7) | 9(7) | 40(14) | |
| | 有機・高分子物質 | 46 | 45 | 11(1) | 44(8) | 12(6) | 89(8) | 23(7) | 112(15) | 15 | 10(3) | 2 | 9(1) | 1(1) | 20(9) | 2(1) | 39(13) | 5(2) | 44(15) | |
| | 応用化学 | 20 | 21(1) | 7(3) | 20(1) | 7(2) | 41(2) | 14(5) | 55(7) | 7 | 8(1) | 0 | 2 | 0 | 3 | 1 | 13(1) | 1 | 14(1) | |
| | 化学工学 | 26 | 24(3) | 3(1) | 26(4) | 5(2) | 50(7) | 8(3) | 58(10) | 9 | 3 | 0 | 5(2) | 1(1) | 6(1) | 3(2) | 14(3) | 4(3) | 18(6) | |
| | 機械物理学 | 35 | 39(1) | 1 | 48(8) | 1 | 87(9) | 2 | 89(9) | 12 | 5(2) | 0 | 8(4) | 0 | 9(4) | 3(3) | 22(10) | 3(3) | 25(13) | |
| | 機械制御システム | 43 | 53(1) | 1 | 54(2) | 1 | 107(3) | 2 | 109(3) | 15 | 3(2) | 1(1) | 13(6) | 1 | 22(7) | 1(1) | 38(15) | 3(2) | 41(17) | |
| | 機械宇宙システム | 24 | 25 | 1 | 40(2) | 1(1) | 65(2) | 2(1) | 67(3) | 9 | 1(1) | 0 | 3(2) | 0 | 6(1) | 1(1) | 10(4) | 1(1) | 11(5) | |
| | 電気電子工学 | 27 | 41(2) | 4(1) | 37(1) | 2(2) | 78(3) | 6(3) | 84(6) | 10 | 12(2) | 0 | 10(3) | 0 | 20(10) | 3(3) | 42(15) | 3(3) | 45(18) | |
| | 電子物理学 | 28 | 43(3) | 1(1) | 47(13) | 1(1) | 90(16) | 2(2) | 92(18) | 9 | 7(5) | 2(2) | 15(9) | 0 | 8(2) | 3(3) | 30(16) | 5(5) | 35(21) | |
| | 集積システム | 27 | 35(5) | 2(2) | 52(10) | 1 | 87(15) | 3(2) | 90(17) | 10 | 4(3) | 2 | 5(1) | 1(1) | 13(6) | 1(1) | 22(10) | 4(2) | 26(12) | |
| | 土木工学 | 21 | 19(3) | 4 | 24(7) | 8(5) | 43(10) | 12(5) | 55(15) | 8 | 5(2) | 1 | 4(3) | 1(1) | 10(3) | 1(1) | 19(8) | 3(2) | 22(10) | |
| | 建築学 | 32 | 27(1) | 6 | 49(11) | 13(3) | 76(12) | 19(3) | 95(15) | 11 | 2 | 0 | 4 | 1 | 12(4) | 4(1) | 18(4) | 5(1) | 23(5) | |
| | 国際開発工学 | 24 | 15(7) | 7(4) | 26(10) | 6(5) | 41(17) | 13(9) | 54(26) | 9 | 7(3) | 0 | 7(5) | 0 | 15(8) | 8(7) | 29(16) | 8(7) | 37(23) | |
| | 原子核工学 | 16 | 22(2) | 4 | 21(6) | 2(1) | 43(8) | 6(1) | 49(9) | 9 | 10(7) | 2 | 9(3) | 2(1) | 18(1) | 4(3) | 37(11) | 8(4) | 45(15) | |
| 計 | 568 | 619(30) | 77(14) | 715(96) | 84(33) | 1,334(126) | 161(47) | 1,495(173) | 203 | 117(35) | 19(7) | 146(45) | 18(7) | 221(61) | 45(31) | 484(141) | 82(45) | 566(186) | | |
| 生 命 理 工 学 研 究 科 | 分子生命科学 | 21 | 22 | 7(1) | 24(4) | 11(3) | 46(4) | 18(4) | 64(8) | 8 | 1 | 1(1) | 4(1) | 0 | 6 | 3(3) | 11(1) | 4(4) | 15(5) | |
| | 生体システム | 18 | 15(1) | 4 | 25(2) | 9(3) | 40(3) | 13(3) | 53(6) | 6 | 4 | 2(1) | 10(2) | 4(2) | 9(1) | 5 | 23(3) | 11(3) | 34(6) | |
| | 生命情報 | 18 | 22 | 6 | 25(2) | 9(4) | 47(2) | 15(4) | 62(6) | 6 | 2 | 0 | 12(1) | 1 | 7(1) | 5(2) | 21(2) | 6(2) | 27(4) | |
| | 生物プロセス | 20 | 21 | 8 | 24(5) | 10(2) | 45(5) | 18(2) | 63(7) | 7 | 0 | 0 | 8(3) | 2(1) | 4 | 4(3) | 12(3) | 6(4) | 18(7) | |
| | 生体分子機能工学 | 21 | 21(1) | 5 | 21(2) | 15(8) | 42(3) | 20(8) | 62(11) | 8 | 5(2) | 0 | 7(3) | 5(4) | 11 | 6(2) | 23(5) | 11(6) | 34(11) | |
| | 計 | 98 | 101(2) | 30(1) | 119(15) | 54(20) | 220(17) | 84(21) | 304(38) | 35 | 12(2) | 3(2) | 41(10) | 12(7) | 37(2) | 23(10) | 90(14) | 38(19) | 128(33) | |
| | 総 合 理 工 学 研 究 科 | 物質科学創造 | 27 | 38 | 9 | 43 | 5 | 81 | 14 | 95 | 22 | 11(1) | 0 | 16(1) | 1 | 12(2) | 1(1) | 39(4) | 2(1) | 41(5) |
| | | 物質電子化学 | 44 | 51(2) | 7 | 46(2) | 7 | 97(4) | 14 | 111(4) | 20 | 9(3) | 2 | 14(3) | 2 | 15(3) | 2(1) | 38(9) | 6(1) | 44(10) |
| | | 材料物理学 | 41 | 40 | 8 | 45(3) | 3 | 85(3) | 11 | 96(3) | 19 | 5(1) | 1 | 5(1) | 1(1) | 10(1) | 2(2) | 20(3) | 4(3) | 24(6) |
| | | 環境理工学創造 | 31 | 30(2) | 5 | 43(3) | 9(4) | 73(5) | 14(4) | 87(9) | 26 | 2(1) | 5(3) | 12(1) | 3(1) | 20(3) | 10(3) | 34(5) | 18(7) | 52(12) |
| 人間環境システム | | 44 | 29 | 12 | 42(2) | 9(1) | 71(2) | 21(1) | 92(3) | 18 | 5(1) | 3(3) | 6 | 3 | 15(2) | 5(2) | 26(3) | 11(5) | 37(8) | |
| 創造エネルギー | | 41 | 36 | 1 | 47(6) | 2 | 83(6) | 3 | 86(6) | 17 | 3 | 2(1) | 10(2) | 0 | 19(2) | 1(1) | 32(4) | 3(2) | 35(6) | |
| 化学環境学 | | 34 | 31(1) | 9(1) | 36(3) | 12(2) | 67(4) | 21(3) | 88(7) | 16 | 4 | 2(1) | 4(1) | 4(3) | 6(1) | 2(1) | 14(2) | 8(5) | 22(7) | |
| 物理情報システム創造 | | | | | | | | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| 物理電子システム創造 | | 34 | 52(3) | 1 | 50(3) | 0 | 102(6) | 1 | 103(6) | 23 | 9(1) | 1 | 20(9) | 3 | 21(4) | 1(1) | 50(14) | 5(1) | 55(15) | |
| メカノマイクロ工学 | | 22 | 35(1) | 1 | 27(4) | 6(3) | 62(5) | 7(3) | 69(8) | 10 | 5 | 1 | 2 | 0 | 15(4) | 1(1) | 22(4) | 2(1) | 24(5) | |
| 知能システム科学 | 76 | 64(5) | 6 | 74(7) | 4(1) | 138(12) | 10(1) | 148(13) | 31 | 19(4) | 2(1) | 33(7) | 5(4)</ | | | | | | | |

職員・学生・研究員数等

国籍別留学生数

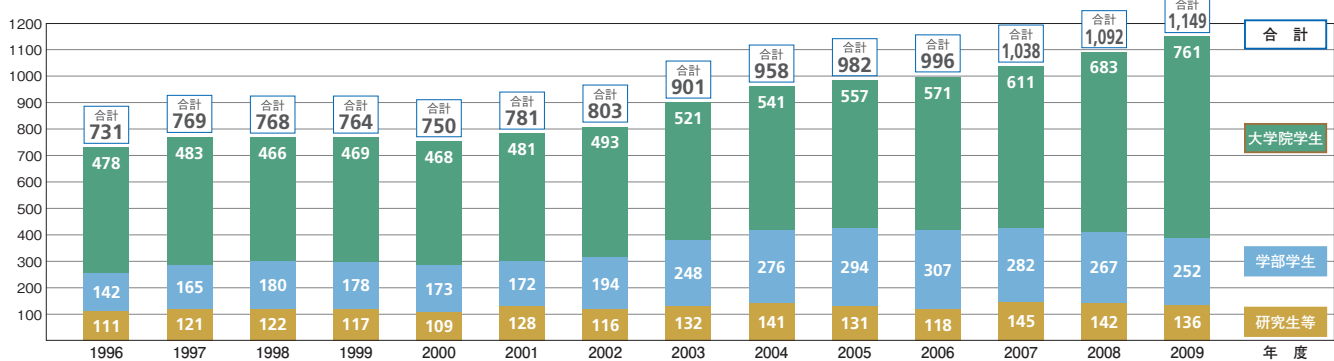
2009年5月1日現在

| 国名 | 学部 | 修士課程 | 博士後期課程 | 研究生等 | 計 |
|------------------|--------------|----------|----------|---------|-----------------|
| 中華人民共和国 | 118(50) | 166(65) | 117(46) | 30(12) | 431(173) |
| 大韓民国 | 32(2) | 39(10) | 58(16) | 14(4) | 143(32) |
| ベトナム社会主義共和国 | 40(12) | 21(8) | 18(3) | 3 | 82(23) |
| インドネシア共和国 | 8 | 18(3) | 37(10) | 11(6) | 74(19) |
| タイ王国 | 10(5) [5] | 26(9) | 25(9) | 10(5) | 71(28) [5] |
| マレーシア | 19(3) [10] | 6(3) | 10(7) | 1 | 36(13) [10] |
| フィリピン共和国 | 1 | 6(2) | 14(6) | 2(1) | 23(9) |
| バングラデシュ人民共和国 | 1 | 4(2) | 16(4) | | 21(6) |
| 中華人民共和国(台湾) | | 5(2) | 9(5) | 4 | 18(7) |
| モンゴル国 | 1 | 5(2) | 2(2) | 3(1) | 11(5) |
| インド | 2 | 2 | 5(2) | 1 | 10(2) |
| ネパール連邦民主共和国 | 2(1) | 3(1) | 4 | 1 | 10(2) |
| スリランカ民主社会主義共和国 | 2(2) | 2 | 3 | 2 | 9(2) |
| カンボジア王国 | 2 | 1 | 5(1) | | 8(1) |
| パキスタン・イスラム共和国 | | | 5 | 1(1) | 6(1) |
| カザフスタン共和国 | 1 | 1 | 3(1) | | 5(1) |
| ミャンマー連邦 | | 3(1) | | 1 | 4(1) |
| ラオス人民民主共和国 | | | 3(1) | | 3(1) |
| 中華人民共和国(香港) | 2 | | | | 2 |
| シンガポール | | | | 2 | 2 |
| アメリカ合衆国 | | 6(1) | 2 | 4(1) | 12(2) |
| カナダ | | 4 | 4 | | 8 |
| ブラジル連邦共和国 | 2 | | 8 | 2(1) | 12(1) |
| メキシコ合衆国 | | 4 | 1 | | 5 |
| コロンビア共和国 | 1 | 1(1) | 2(1) | | 4(2) |
| エクアドル共和国 | | | 2 | | 2 |
| ボリビア共和国 | | 1 | 1 | | 2 |
| ペルー共和国 | | | 2 | | 2 |
| ニカラグア共和国 | | 1 | | 1 | 2 |
| アルゼンチン共和国 | 1 | | | | 1 |
| キューバ共和国 | | | 1 | | 1 |
| コスタリカ共和国 | | 1 | | | 1 |
| ドイツ連邦共和国 | | | 5(2) | 6(1) | 11(3) |
| スウェーデン王国 | | | 2 | 7(1) | 9(1) |
| フランス共和国 | | 4 | 1 | 3(2) | 8(2) |
| ロシア連邦 | | | 3 | 2(2) | 5(2) |
| 英国 | | 2(1) | 3 | | 5(1) |
| ノルウェー王国 | | | 1 | 3(1) | 4(1) |
| オーストリア共和国 | | 2 | 1 | | 3 |
| スイス連邦 | | | 2 | 1 | 3 |
| フィンランド共和国 | | | 1(1) | 2(1) | 3(2) |
| ブルガリア共和国 | 1(1) | 1 | 1 | | 3(1) |
| スロベニア共和国 | | 2(1) | | | 2(1) |
| オランダ王国 | | | | 2(1) | 2(1) |
| リトアニア共和国 | 1 | | | 1(1) | 2(1) |
| スペイン | | | 1 | 1(1) | 2(1) |
| イタリア共和国 | | | | 1 | 1 |
| エストニア共和国 | | | 1 | | 1 |
| ルーマニア | | 1 | | | 1 |
| マケドニア旧ユーゴスラビア共和国 | | 1 | | | 1 |
| ボスニア・ヘルツェゴビナ | | 1(1) | | | 1(1) |
| ポーランド共和国 | | | 1(1) | | 1(1) |
| デンマーク王国 | | | | 1 | 1 |
| セルビア共和国 | | | 1(1) | | 1(1) |
| クロアチア共和国 | | | 1 | | 1 |
| キルギス共和国 | | | | 1(1) | 1(1) |
| ベルギー王国 | | | | 1(1) | 1(1) |
| オーストラリア連邦 | | 1 | 1 | 3 | 5 |
| バプアニューギニア独立国 | | | 1 | | 1 |
| フィジー諸島共和国 | | | 1 | | 1 |
| イラン・イスラム共和国 | 2 | 2(1) | 8(3) | 2 | 14(4) |
| トルコ共和国 | | 1 | 6(1) | 2(1) | 9(2) |
| サウジアラビア王国 | 2[2] | | | | 2[2] |
| シリア・アラブ共和国 | | | | 2 | 2 |
| イスラエル王国 | | 1 | 1 | 1 | 3 |
| アラブ首長国連邦 | | 1 | | | 1 |
| レバノン共和国 | | | 1 | | 1 |
| ヨルダン・ハシメット王国 | 1 | | | | 1 |
| アルジェリア民主人民共和国 | | | 1 | 1 | 2 |
| スーダン共和国 | | 1 | 1 | | 2 |
| エジプト・アラブ共和国 | | 1(1) | 1 | | 2(1) |
| ナイジェリア連邦共和国 | | 1 | 1 | | 2 |
| エチオピア連邦民主共和国 | | | 1 | | 1 |
| マラウイ共和国 | | | 1 | | 1 |
| マダガスカル共和国 | | 1 | | | 1 |
| チュニジア共和国 | | | 1 | | 1 |
| タンザニア連合共和国 | | | 1 | | 1 |
| 南アフリカ共和国 | | 1 | | | 1 |
| ジンバブエ共和国 | | 1 | | | 1 |
| 合計 | 252(76) [17] | 352(115) | 409(123) | 136(46) | 1,149(360) [17] |

(注) ()内は、女子。[]内は、政府派遣でいずれも内数。

留学生数の変遷

各年度5月1日現在



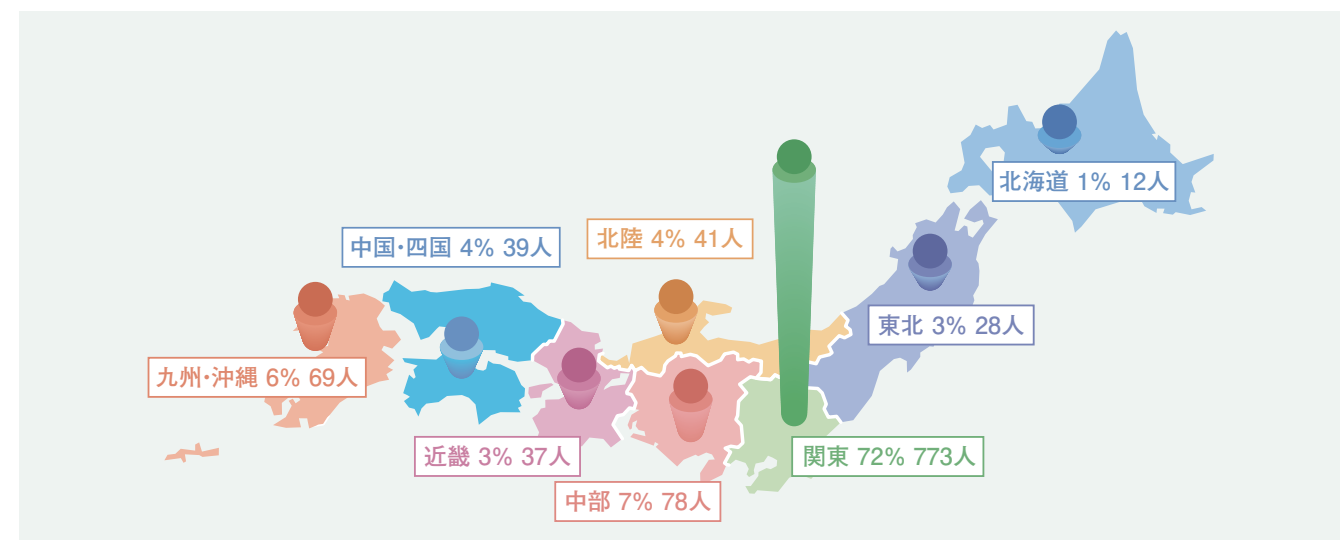
入学・卒業状況等

学部の入学状況

2009年度

| | 1類 理学部 | 2類 工学部 | 3類 工学部 | 4類 工学部 | 5類 工学部 | 6類 工学部 | 7類 生命理工学部 | 計 |
|------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-----------|-------|
| 志願者数 | 1,274 | 386 | 627 | 1,287 | 1,248 | 671 | 770 | 6,263 |
| 募集人員 | 185 | 85 | 113 | 226 | 206 | 100 | 153 | 1,068 |
| 入学者数 | 192 | 95 | 116 | 232 | 223 | 104 | 160 | 1,122 |

学部入学生の出身高校の地域別(一般入試)



大学院の入学状況

2008年度

| | 修士課程 | | | | | | 博士後期課程 | | | | | | | |
|------|---------|----------|----------|----------|----------|-------------------|------------|---------|----------|----------|----------|----------|------------------|----------|
| | 理工学研究科 | 生命理工学研究科 | 総合理工学研究科 | 情報理工学研究科 | 社会理工学研究科 | イノベーションマネジメント研究科* | 合計 | 理工学研究科 | 生命理工学研究科 | 総合理工学研究科 | 情報理工学研究科 | 社会理工学研究科 | イノベーションマネジメント研究科 | 合計 |
| 志願者数 | 1,142 | 184 | 842 | 137 | 194 | 121 | 2,620 | 182 | 27 | 147 | 28 | 39 | 19 | 442 |
| 入学定員 | 568 | 98 | 433 | 98 | 95 | 35* | 1,327 | 203 | 35 | 219 | 35 | 44 | 10 | 546 |
| 入学者数 | 696(69) | 131(12) | 500(41) | 119(15) | 95(12) | 30(12) | 1,571(161) | 136(52) | 15(14) | 102(42) | 13(16) | 16(12) | 8(6) | 290(142) |

(注) ()内は、2008年10月入学で外数。*は、専門職学位課程。

大学院国際大学院コース入学状況(10月入学者)

| | 2001年度 | | 2002年度 | | 2003年度 | | 2004年度 | | 2005年度 | | 2006年度 | | 2007年度 | | 2008年度 | | 1993~2008年度 | | | | | | | | | | |
|----------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|-------------|------|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|-----|
| | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | 修士課程 | 博士課程 | | | | | | | | | |
| 理工学研究科 | 9 | 11 | 20 | 14 | 13 | 27 | 21 | 18 | 39 | 16 | 18 | 34 | 13 | 22 | 35 | 21 | 14 | 35 | 37 | 3 | 40 | 43 | 11 | 54 | 291 | 222 | 513 |
| 生命理工学研究科 | 7 | 3 | 10 | 5 | 4 | 9 | 0 | 3 | 3 | 3 | 1 | 4 | 3 | 2 | 5 | 2 | 2 | 4 | 9 | 2 | 11 | 9 | 1 | 10 | 65 | 53 | 118 |
| 総合理工学研究科 | 5 | 9 | 14 | 7 | 6 | 13 | 8 | 3 | 11 | 4 | 5 | 9 | 6 | 6 | 12 | 3 | 10 | 13 | 16 | 2 | 18 | 21 | 4 | 25 | 108 | 98 | 206 |
| 情報理工学研究科 | 1 | 1 | 2 | 2 | 2 | 4 | 4 | 2 | 6 | 4 | 3 | 7 | 5 | 1 | 6 | 2 | 2 | 4 | 7 | 4 | 11 | 6 | 4 | 10 | 53 | 29 | 82 |
| 社会理工学研究科 | 5 | 1 | 6 | 4 | 1 | 5 | 4 | 1 | 5 | 1 | 2 | 3 | 1 | 0 | 1 | 5 | 1 | 6 | 6 | 0 | 6 | 5 | 2 | 7 | 42 | 16 | 58 |
| 合計 | 27 | 25 | 52 | 32 | 26 | 58 | 37 | 27 | 64 | 28 | 29 | 57 | 28 | 31 | 59 | 33 | 29 | 62 | 75 | 11 | 86 | 84 | 22 | 106 | 559 | 418 | 977 |

入学・卒業状況等

学部の就職状況

2008年度

| | 卒業者数 | 進学者数 | 製造業 | 非製造業 | 教員 | 公務員 | その他 |
|--------|-------|------|-----|------|----|-----|-----|
| 理学部 | 198 | 163 | 7 | 17 | 3 | 0 | 8 |
| 工学部 | 804 | 688 | 25 | 56 | 0 | 4 | 31 |
| 生命理工学部 | 166 | 143 | 5 | 7 | 0 | 1 | 10 |
| 合計 | 1,168 | 994 | 37 | 80 | 3 | 5 | 49 |

(注)その他は、研究生・海外留学・帰国外国人等である。

大学院の就職状況

2008年度

修士課程

| | 修了者数 | 進学者数 | 製造業 | 非製造業 | 教員 | 公務員 | その他 |
|-------------------|-------|------|-----|------|----|-----|-----|
| 理工学研究科 | 710 | 110 | 375 | 192 | 0 | 8 | 25 |
| 生命理工学研究科 | 137 | 22 | 57 | 40 | 0 | 4 | 14 |
| 総合理工学研究科 | 537 | 73 | 304 | 146 | 1 | 4 | 9 |
| 情報理工学研究科 | 126 | 10 | 53 | 57 | 1 | 1 | 4 |
| 社会理工学研究科 | 119 | 11 | 21 | 77 | 0 | 2 | 8 |
| イノベーションマネジメント研究科* | 28 | 2 | 11 | 15 | 0 | 0 | 0 |
| 合計 | 1,657 | 228 | 821 | 527 | 2 | 19 | 60 |

(注)その他は、研究生・海外留学・帰国外国人等である。*印は、専門職学位課程。

博士後期課程

| | 修了者数 | 製造業 | 非製造業 | 教員 | 公務員 | その他 |
|------------------|------|-----|------|----|-----|-----|
| 理工学研究科 | 174 | 59 | 42 | 16 | 2 | 55 |
| 生命理工学研究科 | 37 | 11 | 6 | 6 | 2 | 12 |
| 総合理工学研究科 | 127 | 37 | 29 | 11 | 3 | 47 |
| 情報理工学研究科 | 18 | 3 | 2 | 4 | 0 | 9 |
| 社会理工学研究科 | 28 | 2 | 6 | 9 | 2 | 9 |
| イノベーションマネジメント研究科 | 5 | 3 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 合計 | 389 | 115 | 86 | 46 | 10 | 132 |

(注)その他は、PD 研究者・帰国外国人・海外留学・研究生等である。

博士学位授与数

2009年3月31日現在

| 区分 | 年度 | 課程博士 | | | | | 論文博士 | | | | |
|------------------|--------|-------|-------|-----|------|-------|------|-------|----|------|-------|
| | | 理学 | 工学 | 学術 | 技術経営 | 計 | 理学 | 工学 | 学術 | 技術経営 | 計 |
| 理工学研究科 | 2008年度 | 33 | 123 | 13 | 0 | 169 | 1 | 18 | 0 | 0 | 19 |
| | 累計 | 1,108 | 3,000 | 137 | 0 | 4,245 | 399 | 2,435 | 23 | 0 | 2,857 |
| 生命理工学研究科 | 2008年度 | 21 | 19 | 1 | 0 | 41 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 累計 | 342 | 338 | 6 | 0 | 686 | 38 | 51 | 0 | 0 | 89 |
| 総合理工学研究科 | 2008年度 | 19 | 97 | 6 | 0 | 122 | 0 | 2 | 0 | 0 | 2 |
| | 累計 | 452 | 1,721 | 54 | 0 | 2,227 | 137 | 799 | 11 | 0 | 947 |
| 情報理工学研究科 | 2008年度 | 6 | 9 | 4 | 0 | 19 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| | 累計 | 67 | 159 | 50 | 0 | 276 | 16 | 44 | 3 | 0 | 63 |
| 社会理工学研究科 | 2008年度 | 1 | 8 | 22 | 0 | 31 | 0 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| | 累計 | 7 | 123 | 159 | 0 | 289 | 1 | 16 | 18 | 0 | 35 |
| イノベーションマネジメント研究科 | 2008年度 | 0 | 0 | 1 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 累計 | 0 | 2 | 1 | 8 | 11 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 総計 | | 2,056 | 5,599 | 454 | 12 | 8,121 | 598 | 3,365 | 56 | 0 | 4,019 |

研究プログラム

グローバル COE プログラム

2009年8月現在(単位:千円)

http://www.rso.titech.ac.jp/g-coe/gcoe_02_01.html

「グローバルCOEプログラム」とは文部科学省が2007年度から開始したプログラムで、「21世紀COEプログラム」の基本的な考え方を継承しつつ、我が国の大学院の教育研究機能を一層充実・強化しようとするものです。世界最高水準の研究基盤の下で世界をリードする創造的な人材育成を図るため、国際的に卓越した教育研究拠点の形成を重点的に支援することで、国際競争力のある大学づくりを目指しています。

2007年度採択

生命時空間ネットワーク進化型教育研究拠点

分子・細胞・組織・個体がネットワークを構築しこれが時間変化することで生命が維持されるメカニズムの解明から、さらにこれを制御することによるバイオ・医療応用まで、基礎と応用を両立させた研究を推進し、これを実践できる独創的な若手人材の育成を推進しています。

| | |
|-----------|--|
| 申請分野名 | 生命科学 |
| 部局名 | 生命理工学研究科 / 理工学研究科 |
| 専攻等名 | 分子生命科学 ■ 生体システム ■ 生命情報 ■ 生物プロセス ■ 生体分子機能工学 ■ 電気電子工学 |
| 拠点リーダー名 | 白髭 克彦 |
| 連携先 | 理化学研究所 脳科学総合研究センター ■ 東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 ■ カリフォルニア大学ロサンゼルス校 ■ スクリプス研究所 ■ フランスCNRS(国立科学研究センター) |
| 2009年度交付額 | 325,104 (75,024) |
| 2008年度交付額 | 349,570 (80,670) |
| 2007年度交付額 | 349,570 (80,670) |
| 交付総額 | 1,024,244 (236,364) |

材料イノベーションのための教育研究拠点

科学技術のブレークスルーを可能にできる材料技術者・研究者を育成するために、プロジェクトマネージング、分野横断的なナノ材料物理、コミュニケーションスキルなどの教育を行います。このような教育に基づき、研究を活性化し、アジアの研究者と協力してグローバルな視点をもった教育、研究の拠点を作ります。

| | |
|-----------|--|
| 申請分野名 | 化学・材料科学 |
| 部局名 | 理工学研究科 / 総合理工学研究科 |
| 専攻等名 | 材料工学 ■ 有機・高分子物質 ■ 物質科学創造 ■ 材料物理科学 |
| 拠点リーダー名 | 竹添 秀男 |
| 連携先 | (独) 物質・材料研究機構 光触媒材料センター ■ (独) 産業技術総合研究所 ナノテクノロジー研究部門 |
| 2009年度交付額 | 277,472 (64,032) |
| 2008年度交付額 | 298,350 (68,850) |
| 2007年度交付額 | 270,140 (62,340) |
| 交付総額 | 845,962 (195,222) |

新たな分子化学創発を目指す教育研究拠点

21世紀COE拠点「分子多様性の創出と機能開拓」の成果を発展、継承するとともに、「合成」と「解析」という異なる要素の融合教育を通して、次代の化学領域の研究・開発を担う若手研究者を育成します。

| | |
|-----------|--|
| 申請分野名 | 化学・材料科学 |
| 部局名 | 理工学研究科 / 総合理工学研究科 |
| 専攻等名 | 化学 ■ 物質科学 ■ 応用化学 ■ 化学工学 ■ 物質電子化学 ■ 化学環境学 |
| 拠点リーダー名 | 鈴木 啓介 |
| 連携先 | 理化学研究所 中央研究所 |
| 2009年度交付額 | 284,726 (65,706) |
| 2008年度交付額 | 306,150 (70,650) |
| 2007年度交付額 | 303,420 (70,020) |
| 交付総額 | 894,296 (206,376) |

計算世界観の深化と展開

自然現象や社会現象を「計算過程」として見ることにより、高度な数学を駆使し、スーパーコンピューティングを武器に、様々な現象を解明していく科学の新たな手法が生まれつつあります。その先駆けとして、計算世界観に基づく手法の確立をし、その実践者の育成をします。

| | |
|-----------|--|
| 申請分野名 | 情報・電気・電子 |
| 部局名 | 情報理工学研究科 / 理工学研究科 / 総合理工学研究科 / Global Edge Institute |
| 専攻等名 | 数理・計算科学 ■ 計算工学 ■ 数学 ■ 原子核工学 ■ 知能システム科学 ■ 物理情報システム |
| 拠点リーダー名 | 渡辺 治 |
| 連携先 | スイス連邦工科大学チューリッヒ校 ■ カリフォルニア大学サンディエゴ校 |
| 2009年度交付額 | 202,384 (46,704) |
| 2008年度交付額 | 217,620 (50,220) |
| 2007年度交付額 | 215,020 (49,620) |
| 交付総額 | 635,024 (146,544) |

フォトニクス集積コアエレクトロニクス

東工大が世界をリードしてきた半導体レーザーの研究を始めとして、フォトニックデバイスの革新を進めるとともに、シリコン電子システムとの集積・融合による高度な光電子集積技術を確立し、応用システムへと展開します。世界をリードし、基礎から産業界までを見通すことのできる人材育成を行います。

| | |
|-----------|--|
| 申請分野名 | 情報・電気・電子 |
| 部局名 | 総合理工学研究科 / 理工学研究科 |
| 専攻等名 | 物理電子システム創造 ■ 物理情報システム ■ 電気電子工学 ■ 電子物理工学 ■ 集積システム |
| 拠点リーダー名 | 小山 二三夫 |
| 連携先 | カリフォルニア大学バークレイ校・ナノフォトニクス研究センター ■ ケンブリッジ大学先端光電子工学研究センター |
| 2009年度交付額 | 294,879 (68,049) |
| 2008年度交付額 | 317,070 (73,170) |
| 2007年度交付額 | 317,070 (73,170) |
| 交付総額 | 929,019 (214,389) |

2008年度採択

ナノサイエンスを拓く量子物理学拠点

20世紀の人類の発展を支えた量子物理学は、今世紀に入り、ナノサイエンス・ナノテクノロジーを支える学問領域として、その重要性は、ますます大きくなっています。当拠点では、ナノサイエンス領域と量子物理学領域における世界最先端の研究を展開しています。

| | |
|-----------|---------------------|
| 申請分野名 | 数学・物理学・地球科学 |
| 部局名 | 理工学研究科 |
| 専攻等名 | 物性物理学 ■ 基礎物理学 |
| 拠点リーダー名 | 斎藤 晋 |
| 連携先 | カリフォルニア大学バークレイ校物理学科 |
| 2009年度交付額 | 190,294 (43,914) |
| 2008年度交付額 | 204,620 (47,220) |
| 交付総額 | 394,914 (91,134) |

震災メカリスク軽減の都市地震工学国際拠点

わが国の大都市は、人口・産業・情報の集中により、都市機能が複雑化・脆弱化し、巨大地震や直下地震などによる大きな震災リスクを内包しています。これを軽減するため、地震に強い都市の創成・再生・回復技術を統合化した「都市地震工学」の創成と実践のための教育・研究拠点を作ります。

| | |
|-----------|---|
| 申請分野名 | 機械・土木・建築・その他の工学 |
| 部局名 | 理工学研究科 / 総合理工学研究科 / 情報理工学研究科 |
| 専攻等名 | 建築学 ■ 土木工学 ■ 人間環境システム ■ 環境理工学創造 ■ 情報環境学 |
| 拠点リーダー名 | 時松 孝次 |
| 連携先 | 太平洋地震工学研究センター |
| 2009年度交付額 | 306,605 (70,755) |
| 2008年度交付額 | 329,680 (76,080) |
| 交付総額 | 636,285 (146,835) |

エネルギー学理の多角的学術融合

私たちが直面している地球温暖化やエネルギー資源の枯渇に対し、多角的・学際的なエネルギー研究開発の推進と、未来を切り拓く創造力を持つ人材の育成を通じて、地球環境問題の解決に挑戦しています。

| | |
|-----------|--|
| 申請分野名 | 学際・複合・新領域 |
| 部局名 | 理工学研究科 / 総合理工学研究科 / 社会理工学研究科 / 留学生センター |
| 専攻等名 | 機械制御システム ■ 電子物理工学 ■ 化学工学 ■ 応用化学 ■ 機械宇宙システム ■ 材料工学 ■ 有機・高分子物質 ■ 化学 ■ 国際開発工学 ■ 物質科学創造 ■ 物質電子化学 ■ 化学環境学 ■ 物理電子システム創造 ■ 経営工学 ■ 原子核工学 |
| 拠点リーダー名 | 平井 秀一郎 |
| 連携先 | ジョージア工科大学機械工学科 ■ 韓国科学技術院(KAIST)機械工学科 ■ シュットガルト大学電子物理研究所 |
| 2009年度交付額 | 277,953 (64,143) |
| 2008年度交付額 | 298,870 (68,970) |
| 交付総額 | 576,823 (133,113) |

2009年度採択

地球から地球たちへ

相次ぐ太陽系外の惑星の発見は、われわれの地球以外にも、宇宙には生命が存在可能な多様な惑星、「地球たち」が偏在していることを示します。われわれの拠点では、「地球」の徹底理解のもとに宇宙の「地球たち」に迫る研究を通して、新たな地球・生命観を備えた人材を育てます。

| | |
|-----------|--|
| 申請分野名 | 学際・複合・新領域 |
| 部局名 | 理工学研究科 / 生命理工学研究科 / 総合理工学研究科 |
| 専攻等名 | 地球惑星科学専攻 ■ 化学専攻 ■ 生命情報専攻 ■ 生体システム専攻 ■ 環境理工学創造専攻 ■ 知能システム科学専攻 |
| 拠点リーダー名 | 井田 茂 |
| 連携先 | 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻、大学院総合文化研究科広域科学専攻、海洋研究所、気候システム研究センター |
| 2009年度交付額 | 184,374 (42,548) |
| 交付総額 | 184,374 (42,548) |

| | |
|-----------|--------------------------|
| 2009年度交付額 | (9件) 2,343,791 (540,875) |
| 2008年度交付額 | (8件) 2,321,930 (535,830) |
| 2007年度交付額 | (5件) 1,455,220 (335,820) |
| 交付総額 | 6,120,941 (1,412,525) |

(注)青字は中核となる専攻。()内は、間接経費で内数。

研究プログラム

寄附講座及び寄附研究部門

2009年5月1日現在

終了済寄附講座及び寄附研究部門

知能機械(日立)寄附講座

- 寄附者: (株)日立製作所
- 設置期間: 1989.10.1 ~ 1992.9.30
- 設置部局: 工学部

知能情報システム(東芝)寄附講座

- 寄附者: (株)東芝
- 設置期間: 1989.1.1 ~ 1992.9.30
- 設置部局: 工学部

JMA 創造性開発寄附講座

- 寄附者: (社)日本能率協会
- 設置期間: 1990.1.1 ~ 1991.12.31
- 設置部局: 総合理工学研究科

LIFE ファジ理論寄附講座

- 寄附者: 技術研究組合国際ファジイ工学研究所
- 設置期間: 1990.9.1 ~ 1994.8.31
- 設置部局: 総合理工学研究科

先端機能セラミックス(TDK)寄附研究部門

- 寄附者: TDK(株)
- 設置期間: 1988.5.1 ~ 1991.3.31
- 1991.4.1 ~ 1993.3.31
- 設置部局: 工業材料研究所

固体機能デバイス(日立)寄附講座

- 寄附者: (株)日立製作所
- 設置期間: 1991.4.1 ~ 1994.3.31
- 設置部局: 工学部

宇宙機械システム学(三菱電機)寄附講座

- 寄附者: 三菱電機(株)
- 設置期間: 1991.10.1 ~ 1994.9.30
- 設置部局: 工学部

高機能エネルギーシステム(東京電力)寄附講座

- 寄附者: 東京電力(株)
- 設置期間: 1991.10.1 ~ 1994.9.30
- 1994.10.1 ~ 1996.9.30
- 設置部局: 工学部

インテリジェントコントロール(新日本製鐵)寄附講座

- 寄附者: 新日本製鐵(株)
- 設置期間: 1992.4.1 ~ 1995.9.30
- 設置部局: 工学部

分子生命医科学(シェリング・プラウ)寄附講座

- 寄附者: シェリング・プラウ(株)
- 設置期間: 1992.4.1 ~ 1997.3.31
- 1997.4.1 ~ 2000.3.31
- 設置部局: 生命理工学部

糖鎖生命科学(三菱化成・生化学工業)寄附講座

- 寄附者: 三菱化成(株)、生化学工業(株)
- 設置期間: 1993.4.1 ~ 1998.3.31
- 設置部局: 生命理工学部

静粛工学(JR 東日本)寄附研究部門

- 寄附者: 東日本旅客鉄道(株)
- 設置期間: 1992.10.1 ~ 1995.9.30
- 設置部局: 精密工学研究所

宇宙インフラストラクチャー工学(三菱重工業)寄附講座

- 寄附者: 三菱重工業(株)
- 設置期間: 1994.10.1 ~ 1996.9.30
- 設置部局: 工学部

量子デバイス・システム(日立)寄附研究部門

- 寄附者: (株)日立製作所
- 設置期間: 1994.11.1 ~ 1997.10.31
- 設置部局: 量子効果エレクトロニクス研究センター

協調工学(JR 東日本)寄附講座

- 寄附者: 東日本旅客鉄道(株)
- 設置期間: 1996.4.1 ~ 1999.3.31
- 設置部局: 工学部

ヘルスケア情報(凸版印刷)寄附研究部門

- 寄附者: 凸版印刷(株)
- 設置期間: 1997.11.1 ~ 2000.10.31
- 2000.11.1 ~ 2003.10.31
- 設置部局: 工学部⇒理工学研究科

鋼橋設計工学(新日鐵、日本鋼管、川崎製鉄、住友金属、神戸製鋼)寄附講座

- 寄附者: 新日本製鐵(株)、日本鋼管(株)、川崎製鉄(株)、住友金属工業(株)、(株)神戸製鋼所
- 設置期間: 1998.8.1 ~ 2001.7.31
- 設置部局: 工学部⇒理工学研究科

エネルギー・マネージメント(東京電力)寄附講座

- 寄附者: 東京電力(株)
- 設置期間: 2000.4.1 ~ 2003.3.31
- 2003.4.1 ~ 2005.3.31
- 設置部局: 理工学研究科

特許情報処理(JAPIO)寄附研究部門

- 寄附者: (財)日本特許情報機構
- 設置期間: 2001.4.1 ~ 2003.3.31
- 設置部局: 精密工学研究所

IT都市創造工学(NTTコミュニケーションズ)寄附研究部門

- 寄附者: NTTコミュニケーションズ(株)
- 設置期間: 2001.10.1 ~ 2003.9.30
- 2003.10.1 ~ 2004.9.30
- 2004.10.1 ~ 2005.9.30
- 2005.10.1 ~ 2006.9.30
- 2006.10.1 ~ 2007.9.30
- 設置部局: 理工学研究科

環境助長損傷制御学(東京電力)寄附講座

- 寄附者: 東京電力(株)
- 設置期間: 2003.10.1 ~ 2006.9.30
- 2006.10.1 ~ 2008.3.31
- 設置部局: 理工学研究科

進行中寄附講座及び寄附研究部門

電子行政システムケア工学(NTT データ)寄附研究部門

- 寄附者: (株)エヌ・ティ・ティ・データ
- 設置期間: 2007.10.1 ~ 2010.9.30
- 設置部局: 理工学研究科
- 教育研究領域の概要: 電子政府を支える基盤である行政が用いる情報システムについて、その企画、調達、運用管理、廃棄のライフサイクルを全体最適の観点から捉え、こうした進化する情報システムの継続的かつ安定した運用等を可能にする手法を工学的に研究、開発する。

カーボン触媒工学(日清紡)寄附講座

- 寄附者: 日清紡績(株)
- 設置期間: 2008.4.1 ~ 2011.3.31
- 設置部局: 理工学研究科
- 教育研究領域の概要: カーボンによる新規触媒作用を科学的な立場から検討し、それを基盤に人材育成と工学的応用を展開して新たな学問分野を確立する。大学院科目として「カーボン材料特別講義」(仮題)を開講する。

NRI サービスイノベーション寄附研究部門

- 寄附者: (株)野村総合研究所
- 設置期間: 2008.10.1 ~ 2011.9.30
- 設置部局: エージェントベース社会システム科学研究センター
- 教育研究領域の概要: サービス領域でのイノベーションに関する基礎研究を行う。また、社会の価値の測定、サービス領域のコンポーネントビジネスモデルの分析、ボトムアップと機能的なアプローチの融合、エージェントベースの社会シミュレーション技術を用いたサービスサイエンスの基礎・基盤技術の開発等を行う。

エネルギー変換材料(凸版印刷)寄附研究部門

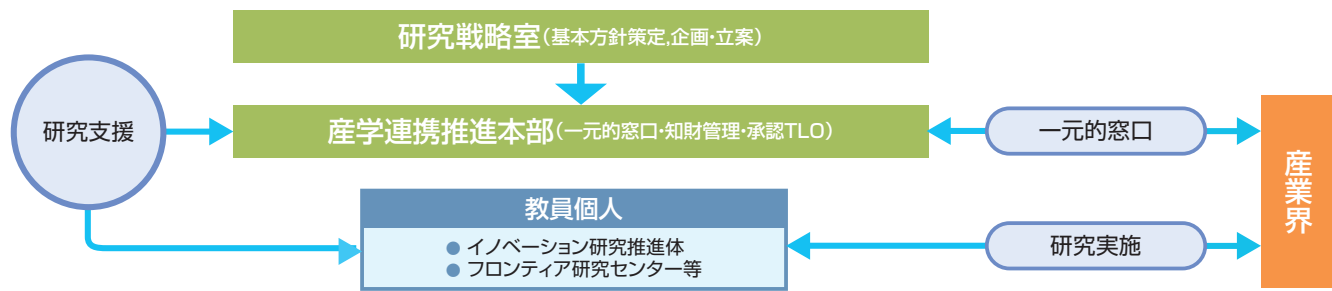
- 寄附者: 凸版印刷(株)
- 設置期間: 2009.4.1 ~ 2012.3.31
- 設置部局: 資源化学研究所
- 教育研究領域の概要: エネルギー変換のための優れた材料を開拓する。本部門では、燃料電池について優れた有機材料の開発、電子・光機能ポリマーを用いる太陽電池用材料の開発等を行い、基礎科学と教育・応用の観点からこの学問分野を発展させることを目的とする。

イノベーション研究推進体 (27件)

2009年7月1日現在

| 分野 | 名称 | 代表者 |
|-------------|--|-----------------------------|
| ライフサイエンス | ブレイン・インフォーマティクス研究体 | 総合理工学研究科 教授 中村 清彦 |
| | 東工大国際バイオフィォラム | 生命理工学研究科 教授 北爪 智哉 |
| | 医歯工学連携研究推進体 | 総合理工学研究科 教授 小俣 透 |
| 情報通信 | 超低消費電力・超高速情報通信用ナノデバイス集積回路の研究—ナノデバイスの限界追求と新たな応用の研究— | フロンティア研究センター 教授 岩井 洋 |
| | 量子情報処理デバイス | 量子ナノエレクトロニクス研究センター 教授 小田 俊理 |
| | ディベンダブル情報システム | 学術国際情報センター 教授 横田 治夫 |
| | 次世代インテリジェント CAD / CAE | 理工学研究科 教授 萩原 一郎 |
| 環境 | グリーンでディベンダブルな ICT | 統合研究院 教授 益 一哉 |
| | 化石燃料の高度有効利用・隔離統合型 CO ₂ 削減技術開発 | 炭素循環エネルギー研究センター 教授 玉浦 裕 |
| | 付加価値リモートセンシング | 総合理工学研究科 教授 小杉 幸夫 |
| ナノテクノロジー・材料 | フェライトによる新産業創成 | 理工学研究科 准教授 中川 茂樹 |
| | 動的構造解析法による非平衡ナノダイナミクスの研究 | フロンティア研究センター 教授 腰原 伸也 |
| | ナノ・マイクロマシンおよび NEMS・MEMS とその製造技術 | 精密工学研究所 教授 初澤 毅 |
| | ソフトプロセス—環境調和型高性能マテリアル開発— | 応用セラミックス研究所 准教授 松下 伸弘 |
| | ナノファイバー先導研究戦略推進体 | 理工学研究科 教授 谷岡 明彦 |
| | ナノ光機能材料 | 資源化学研究所 教授 池田 富樹 |
| | ナノ構造制御による量子機能材料の創製と酸化物エレクトロニクスへの展開 | 応用セラミックス研究所 教授 伊藤 満 |
| エネルギー | ナノサーモダイナミクス | 理工学研究科 教授 橋本 壽正 |
| | コンビナトリアル科学研究推進体 | 理工学研究科 教授 高橋 孝志 |
| | Entropia レーザー Initiative (光と Entropy のイノベーション) | 理工学研究科 教授 矢部 孝 |
| | 燃料電池基盤技術 | 総合理工学研究科 教授 山崎陽太郎 |
| 社会基盤 | 鉛ビスマス冷却材の実用化 | 原子炉工学研究所 教授 関本 博 |
| | 水素製造の新技術戦略 | 応用セラミックス研究所 教授 原 亨和 |
| | 構造健全性モニタリングと材料・構造のスマート化 | 理工学研究科 教授 岸本喜久雄 |
| フロンティア | 超サステナブルストラクチャーの構築 | 応用セラミックス研究所 教授 田中 享二 |
| | 安心・信頼社会形成への宇宙利用 | 総合理工学研究科 教授 小田原 修 |
| | 多機能革新プラズマ技術 | 総合理工学研究科 教授 堀田 栄喜 |

産学連携



産学連携推進本部

本学の産学連携活動の一元的窓口

本学の産学連携活動の一元的窓口として、東京工業大学産学連携ビジョンに即した取り組みを実践し、大学と産業界の協力関係を重視し、新産業の創生、イノベーションの促進に貢献するとともに、さらなる知財の創出を追求していきます。また、国際的産学連携にも重点的に取り組んで参ります。



Office of Industry Liaison
http://www.sangaku.titech.ac.jp/

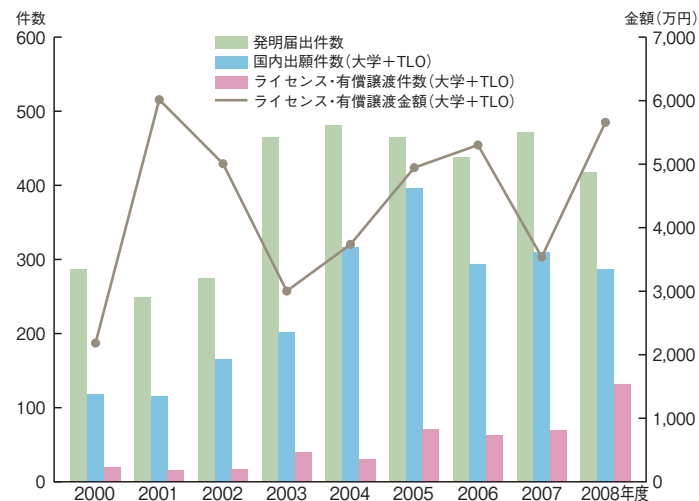
企業との組織的連携

メーカーとはそれぞれ、次世代を担う製品や技術の研究開発に向けて組織的な連携を図っています。さらに商社との連携では、新技術と知的財産の事業化による社会的価値の創造という観点からの協定を締結。より広範囲なテクノロジーマーケティングの展開をめざします。

| 企業名 | 締結日 | テーマ |
|------------------|-------------|------------------------------|
| 三洋電機株式会社 | 2004年1月21日 | 次世代環境技術分野 |
| 株式会社富士通研究所 | 2004年1月21日 | IT分野の先端技術 |
| 三菱化学株式会社 | 2004年1月22日 | 化学変換プロセス技術及び新機能性材料技術 |
| 三菱電機株式会社 | 2004年2月17日 | 次世代先端デバイス技術 |
| パナソニック株式会社 | 2004年3月11日 | 次世代エレクトロニクス分野のコア技術 |
| 三菱商事株式会社 | 2004年7月22日 | 新技術と知的財産の事業化による社会的価値創造 |
| 株式会社三井住友銀行 | 2004年10月1日 | 新技術及び新産業の創出を通じた社会の持続的発展 |
| 凸版印刷株式会社 | 2004年10月13日 | コーティング技術、微細加工技術を活用したナノ薄膜利用技術 |
| 住友化学株式会社 | 2005年4月6日 | 次世代材料技術・触媒技術・ライフサイエンス |
| キャノン株式会社 | 2005年8月2日 | 先端材料とイメージング技術 |
| 株式会社半導体理工学研究センター | 2006年9月1日 | 次世代半導体技術 |
| 財団法人神奈川科学技術アカデミー | 2007年4月2日 | 研究開発、人材育成、産業振興等 |
| マイクロソフトコーポレーション | 2007年9月13日 | コンピュータ技術並びにその科学技術への応用 |
| 日本電信電話株式会社 | 2008年9月10日 | 情報通信分野の研究開発 |
| 株式会社野村総合研究所 | 2008年9月22日 | サービスイノベーションに関する研究開発 |

特許取得数（新・年度毎）

| 年度 | 発明届出件数 | 国内出願件数 (大学+TLO) | ライセンス・有償譲渡件数 (大学+TLO) | ライセンス・有償譲渡金額 (大学+TLO) (万円) |
|--------|--------|-----------------|-----------------------|----------------------------|
| 2000年度 | 286 | 117 | 17 | 2,167 |
| 2001年度 | 249 | 115 | 15 | 6,025 |
| 2002年度 | 274 | 164 | 16 | 5,000 |
| 2003年度 | 465 | 200 | 39 | 2,998 |
| 2004年度 | 481 | 317 | 30 | 3,728 |
| 2005年度 | 464 | 395 | 69 | 4,950 |
| 2006年度 | 437 | 293 | 63 | 5,296 |
| 2007年度 | 471 | 309 | 70 | 3,530 |
| 2008年度 | 423 | 286 | 135 | 5,729 |



日本学術振興会国際交流関係事業実施状況

2008年度

| 事業名 | 実施件数 | 内継続分 | 事業名 | 実施件数 | 内継続分 |
|----------------------------|------|------|-----------------------|------|------|
| 拠点大学交流事業 | 2 | 2 | 外国人招へい研究者 (短期) | 8 | 0 |
| 二国間交流事業 (共同研究セミナー) | 15 | 7 | 外国人招へい研究者 (長期) | 3 | 1 |
| 日仏交流促進事業 (SAKURA) | 2 | 1 | 外国人招へい研究者 (対応機関からの推薦) | 7 | 1 |
| 国際研究集会 | 2 | | 外国人特別研究員 | 48 | 36 |
| 若手研究者インターナショナル・トレーニングプログラム | 1 | 0 | 外国人特別研究員 (欧米・短期) | 5 | 2 |
| 論文博士号取得希望者に対する支援事業 | 6 | 3 | JSPS サマープログラム | 4 | |
| 特定国派遣研究者 | 2 | 0 | | | |
| 国際学会等派遣 | 8 | | | | |
| 海外特別研究員 | 7 | 3 | | | |

国際協力機構事業への協力教員(派遣)一覧

2008年度

| 派遣教員名 | 所属部局 | 事業名 | 派遣先 | 派遣期間 |
|--------|------------------|---|------------|---------------------|
| 三木 千壽 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワーク(フェーズ2)運営指導調査団 | インドネシア | 2008/ 5/11 ~ 5/13 |
| 鈴木 正昭 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワーク(フェーズ2)運営指導調査団 | インドネシア | 2008/ 5/11 ~ 5/13 |
| 原科 幸彦 | 総合理工学研究科 | 「環境社会配慮ガイドラインの運用実態確認報告」に係る補足調査団 | フィリピン・ネパール | 2008/ 5/29 ~ 6/ 1 |
| 三木 千壽 | 理工学研究科 | エジプト日本科学技術大学プロジェクト事前評価調査団 | エジプト | 2008/ 8/ 4 ~ 8/11 |
| 藤井 聡 | 理工学研究科 | ベトナム国ハanoi交通安全人材育成プロジェクト運営指導調査団 | ベトナム | 2008/ 8/10 ~ 8/16 |
| 竹村 次郎 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(16) | フィリピン | 2008/ 9/04 ~ 9/10 |
| 池田 駿介 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(16) | フィリピン | 2008/ 9/07 ~ 9/10 |
| 日野出 洋文 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(16) | フィリピン | 2008/ 9/07 ~ 9/11 |
| 鈴木 正昭 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(16) | フィリピン | 2008/ 9/07 ~ 9/11 |
| 阿野 貴司 | 資源化学研究所 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(16) | フィリピン | 2008/ 9/07 ~ 9/11 |
| 小菅 人慈 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(16) | フィリピン | 2008/ 9/07 ~ 9/11 |
| 丹治 保典 | 生命理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(16) | フィリピン | 2008/ 9/07 ~ 9/11 |
| 倉林 大輔 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(21) | フィリピン | 2008/ 11/23 ~ 11/26 |
| 西原 明法 | 教育工学開発センター | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(30) | タイ | 2009/ 1/21 ~ 1/25 |
| 荒木 純道 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(30) | タイ | 2009/ 1/21 ~ 1/24 |
| 山下 幸彦 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(30) | タイ | 2009/ 1/21 ~ 1/24 |
| 日野出 洋文 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(31) | フィリピン | 2009/ 1/21 ~ 1/25 |
| 小菅 人慈 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(31) | フィリピン | 2009/ 1/21 ~ 1/25 |
| 丹治 保典 | 生命理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(31) | フィリピン | 2009/ 1/21 ~ 1/25 |
| 久保内 昌敏 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(31) | フィリピン | 2009/ 1/21 ~ 1/24 |
| 田中 義敏 | イノベーションマネジメント研究科 | インドネシア・工業所有権行政改善プロジェクト短期派遣専門家 (巡回セミナー大学等特許活用) (2) | インドネシア | 2009/ 1/31 ~ 2/ 4 |
| 牟田 博光 | 理事・副学長 | ケニア国中等理数科学力調査統計分析プロジェクト研究調査 | ケニア | 2009/ 2/ 7 ~ 2/15 |
| 日野出 洋文 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(35) | フィリピン | 2009/ 2/ 1 ~ 2/ 4 |
| 竹村 次郎 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(35) | フィリピン | 2009/ 2/ 1 ~ 2/ 3 |
| 小菅 人慈 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(35) | フィリピン | 2009/ 2/ 2 ~ 2/ 4 |
| 阿部 直也 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(35) | フィリピン | 2009/ 2/ 1 ~ 2/ 4 |
| 高田 潤一 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(55) | タイ | 2009/ 2/28 ~ 3/ 4 |
| 池田 駿介 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(46) | マレーシア | 2009/ 3/ 2 ~ 3/ 5 |
| 牟田 博光 | 理事・副学長 | シンガポール国 ODA 評価ワークショップ | シンガポール | 2009/ 3/ 2 ~ 3/ 5 |
| 吉川 邦夫 | フロンティア研究センター | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(49) | インドネシア | 2009/ 3/12 ~ 3/15 |
| 山北 昌毅 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(44) | タイ | 2009/ 3/16 ~ 3/21 |
| 倉林 大輔 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(37) | マレーシア | 2009/ 3/19 ~ 3/25 |
| 岡田 昌史 | 理工学研究科 | アセアン工学系高等教育ネットワークプロジェクト(フェーズ2)運営指導調査団(54) | マレーシア | 2009/ 3/19 ~ 3/25 |
| 三木 千壽 | 理工学研究科 | エジプト日本科学技術大学プロジェクト短期派遣専門家(資源・環境工学(1)) | エジプト | 2009/ 3/29 ~ 4/ 4 |
| 市村禎二郎 | 理工学研究科 | エジプト日本科学技術大学プロジェクト短期派遣専門家(資源・環境工学(2)) | エジプト | 2009/ 3/29 ~ 4/ 4 |
| 鈴木 正昭 | 理工学研究科 | エジプト日本科学技術大学プロジェクト短期派遣専門家(資源・環境工学(2)) | エジプト | 2009/ 3/29 ~ 4/ 4 |

産学連携

東工大発ベンチャー企業一覧

2009年5月1日現在

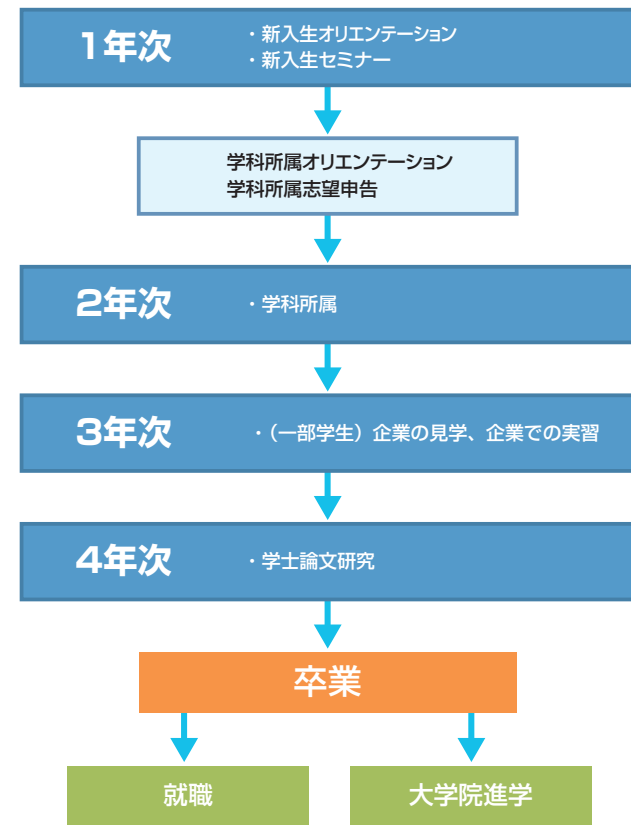
| 承認日 | 名称 | 主な事業概要 | 申請資格該当条項 | 起業時期 |
|------------|---|---|-------------------|------------|
| 2003.1.9 | 日本シー・イー・ディー(株) http://www.ncad.co.jp/ | ゴルフ練習場の横搬送用チェインコンベア、ボールのティーアップ装置、これらの制御用コンピュータシステムの製作、工事、保守 | 第3号 | 1977.4.28 |
| 2003.1.9 | (株)応用計測研究所 http://www.okk-inc.co.jp/ | 光を利用した計測をメインテーマにした製品の開発、販売 | 第3号 | 1981.4.11 |
| 2003.1.9 | (株)脳機能研究所 http://www.bfi.co.jp/ | 脳波研究成果に基づく機器販売・研究受託 | 第2号 | 1994.2.1 |
| 2003.1.9 | (有)新技術マネジメント http://www.newtech-ECF.com/ | 電界共役流体技術の産業実用化事業 | 第2号 | 1995.7.21 |
| 2003.1.9 | (株)タイテム http://www.tytemn.co.jp/ | 筒型コロイダルシリカの製造技術を核とする技術供与及び同技術を用いた製品の製造販売 | 第2号 | 1996.4.3 |
| 2003.1.9 | (株)ディノ http://www.dino.co.jp/ | コンピュータソフトウェアの製造販売ほか | 第3号 | 1998.8.14 |
| 2003.1.9 | (有)フーズラボ http://www.whoselab.com/ | 3D映像の撮影、作画、改像、保管等に関するシステム及び機器開発ほか | 第2号 第3号 | 1999.7.30 |
| 2003.1.9 | (株)エコミート・ソリューションズ | 廃棄物ガス化発電システムを中核に企業の廃棄物に最適な処理システムの設計ほか | 第1号 第2号 | 2000.7.25 |
| 2003.1.9 | (株)ケムジェネシス http://www.chemgenesis.com/ | コンビナトリアルケミストリー技術を軸とした化合物ライブラリーの製造・販売 | 第1号 | 2001.3.1 |
| 2003.1.9 | (株)ビヨンド・エルエスアイ http://www.beyondlsi.com/jp/ | 指紋照合システムを組み込んだ製品の製造・販売 | 第1号 | 2001.11.30 |
| 2003.1.9 | (株)光コム http://www.optocomb.com/ | 光コム発生器の開発・製造・販売・サービス | 第1号 | 2002.4.1 |
| 2003.1.9 | (株)ジェノメンブレン http://www.genomembrane.com/ | 生命工学及び遺伝子工学の手法による医薬品、診断薬などの研究開発及び研究開発の受託研究並びに技術指導ほか | 第1号 第2号 | 2002.4.1 |
| 2003.1.9 | (株)アフエニックス http://www.aphoenix.com/japanese/sitemap.html | SGビーズを使用した創薬ターゲットの探索と創薬 | 第1号 | 2002.4.10 |
| 2003.1.9 | (株)アイフェイズ http://www.ai-phase.co.jp/ | 熱拡散率測定装置「アイフェイズα」の製造販売ほか | 第1号 第2号 | 2002.4.16 |
| 2003.1.9 | (株)ビヨンド・エムベグ | 動画電話、ビデオ監視システムなどの動画像技術関連事業 | 第1号 | 2002.7.23 |
| 2003.5.15 | (株)マイクロ・エナジー http://www.microenergy.co.jp/ | 産業廃棄物及び一般廃棄物を燃料としたガス化発電システム及び有機物熱分解ガス化処理装置等の開発及び製造・販売ほか | 第1号 | 2003.4.9 |
| 2003.7.15 | (株)コネクタス http://www.connectous.co.jp/ | 情報システムに関する教育指導及びそのコンサルタント業務ほか | 第3号 | 2001.12.20 |
| 2003.7.15 | (株)薄膜ソフト | 液晶やPDP用の薄膜製プロセス開発及び作製装置の開発・販売ほか | 第2号 | 2000.7.7 |
| 2004.5.18 | (有)セラジックス http://www.celagix.com/ | 炭酸アパタイトナノ粒子を用いた遺伝子送達方法の開発 | 第1号 | 2002.7.15 |
| 2004.5.18 | (株)ハイボット http://www.hibot.co.jp/ | 各種ロボットの受託生産、販売ほか | 第2号 第3号 | 2004.4.15 |
| 2004.6.15 | 東京ジオテック(株) | 土木構造物、建築構造物の建設に際しての地盤調査、解析、予測及び地震、自然災害に関する地盤調査ほか | 第1号 第2号 第3号 | 2004.5.18 |
| 2004.8.9 | トリオンサイト企業組合 http://www.trionsite.com | 地方自治体の産業振興施策計画施策支援、調査事業請負、コンサルティング WEB サイト構築、販売、運営 | 第2号 第3号 | 2004.7.2 |
| 2004.9.13 | イーコンピュータ(株) http://www.ecompute.co.jp/ | コンピュータシステム、ハードウェア、ソフトウェアの企画、設計、開発、製造及び販売、教育、保守、管理運営ほか | 第1号 第2号 | 2004.1.15 |
| 2004.9.13 | (株)TTES http://www.ttes.co.jp/ | 土木・建築構造物の調査・計画・設計・点検診断及び補修管理・維持管理ほか | 第2号 第3号 | 2004.7.22 |
| 2004.9.13 | (有)mimi http://333.co.jp/ | 携帯電話アプリケーションソフトの開発及び販売 | 第3号 | 2004.5.18 |
| 2004.11.2 | Luvina Software Company http://www.luvina.net | ソフトウェア開発・運用、ベトナム投資コンサルティングほか | 第3号 | 2004.8.6 |
| 2004.12.13 | (株)テクノマネジメントソリューションズ http://www.techmas.co.jp/ | 次世代管理支援システムの開発・販売と教育・コンサルティング | 第2号 | 2004.10.1 |

| 承認日 | 名称 | 主な事業概要 | 申請資格該当条項 | 起業時期 |
|------------|--|--|------------|------------|
| 2004.12.13 | HUB ネットワークス(株) http://www.hub.jp | ソフトウェア及びハードウェア制御システムの開発 | 第2号 第3号 | 2003.4.10 |
| 2005.8.29 | (有)キメラワークス http://chimeraworks.jp/ | ソフトウェアの製作・販売及び管理、情報技術に関する研究開発、医療機器に関する研究開発 | 第3号 | 2005.8.4 |
| 2005.10.11 | (株)インターローカス http://i-locus.com/ | CAD/CAM/CAE/CGに関するシステム開発・販売・教育、エンジニアリングサービス及びソリューション | 第1号 第2号 | 2005.9.9 |
| 2005.10.11 | 川副フロンティアテクノロジー(株) | 水素エネルギー関連材料技術等の技術開発及び技術コンサルティングほか | 第2号 | 2003.1.6 |
| 2005.12.6 | (株)アムシス | 高周波関連半導体素子・部品・機器の開発・設計・製造・販売及び輸出入ほか | 第2号 | 2005.10.11 |
| 2006.2.27 | オイシックス(株) http://www.oisix.com | インターネット上における食品販売、牛乳販売 / 酒販店経由の食品の販売 | 第3号 | 2000.6.1 |
| 2006.3.14 | (株)テクノバース http://www.technovarth.jp/ | ソフトウェアの製作、販売、賃貸及び保守管理ほか | 第3号 | 2006.2.8 |
| 2006.4.25 | (株)構造材料研究会 | 建築鋼構造及び建築耐震構造の分野における研究開発及び技術指導 | 第2号 | 1986.10.1 |
| 2007.2.13 | (株)エレクトラ http://www.electra-mg.com/ | 自然エネルギーの貯蔵、循環、利用技術に関する研究開発、企画設計、製造業務ほか | 第2号 | 2007.1.18 |
| 2007.2.27 | (株)MERSTech http://www.merstech.com/ | 電力の発電、送電、消費、貯蔵に関わるパワーエレクトロニクス技術の開発、開発の受託及び売買ほか | 第1号 | 2007.1.15 |
| 2007.4.2 | (株)iMott http://www.imott.co.jp/ | DCL 薄膜技術のコンサルティング及びコーティングサービス | 第1号 | 2007.2.8 |
| 2007.4.2 | (有)プレシシステム | テストングツールの開発・販売ほか | 第2号 第3号 | 2002.2.1 |
| 2007.7.17 | (株)イデアルリンク http://www.ideallink.jp/ | インターネットサービス運営・開発事業 | 第3号 | 2007.5.1 |
| 2007.7.23 | (株)ポップリベラル http://www.ppll.jp/ | ウェブシステムを中心とするソフトウェアの受託開発 先進的な自社プロダクトの開発 | 第3号 | 2007.5.25 |
| 2007.9.10 | (株)フォスメガ http://www.phosmega.com/ | 医療関係機器、電子計測機器、ロボットの開発及び試作品の製造販売ほか | 第2号 | 2007.8.10 |
| 2007.10.9 | (株)ビジュアル・テクノロジー研究所 | 東工大所有の複数の特許技術を活用した照明・色彩・景観に関するシミュレーションソフトの開発・販売、特許ライセンス、コンサルティング業務 | 第1号 第2号 | 2007.8.17 |
| 2007.11.19 | (株)TechEngine http://techengine.jp/ | 情報セキュリティ及び情報品質管理に関する業務 | 第3号 | 2007.5.1 |
| 2008.3.17 | INFERRET JAPAN(株) http://www.inferret.jp/ | 音声認識や自然言語処理を用いた携帯電話用のアプリケーションの開発、特に、携帯電話会社に依存しない、音声で検索できる携帯電話用のアプリケーション開発 | 第2号 | 2007.8.9 |
| 2008.5.26 | インビュテクス(株) http://www.inputex.com/ | ユーザーインターフェース研究開発のための開発環境、開発ツール、ソフトウェアライブラリ、組み込みシステム、要素部品等の提供、その応用製品の開発・販売ほか | 第1号 | 2008.3.27 |
| 2008.10.6 | (株)プラズマコンセプト東京 http://www.pc-tokyo.co.jp/ | 大気圧プラズマ生成・応用装置のコンサルティング及び技術指導ほか | 第2号 | 2008.7.2 |
| 2008.11.17 | MCX(株) | エネルギー供給に係るシステム・設備機器の研究、開発、販売及びコンサルティング業務 高性能熱交換器、関連機器とそれらを構成するシステムの研究、開発、製造及び販売ほか | 第2号 | 2008.3.3 |
| 2009.3.6 | (株)エフェクテック戦略研究所 | 製造業等の技術経営戦略、事業開発戦略の策定と実行支援、及び科学技術政策の調査研究 | 第2号 第3号 | 2008.5.2 |
| 2009.3.6 | MieruPC(株) http://mierupc.com/?D=A | コンピュータ及びコンピュータ関連製品の開発、製造、販売 | 第2号 第3号 | 2009.2.19 |

(注)申請資格該当条項
第1号:職員又は、学生が所有する特許権を活用 第2号:研究成果又は、習得した技術を活用 第3号:学生が設立又は、設立に深く関与した場合

教育プログラム

入学から卒業までの流れ



類別入学制度について

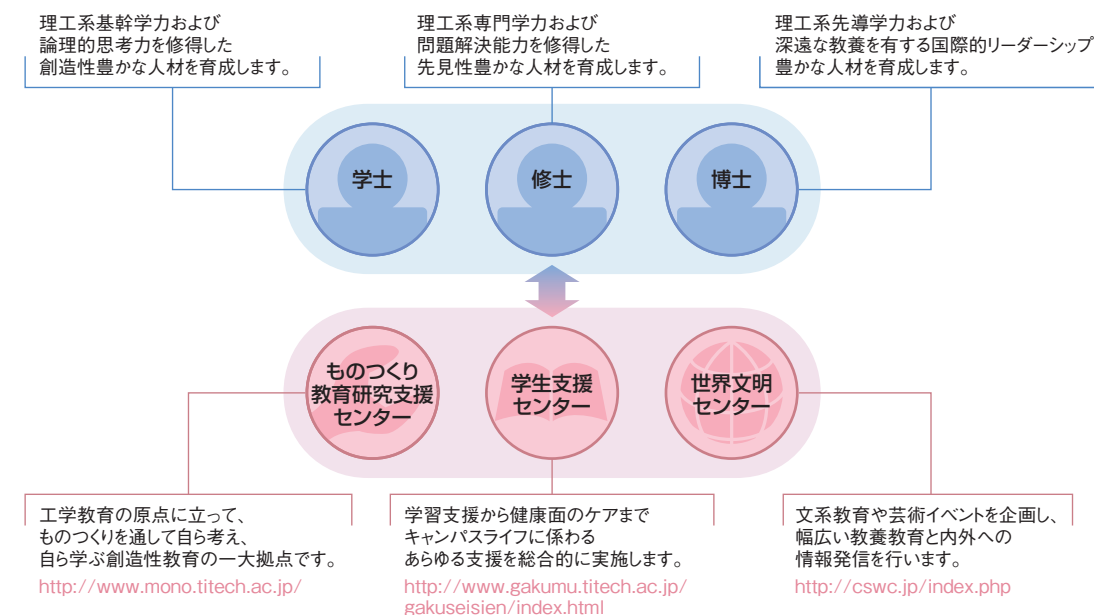
本学は、理学部、工学部及び生命理工学部を類を置き、本学に入学し学科に所属するまでの学生を所属させます。これは、自分に最適な道へ進むため、入学時には所属学科を決めず、7つの類別に入学者を決定するシステムで、2年次になる段階になって、自分の選んだ類内のいずれかの学科に進むというものです(類外の学科に進む場合もあります)。

各類に対応する学科一覧

| | | | | | |
|-----|-----|-----------|--------|-----|------------|
| 理学部 | 第1類 | 数学科 | 工学部 | 第4類 | 機械知能システム学科 |
| | | 物理学 | | | 機械宇宙学科 |
| | | 化学 | | | 国際開発工学科 |
| | | 情報科学 | | | 社会工学科 |
| 工学部 | 第2類 | 地球惑星科学 | 第5類 | 第6類 | 制御システム工学科 |
| | | 金属工学科 | | | 電気電子工学科 |
| | | 有機材料工学科 | | | 情報工学科 |
| | | 無機材料工学科 | | | 社会工学科 |
| 工学部 | 第3類 | 社会工学科 | 生命理工学部 | 第7類 | 土木・環境工学科 |
| | | 化学工学科 | | | 建築学科 |
| | | 高分子工学科 | | | 社会工学科 |
| | | 社会工学科 | | | 生命科学科 |
| 工学部 | 第4類 | 経営システム工学科 | 生命理工学部 | 第7類 | 生命工学科 |
| | | 機械科学科 | | | |

約 90% 大学院進学

創造性豊かな人材育成



学部教育プログラム

本学と東京医科歯科大学、東京外国語大学、一橋大学による四大学連合のメリットを活かし、他大学でも一つの専門分野を学び、複数学士を取得することも可能な「複合領域コース」や創造性の育成、国際的リーダーの育成を目的とした「理工系学生能力発見・開発プロジェクト」など本学は卓越性と多様性、創造性を特色とする教育プログラムを全学的に大きく展開しています。

- 四大学連合「複合領域コース」
<http://www.gakumu.titech.ac.jp/kyoumu/yondaiindex.html>
- 理工系学生能力発見・開発プロジェクト
<http://www.cradle.titech.ac.jp/elite/index.html>

大学院教育プログラム

計画的なカリキュラムと研究指導により、従来より短期間で博士の学位を取得できる「博士一貫教育プログラム」や博士後期課程と技術経営修士(専門職)の両方の学位取得を目指す「デュアルディグリープログラム」、大学院の教育研究の高度化及び多様化に資するための専攻、研究科横断型の「大学院特別教育研究コース」、中国清華大学と本学の学生がそれぞれのキャンパスで共に学び、両大学の修士、博士(博士課程は一方の学位)の学位を修得する「大学院合同プログラム」など、本学は様々な革新的大学院教育プログラムを創出しています。また、文部科学省の高等教育支援プログラムにも、多くのプログラムが採択されています。

- 博士一貫教育プログラム
<http://www.idep.titech.ac.jp/>
- デュアルディグリープログラム
http://www.mot.titech.ac.jp/dual_degree/
- 大学院特別教育研究コース
<http://www.eduplan.titech.ac.jp/promo/g-course.html>
- 東工大・清華大 大学院合同プログラム
<http://tjip.ipu.titech.ac.jp/top/>

国際大学院プログラム

http://www.gakumu.titech.ac.jp/nyusi/prospectus/international_gp.html

本学は、長年にわたる国際大学院コースなどの留学生教育の経験を生かし、2007年に国際大学院プログラムを設置しました。国際大学院プログラムは講義を全て英語で提供する国際的な大学院プログラムです。履修する専門分野は様々ですが、多くは国際的課題となっている分野を専門とするコース(各プログラムに設置)において、関連する複数の専攻が教育を実施します。専門以外にも、教養、文化などの講義、日本語講義(初級～上級)を準備し、修了後、日本で職を求める学生が、日本社会で活躍できるよう工夫が施されています。本プログラムは、世界各国から本学の交流協定締結校出身学生を中心に優秀な学生に入学を許可します。特に優秀な学生には、文部科学省国費奨学金(69名)が与えられます。大学院の課程は、大部分が本学の通常大学院でも実施している。博士一貫教育課程ですが、専門分野によっては修士課程、博士課程などの課程が準備されているコースもあります。

プログラム

- 持続可能な発展のための国際高等技術者育成特別プログラム
- 都市・建築デザイン国際協働研究による人材育成プログラム
- 博士一貫教育・バイオ理工学国際コースプログラム
- 日本との架け橋となる行動的科学研究者育成プログラム
- 日本の先端ITのグローバル化を担う人材育成プログラム
- 技術の効率的利活用のための社会理工学国際プログラム技術の利活用コース
- 日本の地震防災技術による国際貢献を担う高度技術者の育成プログラム
- 東工大・清華大学大学院合同プログラム(ツィニングプログラム)
- 東工大一理研連携国際スクール

学部学生の標準的な教育課程

2009年5月1日現在

| ↓ 学科所属 | | | | ↓ 学士論文研究開始 | | | |
|---|------|---------|------|------------------|------|--------|------|
| 第1学年 | | 第2学年 | | 第3学年 | | 第4学年 | |
| 第1学期 | 第2学期 | 第3学期 | 第4学期 | 第5学期 | 第6学期 | 第7学期 | 第8学期 |
| 文系科目 総合科目 情報ネットワーク科目 | | | | Lゼミ科目 | | | |
| 健康・スポーツ科目 環境教育科目 Fゼミ科目 創造性育成科目 | | 理工系広域科目 | | | | 学士論文研究 | |
| 理工系基礎科目 | | 基礎専門科目 | | | | | |
| 国際コミュニケーション科目 I / II / 選択 | | | | | | | |
| | | | | 文明科目 教職に関する科目 | | | |

サークル一覧

正課以外においても自己の可能性を追求するとともに、学生相互、顧問教員、OBとの交流を深め、心豊かな人間性と高度の専門知識や技能を身につける場となります。文化系の大学とは異なり、本学は、実験・実習・演習など、とくに勉学に追われ、学生各自の好みに応じたスポーツあるいは文化活動に大いに活躍することの重要性が忘れられがちになると思われがちです。そこで学生諸君が進んでこうした活動に参加でき、有意義な学生生活となるよう配慮し、サークル活動のための時間として水曜日の午後がとられています。本学には、次のようなサークルがあり、活発な活動が行われています。

文系サークル: 管弦楽団 / ロス・ガラテロス / ギター研究会 / ロック研究会 / モダンジャズ研究会 / シュワルベンコール / コールライネス / フォークソングサークル / 向岳合唱団 / 美術部 / アニメーション研究会 / SF研究会 / 演劇研究会 / 写真研究会 / 映画研究会 / デザイン研究会 / 英語研究会 (ESS) / 漫画研究会 "P漫" / 茶道部 / 鉄道研究会 / 放送研究会 / 囲碁部 / 将棋部 / 天文研究会 / 航空研究会 / ロボット技術研究会 / 自動車部 / 無線研究会 / 社会科学研究会 / 公害研究会 / 新聞部 / 東洋思想研究会 / 現代問題研究会 / マイスター / 東工大 Science Techno/Bio Creative Staff / ジャグテック / 工大祭実行委員会 / 国際開発サークル / **体育系サークル:** 硬式野球部 / 準硬式野球部 / ソフトテニス部 / サッカー部 / ハンドボール部 / ラクビー部 / アメリカンフットボール部 / バレーボール部 / 硬式庭球部 / バトミントン部 / 卓球部 / バスケットボール部 / フットサル部 / ゴルフ部 / 合気道部 / 柔道部 / 少林寺拳法部 / ワンダーフォーゲル部 / 渓友会 / サイクリング部 / 弓道部 / 剣道部 / 空手部 / 端艇部 / 陸上競技部 / オリエンテーリング部 / スキー部 / 水泳部 / ヨット部 / 山岳部 / ウェイトトレーニング部 / フォークダンスクラブ / フェンシング部 / 舞踏研究会 / 体操部 / トライアスロン部 / ビリヤードクラブ / ハンググライダー部

教育プログラム

2009年度創造性育成科目・認定科目一覧

優れた「創造性育成科目」の選定および認定制度

教育推進室では、高い評価を受けた創造性教育をより進化・発展させるため、各学科・専攻等からの申請に基づき創造性育成科目を登録し、各授業科目における創意工夫を全学の経験として共有しています。

コラムランド/コラムキングダム/大江戸講/ものづくり/留学対策セミナー(口頭表現)/ミュージックサウンド入門/物理学実験第一・第二/化学総合実験第一/化学総合実験第三/化学総合演習第三/情報科学総合演習・実験/材料科学実験第一(無機担当)/金属工学創成実験/有機材料工学コロキウム第1/有機材料工学コロキウム第2/セラミックス実験第一/化学工学実験/化エプロセス設計実習/応用化学実験/機械工学系リテラシー/独創機械設計プロジェクト第一・第二/プロジェクト研究/機械知能システム創成第一/機械知能システム創成第二/機械創成基礎/機械創成/機械宇宙プロジェクトA/機械宇宙学ゼミ/創成設計第一/メカトロニクスラボ/制御システム工学ラボ研修/創成設計第二/情報システム基礎実験/電気電子工学創成実験/情報工学創作実習/環境計画演習/空間デザイン/コンクリート実験/地盤工

学実験/構造力学実験/水理学実験/インフラストラクチャーの計画と設計/建築設計製図第一/建築設計製図第二/建築意匠/建築設計製図第三/建築設計製図第四/コラムランド/社会工学計画演習/バイオ創成設計I/バイオ創成設計II/計測機器演習第一/計測機器演習第二/最先端計測コロキウム1-6/物質科学概論/G-COE化学・化学産業ものづくり特論/G-COE化学・特別コロキウム1-6/宇宙システム工学特論/次世代VLSI設計プロジェクト実習第一・二/原子核工学創成プロジェクト/科学技術創成設計/人間環境システム特別実験第一/エネルギーサイエンス創成プロジェクト/化学環境学特論第二/システムモデリング/情報環境プロジェクト/人間行動システム研究法第一/ビジネス情報システムプロジェクト/横断型分野協同プロジェクト

四大学連合「複合領域コース」(特別履修プログラム)履修者数

東京工業大学所属学生の実績数

| 年度 | 2003 | | 2004 | | 2005 | | 2006 | | 2007 | | 2008 | | 2009 | | |
|----------|-----------------------------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|------|-----|-----|
| | コース名 | 志願者 | 履修者 | 志願者 | 履修者 | 志願者 | 履修者 | 志願者 | 履修者 | 志願者 | 履修者 | 志願者 | 履修者 | 志願者 | 履修者 |
| 3 大学間コース | 総合生命科学 ^{*1} | 8 | 8 | 16 | 10 | 29 | 23 | 27 | 23 | 25 | 23 | 31 | 25 | 26 | 25 |
| | 海外協力 ^{*1} | 2 | 2 | 4 | 4 | 6 | 6 | 6 | 6 | 4 | 3 | 2 | 2 | 3 | 3 |
| | 生活空間研究 ^{*1} | 4 | 3 | 3 | 3 | 5 | 4 | 13 | 13 | | | 6 | 4 | | |
| | 小計 | 14 | 13 | 23 | 17 | 40 | 33 | 46 | 42 | 29 | 26 | 39 | 31 | 29 | 28 |
| 2 大学間コース | 科学技術と知的財産 ^{*2} | 10 | 9 | 15 | 14 | 8 | 8 | 16 | 15 | 12 | 12 | 13 | 13 | 12 | 12 |
| | 技術と経営 ^{*2} | 11 | 4 | 14 | 7 | 15 | 5 | 31 | 6 | 28 | 6 | 26 | 6 | 13 | 6 |
| | 文理総合 ^{*2} | 9 | 9 | 27 | 26 | 16 | 15 | 40 | 37 | 19 | 18 | 22 | 20 | 33 | 33 |
| | 医用工学 ^{*3} | 8 | 4 | 14 | 11 | 30 | 26 | 33 | 31 | 14 | 14 | 24 | 24 | 16 | 16 |
| | 国際テクニカルライティング ^{*4} | 10 | 10 | 15 | 15 | 14 | 14 | 16 | 12 | 4 | 4 | 5 | 5 | 7 | 7 |
| | 医療・介護・経済 ^{*5} | | | | | | | | | | | | | | |
| 小計 | 48 | 36 | 85 | 73 | 83 | 68 | 136 | 101 | 77 | 54 | 90 | 68 | 81 | 74 | |
| 合計 | 62 | 49 | 108 | 90 | 123 | 101 | 182 | 143 | 106 | 80 | 129 | 99 | 110 | 102 | |

(注) ※1のコースは、東京工業大学と一橋大学及び東京医科歯科大学でのコースです。
 ※2のコースは、東京工業大学と一橋大学のコースです。
 ※3のコースは、東京工業大学と東京医科歯科大学でのコースです。
 ※4のコースは、東京工業大学と東京外国語大学でのコースです。
 ※5のコースは、東京医科歯科大学と一橋大学でのコースで東京工業大学では履修できません。

東京工業大学－清華大学 大学院合同プログラム入学者数

| | 2007年度 | | | | | | 2008年度 | | | | | | 2009年5月1日現在 | | | | | |
|-------------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|--------|------|-------------|------|--------|------|--|--|
| | 修士課程 | | 博士後期課程 | | 修士課程 | | 博士後期課程 | | 修士課程 | | 博士後期課程 | | 修士課程 | | 博士後期課程 | | | |
| | 東京工業大学 | 清華大学 | 東京工業大学 | 清華大学 | 東京工業大学 | 清華大学 | 東京工業大学 | 清華大学 | 東京工業大学 | 清華大学 | 東京工業大学 | 清華大学 | 東京工業大学 | 清華大学 | 東京工業大学 | 清華大学 | | |
| | 定員 | 学生数 | 定員 | 学生数 | 定員 | 学生数 | 定員 | 学生数 | 定員 | 学生数 | 定員 | 学生数 | 定員 | 学生数 | 定員 | 学生数 | | |
| ナノテクノロジーコース | 5 | 3 | 5 | 5 | 若干名 | 1 | 5 | 0 | 5 | 5 | 若干名 | 0 | 5 | 2 | 5 | 4 | | |
| バイオコース | 5 | 2 | 5 | 5 | 若干名 | 1 | 5 | 1 | 5 | 4 | 若干名 | 2 | 5 | 1 | 5 | 3 | | |
| 社会理工学コース | 2 | 1 | 2 | 2 | 若干名 | 1 | 2 | 0 | 2 | 2 | 若干名 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 | | |
| 計 | 12 | 6 | 12 | 12 | 若干名 | 3 | 12 | 1 | 12 | 11 | 若干名 | 3 | 12 | 4 | 12 | 9 | | |

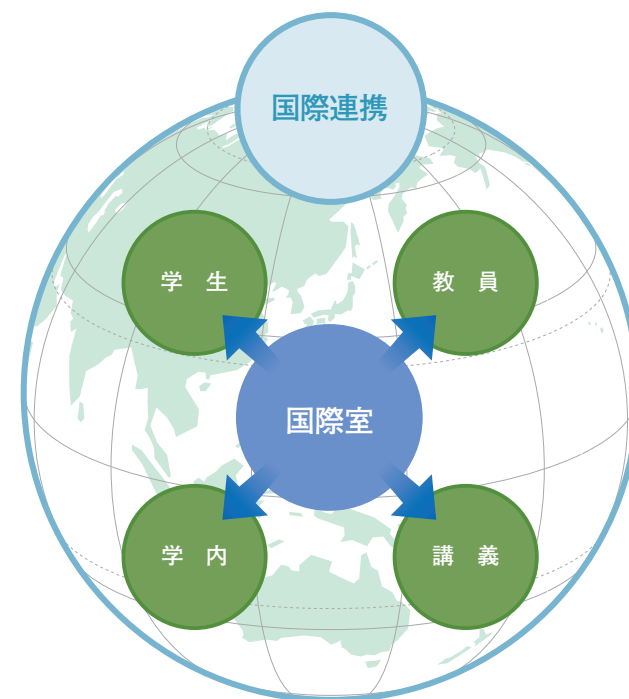
(注) 清華大学の学生は、毎年9月に入学して3年間、東京工業大学の学生は毎年4月に入学して2年半をかけて、両大学の修士号を取得。
 博士後期課程では、両大学の教員の研究指導を受け、3年間をかけて一方の大学の博士号を取得。

国際連携

本学では国際活動を展開するにあたって国際交流から国際連携へと活動を進化させてきました。国際連携の方針決定に中心的役割をはたす国際室は教員からなる国際企画員・アドバイザー・国際連携プランナーおよび国際室付事務職員、国際連携コーディネーターとその実行組織としての国際部から構成されています。本学はこれまでに理工系大学にふさわしい戦略的な協定校とのネットワーク作り、積極的な海外進出、ポスドクの拡充や国際的産学官連携の推進の実現ために国際室ポリシーペーパーや本学の将来構想において活動方針を明らかにしてきました。学生、教員、学内体制、講義システムにおける方針の策定を通じて、大学の様々な国際連携の実現に努力しています。さらに、本学学内の国際連携活動を支援しています。

国際室

<http://www.titech.ac.jp/ipo/index.html>



学生について

日本人学生

- 英語・その他外国語の学力強化
- 海外留学の積極的な推奨
- 国際性を育てる授業・プログラム
- キャリアアドバイス制度

留学生

- 海外広報活動の充実
- 入学試験の見直し
- 奨学金制度の確立と重点配分
- 協定校との連携推進

教員について

- 語学力強化
- 教員の多国籍化
- 海外との教員交換
- 外国人客員教員の増員
- 英語による会議運営の増加

学内体制

- 国際オフィス
- 国際アドバイザー
- 事務職員の語学力強化
- 英語による情報提供
- 国際的産学官連携体制の推進

講義システム

- 学期制の見直し
- 国際大学院プログラム
- 海外向けカリキュラム
- 合同大学院プログラム
- 衛星通信/インターネットによる遠隔講義

海外オフィス

本学では海外の大学と90以上の大学間協定、90以上の部局間協定を結んで、交流を行っています。さらに、本学と諸外国との学術交流及び国際連携を戦略的に推進するための活動拠点として、現在、海外3カ国3都市(タイ・バンコク、フィリピン・マニラ、中国・北京)にオフィスを設置しています。

中国オフィス

(Office in Beijing, China)

北京市清華大学キャンパス内に、平成16年に設置された清華大学合同プログラム北京事務所とは別に、新たに平成18年10月に東京工業大学・清華大学協力事務所を設置し、現在、教育研究活動の交流などを進めるため、整備を進めています。

タイオフィス

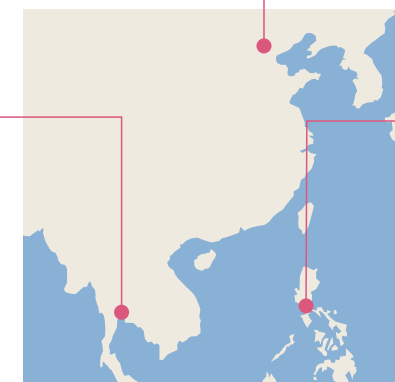
(Office in Bangkok, Thailand)

タイオフィスは、平成14年9月、タイ王国首都バンコクのタイ王国サイエンスパーク内に設置されました。本学とタイ王国は、古くから学術交流を行っており、教育面では、開設後も衛星通信/インターネットによる遠隔講義を行い、学生・研究者等の人材交流などを行っています。また、その他タイで行われるイベントにおける支援、19年度から開始された東工大-タイ科学技術開発連携大学院(TAIST)事業に対する協力、帰国留学生や留学希望者への支援窓口としての活動も行っています。

フィリピンオフィス

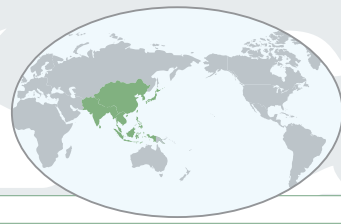
(Office in Manila, Philippines)

フィリピンオフィスは、平成17年9月、フィリピン共和国の首都マニラ中心部にあるデラ・サール大学マニラ校内に設置されました。本学とフィリピンの学術交流の歴史も長く、これまで様々なプロジェクトが行われており、開設後はインターネットを使用した双方向の講義配信/受信などの教育研究活動の交流、帰国留学生を含む人材の形成、語学研修を組み合わせた学生交流、本学の広報などの活動を展開しています。



国際連携

アジア ASIA



| ASIA | | | |
|-------------|------|------|----------|
| アジア留学生総計データ | | | |
| 学部 | 241人 | 協定機関 | 大学間 46機関 |
| 修士課程 | 308人 | | 部局間 39機関 |
| 博士後期課程 | 334人 | | |
| 研究生等 | 86人 | | |
| 2009年5月1日現在 | | | |

インド
留学生 学部2 修士課程2 博士後期課程5 研究生等1

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1994.7～インド工科大学デリー校
- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ジャダヴパール大学歴史学科
2007.7～社会理工学研究科経営工学専攻
- 教員・研究者交流 / 学術情報交換
サルダールバル大学材料学科
2003.2～応用セラミックス研究所

インドネシア共和国
留学生 学部8 修士課程18 博士後期課程37 研究生等11

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1988.6～バンドン工科大学
1992.12～インドネシア大学
2000.2～ガジャマダ大学
- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
スラバヤ工科大学
2004.5～理工学研究科
- 教員・研究者交流 / 学術情報交換
インドネシア原子力庁
1997.6～原子炉工学研究所
インドネシア科学研究所地質工学研究センター
2008.3～火山流体研究センター

カザフスタン共和国
留学生 学部1 修士課程1 博士後期課程3 研究生等0

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
カザフ国立大学化学部
2006.11～理工学研究科化学工学専攻
カザフ・プリティッシュ工科大学エネルギー・石油・ガス産業学部
2006.11～理工学研究科化学工学専攻

カンボジア王国
留学生 学部2 修士課程1 博士後期課程5 研究生等0

シンガポール共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等2

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1991.2～シンガポール国立大学

スリランカ民主社会主義共和国
留学生 学部2 修士課程2 博士後期課程3 研究生等2

タイ王国
留学生 学部10 修士課程26 博士後期課程25 研究生等10

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1985.10～チュラロンコン大学
1992.11～キングモンクット工科大学ラカバン校
1996.3～タマサート大学
1996.12～カセサート大学
2001.9～国家科学技術開発庁
2005.1～キングモンクット工科大学ノースバンコク校
2005.12～アジア工科大学
2007.10～キングモンクット工科大学トンブリ校

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
タマサート大学工学部化学工学科
2006.9～理工学研究科化学工学専攻
- 教員・研究者交流 / 学術情報交換
アジア工科大学工学部
2005.12～学術国際情報センター
チュラロンコン大学工学部
2007.5～学術国際情報センター

大韓民国
留学生 学部32 修士課程39 博士後期課程58 研究生等14

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1986.5～韓国科学技術院
1992.7～韓国海洋大学
1992.9～高麗大学
1993.7～慶北大学
1995.4～全北国立大学
1996.4～漢陽大学
2002.4～延世大学
2003.3～ポーハン科学技術大学
2007.3～ソウル国立大学
2008.10～成均館大学

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学術情報交換
1991.12～韓国科学技術研究院
- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
朝鮮大学校輸送機械部品工場自動化研究所
1998.11～工学部機械科学科
ソウル国立大学機械宇宙工学科
1999.4～工学部機械科学科
延世大学工学部化学工学科
1999.9～理工学研究科国際開発工学専攻
仁荷大学化学工学科
2000.2～理工学研究科化学工学専攻
高麗大学材料科学工学科
2005.6～理工学研究科材料工学専攻
ソウル国立大学経済学部
2006.1～社会理工学研究科社会学専攻
漢陽大学機械工学科
2006.3～情報理工学研究科情報環境学専攻
ソウル国立大学経済学部
2006.4～社会理工学研究科
公州大学校工科大学建築工学科
2007.9～応用セラミックス研究所
成均館大学化学工学専攻
2008.1～理工学研究科有機・高分子物質専攻
慶熙大学画面部品材料センター
2008.1～材料イノベーション教育研究拠点

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学術情報交換
韓国科学技術院先端原子力工学研究センター
1993.8～原子炉工学研究所
韓国科学技術院材料界面科学技術研究センター
1996.5～工学部無機材料工学科
ソウル国立大学分子触媒研究センター
1996.5～応用セラミックス研究所
韓国機械研究院
2008.4～精密工学研究所

中華人民共和国
留学生 学部118 修士課程166 博士後期課程117 研究生等30

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1980.10～ハルビン工業大学
1985.4～清華大学
1991.8～上海交通大学
1991.8～北京大学
1991.8～西安交通大学
1993.9～浙江大学
1993.12～北京理工大学
1997.9～中国科学技術大学
2006.11～大連理工大学
2007.4～同済大学
2007.8～天津大学

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
北京理工大学機電一体化中心
1986.9～工学部制御システム工学科北川研究室
清華大学材料力学交流会
1989.9～工学部機械系学科
浙江大学土木工科学系
1993.11～工学部土木工学科
清華大学科学技術社会研究センター
2001.9～社会理工学研究科経営工学専攻
東北師範大学城市と環境学院他
2008.6～総合理工学研究科

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学術情報交換
北京科学技術大学(旧北京鋼鉄学院)
1980.8～工学部・総合理工学研究科
大連理工大学外国語学院
2003.12～留学生センター
上海大学精密機械研究所
2005.10～精密工学研究所

中華人民共和国(台湾)
留学生 学部0 修士課程5 博士後期課程9 研究生等4

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1997.11～国立成功大学
1998.11～国立清華大学
1999.1～国立台湾大学
2004.11～国立交通大学
2007.10～国立中央大学

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
国立中央大学防災研究センター
2005.11～都市地農工学センター
国立陽明大学生命科学院
2006.9～生命理工学研究科

中華人民共和国(香港)
留学生 学部2 修士課程0 博士後期課程0 研究生等0

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
香港科技大学理学部
2006.10～生命理工学研究科

ネパール連邦民主共和国
留学生 学部2 修士課程3 博士後期課程4 研究生等1

パキスタン・イスラム共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程5 研究生等1

バングラデシュ人民共和国
留学生 学部1 修士課程4 博士後期課程16 研究生等0

フィリピン共和国
留学生 学部1 修士課程6 博士後期課程14 研究生等2

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1992.5～デラサル大学
1992.8～フィリピン大学

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
フィリピン大学土木関係学科等
1993.4～工学部土木工学科
デラサル大学工学部化学工学科
2005.9～理工学研究科化学工学専攻

ベトナム社会主義共和国
留学生 学部40 修士課程21 博士後期課程18 研究生等3

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1995.8～ハノイ工科大学
1995.8～ハノイ大学

マレーシア
留学生 学部19 修士課程6 博士後期課程10 研究生等1

ミャンマー連邦
留学生 学部0 修士課程3 博士後期課程0 研究生等1

モンゴル国
留学生 学部1 修士課程5 博士後期課程2 研究生等3

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
2003.6～モンゴル科学技術大学
2007.4～モンゴル国立大学

ラオス人民民主共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程3 研究生等0

- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学術情報交換
ラオス人民共和国政府
2006.4～理工学研究科国際開発工学専攻及び学術国際情報センター

オセアニア OCEANIA



| OCEANIA | | | |
|---------------|----|------|---------|
| オセアニア留学生総計データ | | | |
| 学部 | 0人 | 協定機関 | 大学間 2機関 |
| 修士課程 | 1人 | | 部局間 3機関 |
| 博士後期課程 | 3人 | | |
| 研究生等 | 3人 | | |
| 2009年5月1日現在 | | | |

オーストラリア連邦
留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程1 研究生等3

- 大学間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1994.8～メルボルン大学
2003.4～シドニー工科大学
- 部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ロイヤル・メルボルン工科大学建設環境工学部建築学科
1999.8～工学部建築学科
モナシュ大学工学部
2006.4～理工学研究科

ニュージーランド
部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ビクトリア大学ウェリントン校理学部
2006.4～理工学研究科

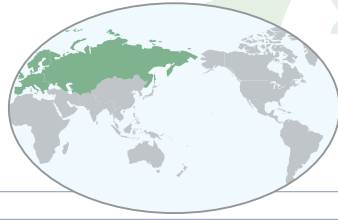
バブアニューギニア独立国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

フィジー諸島共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

アジア大洋
部局間協定 ●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
アジア・オセアニア地域工学系大学連盟
2007.3～理工学研究科

国際連携

ヨーロッパ EUROPE



EUROPE ヨーロッパ留学生総計データ
学部 2人 協定機関 大学間 35機関 部局間 33機関
修士課程 24人
博士後期課程 25人
研究生等 32人
2009年5月1日現在

イタリア共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等1

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1997.3～ボローニヤ大学
1998.9～ローマ大学
2002.5～ミラノ工科大学

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
トリノ工科大学
1999.7～総合理工学研究科
イタリア学術研究会議・電子磁性材料研究所
2007.10～理工学研究科

英国
留学生 学部0 修士課程2 博士後期課程3 研究生等0

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1979.5～マンチェスター大学
1993.2～ストラスクライド大学
1993.9～サレイ大学

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
2001.3～ケンブリッジ大学チャーチルカレッジ
ケンブリッジ大学工学部
2005.4～理工学研究科
クランフィールド大学工学部動力・推進力・航空宇宙学科
2005.11～原子炉工学研究所
2007.7.～炭素循環エネルギー研究センター

●学生交流
インペリアルカレッジ工学部
2005.4～工学部
ウォーウィック大学工学部
2007.10～理工学研究科
オックスフォード大学材料学科
2008.5～理工学研究科

エストニア共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

オーストリア共和国
留学生 学部0 修士課程2 博士後期課程1 研究生等0

オランダ王国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等2

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
2009.2～デルフト工科大学

●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
デルフト工科大学バイオメカニカル工学科システム制御センター
2004.10～理工学研究科機械系3専攻

●学生交流
トウェンテ大学科学技術学部
1996.6～総合理工学研究科
デルフト工科大学情報システム学部
1998.9～工学部、社会理工学研究科
デルフト工科大学建築学部
2000.8～工学部

キルギス
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等1

クロアチア共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

スイス連邦
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程2 研究生等1

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1978.9～スイス連邦工科大学
2007.7～チューリッヒ大学

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ジュネーブ大学化学科、結晶学研究所
2001.10～工学部化学工学科、理工学研究科応用化学専攻

スウェーデン王国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程2 研究生等7

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1991.9～スウェーデン王立工科大学
1992.10～シャルマーズ工科大学
2008.2～リンシェーピング大学

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流
ゴットランド大学情報学部
2006.7～情報理工学研究科
●学生交流
リンシェーピング大学工学研究科
1997.9～情報理工学研究科

スペイン
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等1

スロベニア共和国
留学生 学部0 修士課程2 博士後期課程0 研究生等0

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
リュブリャナ大学人文学部
2007.3～留学生センター

セルビア共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

デンマーク王国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等1

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1992.9～デンマーク工科大学
2007.8～コペンハーゲン大学・カールスバーグ研究所

ドイツ連邦共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程5 研究生等6

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1982.7～ミュンヘン工科大学
1992.4～シュツツガルト大学
2001.8～ヨハネス・グーテンベルク大学
2004.2～ハノーバー大学
2007.9～アーヘン工科大学
2008.10～ベルリン工科大学

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ミュンヘン大学人間学研究所
2001.5～総合理工学研究科
カッセル大学自然科学部
2006.9～理工学研究科
ドイツ癌研究センター
2008.5～生命理工学研究科
エルンストマッハ研究所
2008.11～応用セラミックス研究所
マックスプランク研究所適応の行動と認知研究センター
2009.3～社会理工学研究科

●教員・研究者交流 / 学術情報交換
ポール・ドゥルード固体物理学研究所
1994.9～量子ナノエレクトロニクス研究センター
カールスルーエ研究所
1998.2～原子炉工学研究所
カールスルーエ研究所
2000.7～精密工学研究所

ノルウェー王国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等3

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1993.2～ノルウェー工科大学・自然科学工科大学

フィンランド共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等2

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1995.10～ヘルシンキ工科大学
1999.4～ラッペンランタ工科大学

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ユバスキュラ大学情報技術学部・アゴラセンター
2009.3～社会理工学研究科

フランス共和国
留学生 学部0 修士課程4 博士後期課程1 研究生等3

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1992.9～ボンゼ・ショセ*
2002.4～アール・エ・メティエ (ENSAM)*
2002.5～レンヌ大学
2004.4～ストラスブール大学
2007.4～パリ・テック**
2007.4～エコール・デ・ミンヌ*

●学生交流
2006.2～エコール・ポリテクニーク*

●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
国立科学研究センター高温放射線線限条件材料学研究所
2008.9～原子炉工学研究所

部局間協定
●学生交流
パリ建築大学ヴェレット校
2000.7～工学部

*: グランドゼコール (ハイレベルの高等教育機関) **: 在パリ11理工系グランドゼコール連合

ブルガリア共和国
留学生 学部1 修士課程1 博士後期課程1 研究生等0

ベルギー王国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等1

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1992.9～ゲント大学
1994.5～ブラッセル自由大学

ポーランド共和国
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

ボスニア・ヘルツェゴビナ
留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

マケドニア
留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

リトアニア
留学生 学部1 修士課程0 博士後期課程0 研究生等1

ルーマニア
留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
バベス・ボリヤイ大学物理学部
2008.3～原子炉工学研究所

ロシア連邦
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程3 研究生等2

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1993.6～モスクワ物理工科大学
1999.11～ノボシビルスク国立大学

部局間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
ロシア物理電力工学研究所
1997.12～原子炉工学研究所
オープンスク原子力工科大学
1998.1～原子炉工学研究所
ボレスコフ触媒研究所
2007.12～原子炉工学研究所

●教員・研究者交流 / 学術情報交換
ロシア科学センターグループ研究所
1992.8～原子炉工学研究所

コンソーシアム

- 学生交流
デルフト工科大学(オランダ)・デンマーク工科大学(デンマーク)・
王立工科大学(スウェーデン)等
2009.3～理工学研究科機械系

中東 MIDDLE EAST



MIDDLE EAST 中東留学生総計データ
学部 5人 協定機関 大学間 4機関 部局間 0機関
修士課程 5人
博士後期課程 16人
研究生等 7人
2009年5月1日現在

アラブ首長国連邦
留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

イスラエル国
留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程1 研究生等1

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1991.12～イスラエル工科大学

イラン・イスラム共和国
留学生 学部2 修士課程2 博士後期課程8 研究生等2

大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
2000.11～シャリフ工科大学

サウジアラビア王国
留学生 学部2 修士課程0 博士後期課程0 研究生等0

シリア
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程0 研究生等2

トルコ共和国
留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程6 研究生等2

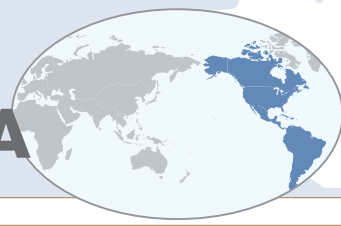
大学間協定
●教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
1992.12～中東工科大学
1998.3～ボアージュ大学

ヨルダン・ハシェミット王国
留学生 学部1 修士課程0 博士後期課程0 研究生等0

レバノン
留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

国際連携

アメリカ
AMERICA



NORTH AMERICA

北米留学生総計データ

| | | | |
|--------|-----|------|---------|
| 学部 | 0人 | 協定機関 | 大学間 8機関 |
| 修士課程 | 10人 | 部局間 | 15機関 |
| 博士後期課程 | 6人 | | |
| 研究生等 | 4人 | | |

2009年5月1日現在

CENTRAL AND SOUTH AMERICA

中南米留学生総計データ

| | | | |
|--------|-----|------|---------|
| 学部 | 4人 | 協定機関 | 大学間 2機関 |
| 修士課程 | 8人 | 部局間 | 0機関 |
| 博士後期課程 | 17人 | | |
| 研究生等 | 3人 | | |

2009年5月1日現在

アメリカ合衆国

留学生 学部0 修士課程6 博士後期課程2 研究生等4

- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
 - 1974.5～ワシントン大学
 - 1992.7～オレゴン州立大学
 - 1992.8～ウィスコンシン大学マディソン校
 - 1992.11～メリーランド大学ボルティモア校、カレッジパーク校
 - 2001.1～ジョージア工科大学
 - 2002.5～ペンシルバニア州立大学
 - 2004.4～ウィスコンシン大学ミルウォーキ校

- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
 - マサチューセッツ工科大学機械工学科
 - 1991.6～工学部制御システム工学科
 - マサチューセッツ工科大学機械工学科
 - 1996.5～工学部機械宇宙学科
 - スタンフォード大学機械工学科
 - 1999.10～工学部機械系4学科
 - ジョージメイソン大学社会複雑性センター
 - 2005.2～総合理工学研究科
 - マサチューセッツ工科大学先進原子力研究センター
 - 2006.2～革新的原子力研究センター
 - ライス大学電気・コンピューター工学科
 - 2006.5～附属情報工学研究施設
 - マサチューセッツ工科大学機械工学科
 - 2007.4～理工学研究科機械系3専攻、情報理工学研究科情報環境学専攻
 - ライス大学電気・コンピューター工学科
 - 2008.2～総合理工学研究科物理電子システム創造専攻
 - ライス大学ナノスケール科学技術研究所
 - 2008.2～理工学研究科物性物理学専攻
 - ペンシルバニア州立大学材料科学科
 - 2009.2～理工学研究科材料工学専攻無機材料分野

- 教員・研究者交流 / 学術情報交換
 - ワシントン大学建築都市計画学部建築学科
 - 1978.1～工学部建築学科
 - サンディエゴスーパーコンピューターセンター (SDSC)
 - 2003.1～学術国際情報センター

- 学生交流
 - ミネソタ大学工学部
 - 2005.2～工学部

カナダ

留学生 学部0 修士課程4 博士後期課程4 研究生等0

- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
 - 2006.12～ウォータールー大学

- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
 - サイモン・フレージャー大学エンジニアリング・サイエンス学科
 - 2007.10～情報理工学研究科情報環境学専攻

- 教員・研究者交流 / 学術情報交換
 - カナダ気象庁・数値予報研究部
 - 2002.12～学術国際情報センター

アルゼンチン共和国

留学生 学部1 修士課程0 博士後期課程0 研究生等0

エクアドル共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程2 研究生等0

キューバ共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

コスタリカ共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

コロンビア共和国

留学生 学部1 修士課程1 博士後期課程2 研究生等0

ニカラグア共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等1

ブラジル連邦共和国

留学生 学部2 修士課程0 博士後期課程8 研究生等2

- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
 - 1991.5～サンパウロ大学
 - 1992.10～ブラジル航空工科大学

ペルー共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程2 研究生等0

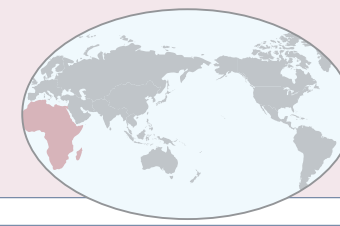
ボリビア共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程1 研究生等0

メキシコ合衆国

留学生 学部0 修士課程4 博士後期課程1 研究生等0

アフリカ
AFRICA



AFRICA

アフリカ留学生総計データ

| | | | |
|--------|----|------|---------|
| 学部 | 0人 | 協定機関 | 大学間 0機関 |
| 修士課程 | 6人 | 部局間 | 2機関 |
| 博士後期課程 | 8人 | | |
| 研究生等 | 1人 | | |

2009年5月1日現在

アルジェリア民主人民共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等1

エジプト・アラブ共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程1 研究生等0

エチオピア連邦民主共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

ジンバブエ共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

スーダン共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程1 研究生等0

タンザニア連合共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
 - タンザニア水産学研究所
 - 2006.4～生命理工学研究科

チュニジア

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

ナイジェリア連邦共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程1 研究生等0

マダガスカル共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

マラウイ共和国

留学生 学部0 修士課程0 博士後期課程1 研究生等0

南アフリカ共和国

留学生 学部0 修士課程1 博士後期課程0 研究生等0

- 教員・研究者交流 / 学生交流 / 学術情報交換
 - 南アフリカ生物多様性研究所
 - 2005.9～生命理工学研究科

キャンパスマップ

大岡山キャンパス 建物配置図



| 石川台地区 Ishikawadai Area | | | |
|------------------------|---------------------|----------------------|---------------------|
| ① 石川台1号館 | 9,700m ² | ⑥ 石川台6号館 | 6,830m ² |
| ② 石川台2号館 | 2,934m ² | ⑦ 石川台実験棟1 | 341m ² |
| ③ 石川台3号館 | 6,520m ² | ⑧ ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー棟 | 2,998m ² |
| ④ 石川台4号館 | 2,109m ² | ⑨ 学術国際情報センター(国際棟) | 1,180m ² |
| ⑤ 石川台5号館 | 2,653m ² | ⑩ 国際交流会館 | 4,453m ² |

| 大岡山南地区 Ookayama South Area | | | |
|----------------------------|----------------------|------------------|---------------------|
| ① 大岡山南1号館 | 12,578m ² | ⑨ 大岡山南9号館 | 3,753m ² |
| ② 大岡山南2号館 | 2,574m ² | ⑩ 大岡山南講義棟 | 187m ² |
| ③ 大岡山南3号館 | 9,544m ² | ⑪ 大岡山南実験棟2 | 615m ² |
| ④ 大岡山南4号館 | 2,793m ² | ⑫ 大岡山南実験棟4 | 1,191m ² |
| ⑤ 大岡山南5号館 | 7,443m ² | ⑬ 超高速エレクトロニクス研究棟 | 935m ² |
| ⑥ 大岡山南6号館 | 3,605m ² | ⑭ 極低温物性研究センター | 474m ² |
| ⑦ 大岡山南7号館 | 6,890m ² | ⑮ 極低温実験棟 | 204m ² |
| ⑧ 大岡山南8号館 | 9,379m ² | | |

| 大岡山西地区 Ookayama West Area | | | |
|---------------------------|---------------------|------------|----------------------|
| ① 大岡山西1号館 | 1,318m ² | ⑧ 大岡山西9号館 | 21,108m ² |
| ② 大岡山西2号館 | 1,795m ² | ⑨ 実験廃液処理施設 | 374m ² |
| ③ 大岡山西3号館 | 5,237m ² | ⑩ 70周年記念講堂 | 1,301m ² |
| ④ 大岡山西4号館 | 3,262m ² | ⑪ 屋内運動場 | 4,811m ² |
| ⑤ 大岡山西5号館 | 1,287m ² | ⑫ 大学食堂 | 2,981m ² |
| ⑥ 大岡山西6号館 | 854m ² | ⑬ サークル棟1 | 798m ² |
| ⑦ 大岡山西7号館 | 964m ² | ⑭ サークル棟2 | 214m ² |
| ⑧ 大岡山西8号館(W) | 9,830m ² | ⑮ サークル棟3 | 298m ² |
| ⑨ 大岡山西8号館(E) | 8,000m ² | ⑯ サークル棟4 | 1,147m ² |

| 大岡山東地区 Ookayama East Area | | | |
|---------------------------|----------------------|------------------|---------------------|
| ① 本館 | 26,724m ² | ⑥ 百年記念館 | 2,687m ² |
| ② 事務局(1・2号館) | 2,998m ² | ⑦ 産学連携推進本部棟(1・2) | 787m ² |
| ③ 事務局3号館 | 599m ² | ⑧ 大岡山東1号館 | 2,870m ² |
| ④ 学術国際情報センター(情報棟) | 3,507m ² | ⑨ 大岡山東2号館 | 2,756m ² |
| ⑤ 附属図書館 | 7,490m ² | ⑩ (新図書館建設中) | |

| 大岡山北地区 Ookayama North Area | | | |
|----------------------------|---------------------|-------------|---------------------|
| ① 大岡山北1号館 | 3,275m ² | ⑨ 大岡山北実験棟6 | 998m ² |
| ② 大岡山北2号館 | 3,330m ² | ⑩ バンデグラフ実験棟 | 364m ² |
| ③ 大岡山北実験棟1 | 1,033m ² | ⑪ RI総合実験室 | 504m ² |
| ④ 大岡山北実験棟2A・2B | 1,816m ² | ⑫ 保健管理センター | 452m ² |
| ⑤ 大岡山北実験棟3A | 695m ² | ⑬ 80年記念会議室 | 704m ² |
| ⑥ 大岡山北実験棟3B | 101m ² | ⑭ サークル棟5 | 121m ² |
| ⑦ 大岡山北実験棟4 | 732m ² | ⑮ 東工大蔵前会館 | 4,076m ² |
| ⑧ 大岡山北実験棟5 | 200m ² | | |

| 緑が丘地区 Midorigaoka Area | | | |
|------------------------|---------------------|-------------|---------------------|
| ① 緑が丘1号館 | 6,595m ² | ④ 緑が丘4号館 | 1,256m ² |
| ② 緑が丘2号館 | 1,509m ² | ⑤ 緑が丘講義棟 | 193m ² |
| ③ 緑が丘3号館 | 2,554m ² | ⑥ 創造プロジェクト館 | 1,155m ² |

キャンパスマップ

すずかけ台キャンパス 建物配置図



| B地区 B-Area | |
|------------|---------------------|
| 1 B1高層棟 | 7,723m ² |
| 2 B2高層棟 | 8,380m ² |
| 3 B1・B2-A棟 | 2,753m ² |
| 4 B1・B2-B棟 | 1,622m ² |
| 5 B1・B2-C棟 | 980m ² |

| R地区 R-Area | |
|------------|---------------------|
| 1 R1高層棟 | 8,180m ² |
| 2 R1-A棟 | 1,395m ² |
| 3 R1-B棟 | 216m ² |
| 4 R2高層棟 | 8,582m ² |
| 5 R2-A棟 | 656m ² |
| 6 R2-B棟 | 1,001m ² |
| 7 R2-C棟 | 711m ² |
| 8 R3本棟 | 4,865m ² |
| 9 R3-A棟 | 200m ² |
| 10 R3-B棟 | 225m ² |
| 11 R3-C棟 | 801m ² |
| 12 R3-D棟 | 1,500m ² |

| G地区 G-Area | |
|------------|----------------------|
| 1 G1高層棟 | 9,571m ² |
| 2 G2高層棟 | 7,665m ² |
| 3 G3高層棟 | 11,669m ² |
| 4 G4棟 | 1,865m ² |
| 5 G4-A棟 | 494m ² |
| 6 G5高層棟 | 6,720m ² |

| H地区 H-Area | |
|------------|---------------------|
| 1 H1棟 | 3,191m ² |
| 2 H2棟 | |

| J地区 J-Area | |
|------------|----------------------|
| 1 J1高層棟 | 6,277m ² |
| 2 J2高層棟 | 15,750m ² |

| 棟番号案内 Introductory Guide | |
|--------------------------|-------|
| 生命理工学研究科 | B1-2 |
| 総合理工学研究科 | G1-5 |
| すずかけホール | H1-2 |
| 資源化学研究所 | R1 |
| 精密工学研究所 | R2 |
| 像情報工学研究施設 | R2 |
| 応用セラミックス研究所 | R3 |
| 事務局 | J1 J2 |
| 総合研究館 | S1 |
| フロンティア研究センター | S2 |
| 附属図書館 | S3 |

田町キャンパス 建物配置図

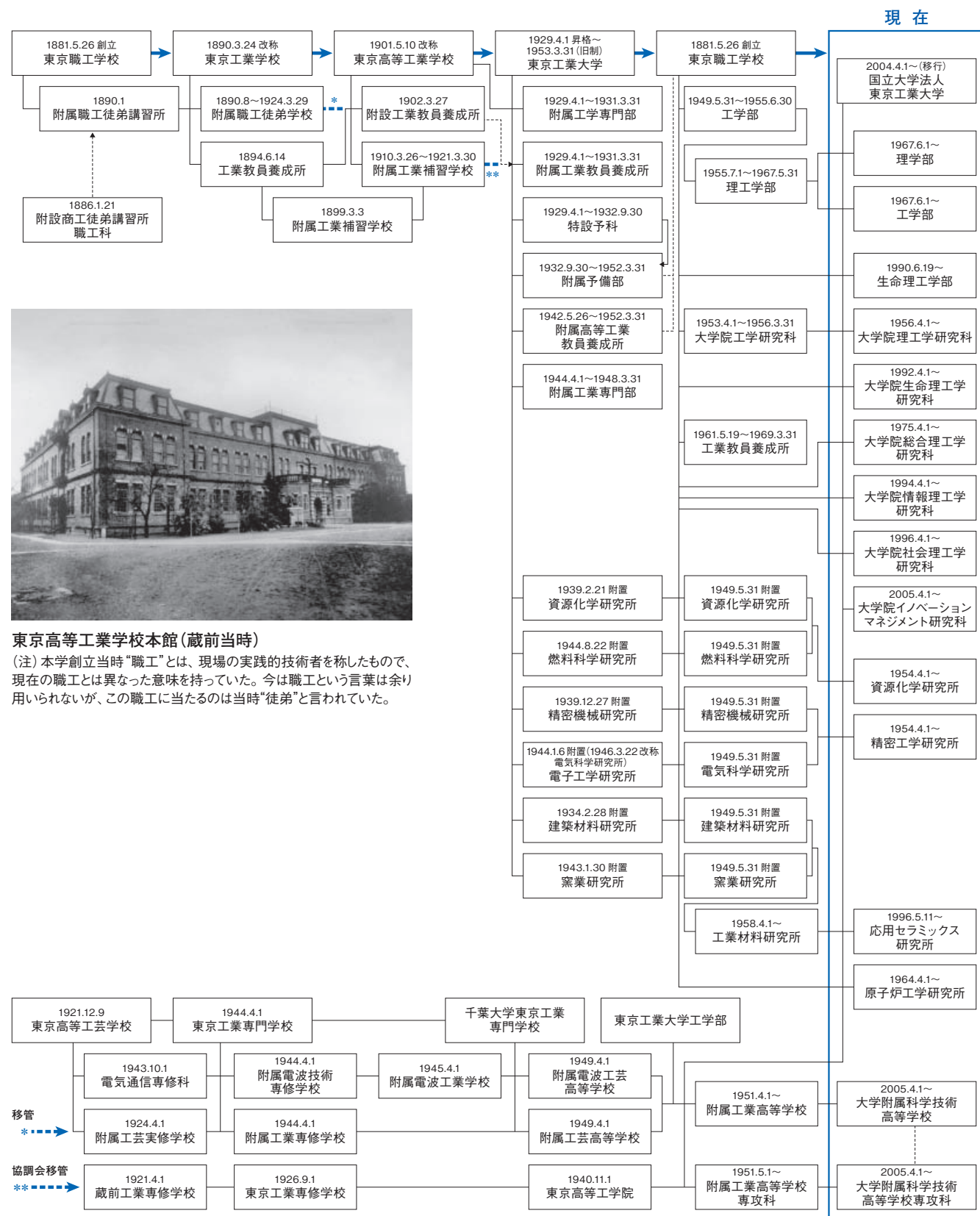


キャンパス所在地

| 団地名 | 研究科等名 | 所在地及び電話番号 | 交通 | 備考 |
|-------|--|---|---|-------------|
| 大岡山 | 理工学研究科、情報理工学研究科、社会理工学研究科、イノベーションマネジメント研究科、原子炉工学研究所、理学部、工学部、事務局、その他 | 〒152-8550 目黒区大岡山2-12-1 | 東京急行大井町線・目黒線 大岡山下車 徒歩1分 | |
| すずかけ台 | 生命理工学研究科、総合理工学研究科、資源化学研究所、精密工学研究所、応用セラミックス研究所、生命理工学部、総合研究館、その他 | 〒226-8503 横浜市緑区長津田町4259 | 東京急行田園都市線 すずかけ台駅下車 徒歩5分 | |
| 田町 | 東京工業大学附属科学技術高等学校、その他 | 〒108-0023 港区芝浦3-3-6 | JR山手線・京浜東北線 田町駅下車 徒歩2分 | |
| 松風台 | 松風学舎、松風留学生会館 | 〒227-0067 横浜市青葉区松風台21-13 TEL.(045)981-7115、(045)983-9521 | 東京急行田園都市線 青葉台駅下車 徒歩15分 | |
| 梅が丘 | 梅が丘留学生会館 | 〒227-0052 横浜市青葉区梅が丘17-2 TEL.(045)971-6473 | 東京急行田園都市線 藤が丘駅下車 徒歩15分 | |
| 鹿沢 | 「福利厚生関係施設」(鹿沢合宿研修所) | 〒377-1524 群馬県吾妻郡嬭恋村大字鎌原字湯ノ丸山1053-834 TEL.(0279)98-0552 | JR吾妻線万座・鹿沢口駅から JRバス鹿沢温泉下車 徒歩10分 | 収容人員 30名 |
| 大洗 | 「福利厚生関係施設」(大洗合宿研修所) | 〒311-1300 茨城県東茨城郡大洗町大貴角一257 TEL.(0292)67-5007 | JR常磐線水戸駅から茨城交通バス大貴角一停留所前/大洗鹿島線大洗駅下車 徒歩20分 | 収容人員 40名 |
| 戸田 | 「福利厚生関係施設」(艇庫) | 〒355-0024 埼玉県戸田市戸田公園1-55 | JR埼京線戸田公園駅下車 徒歩15分 | |
| 塩山 | 「福利厚生関係施設」(山小屋) | 〒402-0211 山梨県甲州市塩山大字小屋敷字滑沢2319-1 | JR中央線塩山駅下車 徒歩約20Km | |
| 草津 | 火山流体研究センター(草津白根火山観測所) | 〒377-1711 群馬県吾妻郡草津町大字草津字滝尻原641-36 TEL.(0279)88-7715 | JR吾妻線長野原駅から JRバス草津温泉下車 徒歩30分 | |

歴史

沿革図



沿革

| 年 | 月日 | 沿革 | 歴代校長・学長 |
|-------|----------------------|--|--|
| 1881年 | 5.26 | 東京職工学校設立 | 山岡 次郎 (1881年5月) |
| 1890年 | 3.24 | 東京工業学校と改称 | 正木 退蔵 (1881年9月) |
| 1901年 | 5.10 | 東京高等工業学校と改称 | 手島 精一 (1890年3月) 阪田 貞一 (1898年2月) 手島 精一 (1899年2月) 手島 精一 (1901年5月) 阪田 貞一 (1916年9月) 吉武 栄之進 (1920年12月) 中村 幸之助 (1926年6月) |
| 1929年 | 4.1 | 東京工業大学へ昇格。染料化学科、紡織学科、窯業学科、応用化学科、電気化学科、機械工学科、電気工学科及び建築学科の8学科と数学教室、物理学教室、物理化学教室及び分析化学教室の4教室設置 | 中村 幸之助 (1929年4月) |
| 1930年 | 7.10 | 無機化学教室設置 有機化学教室設置 | |
| 1931年 | 9. | 化学工学教室設置 | |
| 1932年 | 9.30 | 附属予備部設置 | |
| 1934年 | 2.28 | 建築材料研究所附置 | |
| 1935年 | 6. | 工業経済教室設置 | |
| 1939年 | 2.21 4.8 12.27 | 資源化学研究所附置 航空機工学科設置 精密機械研究所附置 | |
| 1940年 | 4.1 | 化学工学教室を廃止し、化学工学科新設 | |
| 1941年 | 4.1 | 金属工学科及び燃料工学科新設 | |
| 1942年 | 5.26 | 附属高等工業教員養成所設置 | |
| 1943年 | 1.30 10.1 | 窯業研究所附置 特別研究生制度発足、幹部技術者講習所及び附属予備部特別予科設置 | 八木 秀次 (1942年3月) |
| 1944年 | 1.6 4.1 8.22 | 電子工学研究所附置 附属工業専門部設置。機械科、電気科、電気通信科、航空機科、金属工学科及び化学工学科設置 燃料科学研究所附置 | 和田 小六 (1944年12月) |
| 1945年 | 4.1 12.31 | 附属工業専門部に窯業科新設 航空機工学科及び燃料工学科並びに専門部航空機科廃止 | |
| 1946年 | 3.22 | 電子工学研究所を電気科学研究所と改称 | |
| 1948年 | 3.31 | 附属工業専門部廃止 | 和田 小六 (1944年12月) |
| 1949年 | 5.31 | 国立学校設置法公布により国立東京工業大学新設、工学部設置。 旧制東京工業大学、同附属予備部及び同附属高等工業教員養成所は新制に包括し、 建築材料研究所、資源化学研究所、精密機械研究所、窯業研究所、電気科学研究所及び燃料科学研究所附置 | |
| 1951年 | 4.1 | 千葉大学東京工業専門学校附属電波工芸高等学校及び同附属工芸高等学校を 本学工学部附属工業高等学校として移管 | |
| 1952年 | 3.31 | 附属予備部及び附属高等工業教員養成所廃止 | 山本 勇 (1952年6月) |
| 1953年 | 4.1 | 大学院工学研究科設置。応用物理学、化学及び化学工学、機械工学、電気工学、金属工学、 繊維工学及び建築学の7専攻設置 | |
| 1954年 | 4.1 9.7 | 建築材料研究所、資源化学研究所、精密機械研究所、窯業研究所、電気科学研究所及び燃料科学研究所を 建築材料研究所、資源化学研究所、精密工学研究所及び窯業研究所に整備し、学部印刷技術研究施設設置 講座制新設 | 内田 俊一 (1952年8月) |
| 1955年 | 7.1 | 工学部を理工学部へ改称。理工学部は数学、物理学、化学、化学工学、機械工学、電気工学、金属工学、 繊維工学、建築学及び経営工学の10学科設置 | |
| 1956年 | 4.1 | 理工学部に原子炉研究施設設置。大学院工学研究科を大学院理工学研究科と改称 | |
| 1957年 | 4.1 | 大学院理工学研究科に原子核工学専攻設置 | |
| 1958年 | 4.1 | 建築材料研究所及び窯業研究所を統合し、工業材料研究所附置 | |
| 1960年 | 4.1 | 理工学部は数学科、物理学科、化学科、金属工学科、繊維工学科、無機材料工学科、化学工学科、工業化学科、 機械工学科、制御工学科、経営工学科、電気工学科、電子工学科及び建築学科の14学科設置 | 山内 俊吉 (1958年8月) |
| 1961年 | 4.1 5.19 | 応用物理学科設置 工業教員養成所設置 | |
| 1962年 | 4.1 | 高分子工学科、応用電気化学科及び生産機械工学科設置 | 大山 義年 (1962年8月) |

歴史

| 年 | 月日 | 沿革 | 歴代校長・学長 |
|-------|------------------------|--|-----------------|
| 1963年 | 3. 31 4. 1 | 本学の大学院の名称及び課程を理工学研究科—5年課程と規定 理工学部に酵素化学研究施設設置 工業化学科を合成化学科と改称 | |
| 1964年 | 4. 1 | 原子炉研究施設を廃止し、 原子炉工学研究所 附属 土木工学科設置 印刷技術研究施設を印写工学研究施設と改称 | 大山 義年(1962年8月) |
| 1965年 | 4. 1 | 酵素化学研究施設を天然物化学研究施設と改称 電子物理工学科設置 | |
| 1966年 | 4. 1 | 社会工学科設置 | 實吉 純一(1966年8月) |
| 1967年 | 4. 1 6. 1 | 機械物理工学科設置 理工学部に理学部、工学部に分離、天然物化学研究施設は理学部に、 印写工学研究施設及び附属工業高等学校は工学部にそれぞれ附属 | 斯波 忠夫(1968年8月) |
| 1969年 | 3. 31 | 工業教員養成所廃止 | |
| 1970年 | 4. 1 | 理学部に情報科学科設置 工学部応用電気化学科を電気化学科と改称 | 加藤 六美(1969年5月) |
| 1971年 | 4. 1 | 工学部繊維工学科を有機材料工学科と改称。保健管理センター設置 | |
| 1973年 | 4. 1 | 教育学開発センター設置 工学部化学工学科、合成化学科及び電気化学科を改組し化学工学科設置 | |
| 1974年 | 4. 1 4. 11 | 工学部電気工学科、電子工学科及び電子物理工学科を改組し、新たに電気・電子工学科、 電子物理工学科及び情報工学科設置。 工学部附属印写工学研究施設を同附属像情報工学研究施設と改称 資源化学研究所に附属資源循環研究施設設置 | 川上 正光(1973年10月) |
| 1975年 | 4. 1 | 大学院総合理工学研究科 設置(既設の理工学研究科に置かれていた7専攻に加えて3専攻 (生命化学、エネルギー科学、システム科学)を新設し10専攻で発足) | |
| 1976年 | 5. 1 | 総合情報処理センター設置。工業材料研究所に附属水熱合成材料実験施設設置 | |
| 1978年 | 10. 1 | 長津田地区に附属図書館長津田分館設置 | 齋藤 進六(1977年10月) |
| 1979年 | 4. 1 | 長津田地区に総合理工学研究科等事務部を設置し、長津田地区の事務を一元化 理工学国際交流センター設置 | |
| 1981年 | 4. 1 | 極低温エネルギー実験センター設置 | |
| 1982年 | 4. 1 | 研究・情報交流センター設置 | 松田 武彦(1981年10月) |
| 1983年 | 4. 1 | 文教施設総合研究センター設置 | |
| 1984年 | 3. 31 4. 11 | 工業材料研究所附属水熱合成材料実験施設廃止 工業材料研究所附属新素材セラミックス実験施設設置 | |
| 1986年 | 4. 1 | 理学部附属天然物化学研究施設廃止 理学部に生命理学科、工学部に生物工学科設置 | |
| 1987年 | 4. 1 | 工学部電気・電子工学科及び電子物理工学科を改組し、新たに電気・電子工学科及び電子物理工学科設置 | 田中 郁三(1985年10月) |
| 1988年 | 4. 1 4. 8 | 理学部に生体機構学科、工学部に生体分子工学科設置 留学生教育センター及び草津白根火山観測所設置。 工業材料研究所附属新素材セラミックス実験施設を廃止し、同附属セラミックス研究センター設置 | |
| 1989年 | 5. 29 | 遺伝子実験施設設置 | |
| 1990年 | 6. 19 | 生命理工学部 設置 (理学部の生命理学科及び生体機構学科並びに工学部の生物工学科及び生体分子工学科を振替) | |
| 1991年 | 3. 31 4. 1 4. 12 | 極低温エネルギー実験センター廃止 大学院総合理工学研究科生命化学専攻を知能科学専攻と改称 極低温システム研究センター設置 | 末松 安晴(1989年10月) |
| 1992年 | 4. 1 4. 10 | 大学院生命理工学研究科 設置(バイオサイエンス及びバイオテクノロジーの2専攻) 炭素循環素材研究センター設置。 理学部に地球・惑星科学科設置 | |
| 1993年 | 4. 1 | 大学院総合理工学研究科に環境物理学専攻設置 工学部機械工学科、生産機械工学科、機械物理工学科、制御工学科及び経営工学科を改組し、機械科学科、 機械知能システム学科、機械宇宙学科、制御システム工学科及び経営システム工学科設置 文教施設総合研究センターを廃止し、文教施設研究開発センター設置 | |
| 1994年 | 4. 1 6. 24 | 大学院情報理工学研究科 設置(数理・計算科学、計算工学及び情報環境学の3専攻) 留学生教育センターを廃止し、留学生センター設置 量子効果エレクトロニクス研究センター及び生物実験センター設置 | 木村 孟(1993年10月) |
| 1995年 | 4. 1 | 大学院総合理工学研究科の社会開発工学及びエネルギー科学専攻を改組し、 人間環境システム及び創造エネルギー専攻設置 工学部化学工学科、機械科学科、電子物理工学科及び土木工学科を改組し、化学工学科、機械科学科、 電子物理工学科、土木工学科及び開発システム工学科設置 | |

| 年 | 月日 | 沿革 | 歴代校長・学長 |
|-------|-------------------------------|---|-----------------|
| 1996年 | 4. 1 5. 11 | 大学院社会理工学研究科 設置(人間行動システム、価値システム、経営工学及び社会学の4専攻) 大学院理工学研究科に地球惑星科学専攻設置 大学院総合理工学研究科の知能科学及びシステム科学専攻を改組し、知能システム科学専攻設置 理学部地球・惑星科学科を地球惑星科学科と改称 外国語研究教育センター設置 工業材料研究所を改組し、 応用セラミックス研究所 附属 工業材料研究所附属セラミックス研究センターを改組し、応用セラミックス研究所附属構造デザイン研究センター設置 | 木村 孟(1993年10月) |
| 1997年 | 4. 1 | アイソトープ総合センター設置 大学院総合理工学研究科の電子化学及び材料科学専攻を改組し、物質電子化学、 材料物理学及び物質科学創造専攻設置 | |
| 1998年 | 4. 1 4. 9 | 大学院理工学研究科の数学、物理学、化学、応用物理学、地球惑星科学、金属工学(一部)、 有機材料工学(一部)、無機材料工学(一部)、化学工学(一部)及び高分子工学専攻(一部)を改組し、数学、 基礎物理学、物性物理学、化学、地球惑星科学及び物質科学専攻を設置 大学院総合理工学研究科の化学環境工学及び環境物理学専攻を改組し、 化学環境学及び環境理工学創造専攻を設置 理学部数学科、物理学科、化学科、応用物理学科、情報科学科及び地球惑星科学科を改組し、 数学科、物理学科、化学科、情報科学科及び地球惑星科学科を設置 研究・情報交流センターを廃止し、フロンティア創造共同研究センターを設置 | |
| 1999年 | 4. 1 | 理財学研究センター設置 大学院理工学研究科に国際開発工学専攻を設置し、金属工学、有機材料工学、無機材料工学、 化学工学及び高分子工学専攻を改組し、材料工学、有機・高分子物質、応用化学及び化学工学専攻を設置 大学院生命理工学研究科のバイオサイエンス(一部)及びバイオテクノロジー専攻(一部)を改組し、分子生命科学、 生命情報及び生体分子機能工学専攻を設置 大学院総合理工学研究科の物理情報工学及び電子システム専攻を改組し、 物理情報システム創造及び電子機能システム専攻を設置 生命理工学部生命理学科、生体機構工学科、生物工学科及び生体分子工学科を改組し、 生命科学科及び生命工学科を設置 | 内藤 喜之(1997年10月) |
| 2000年 | 4. 1 | 草津白根火山観測所を廃止し、火山流体研究センターを設置 大学院理工学研究科機械工学、生産機械工学、機械物理学、制御工学、電気・電子工学、電子物理学、 土木工学及び建築学専攻を改組し、機械物理学、機械制御システム、機械宇宙システム、電気電子工学、 電子物理学、集積システム、土木工学及び建築学専攻を設置 像情報工学研究施設を工学部附属施設から大学院理工学研究科附属施設へ移行 大学院生命理工学研究科バイオサイエンス及びバイオテクノロジー専攻を改組し、 生体システム及び生物プロセス専攻を設置 工学部電気・電子工学科、電子物理工学科及び情報工学科を改組し、電気電子工学科及び情報工学科を設置 精密工学研究所に附属マイクロシステム研究センター設置 副学長制度を導入し、副学長(教育担当)及び副学長(研究担当)を設置 | |
| 2001年 | 4. 1 5. 25 11. 5 | 総合情報処理センター及び理工学国際交流センターを廃止し、学術国際情報センターを設置 極低温システム研究センターを廃止し、極低温物性研究センターを設置 長津田キャンパスをすずかけ台キャンパスと改称 附属図書館長津田分館をすずかけ台分館と改称 研究戦略室を設置 | |
| 2002年 | 4. 1 10. 1 | 炭素循環素材研究センターを廃止し、炭素循環エネルギー研究センターを設置 総合理工学研究科等事務部をすずかけ台地区事務部と改称 評価室及び国際室を設置 総合安全管理センター及び広報・社会連携センターを設置 | |
| 2003年 | 4. 1 5. 15 9. 1 9. 5 | 文教施設研究開発センターを廃止し、教育環境創造研究センターを設置 遺伝子実験施設、生物実験センター及びアイソトープ総合センターを廃止し、 バイオ研究基盤支援総合センターを設置 大学院総合理工学研究科精密機械システム専攻をメカノマイクロ工学専攻と改称 教育推進室を設置 都市地震工学センターを設置 産学連携推進本部を設置 | 相澤 益男(2001年10月) |
| 2004年 | 4. 1 | 国立大学法人東京工業大学 設立 量子効果エレクトロニクス研究センターを廃止し、量子ナノエレクトロニクス研究センターを設置 企画室及び財務管理室を設置 | |
| 2005年 | 4. 1 9. 1 10. 1 | 大学院イノベーションマネジメント研究科 設置(技術経営及びイノベーションの2専攻) 工学部附属工業高等学校を改組し、大学附属科学技術高等学校を設置 理財学研究センターを共通施設に移行、大規模知識資源センター、 インスティテューショナル技術経営学研究センター、量子ナノ物理学研究センター、バイオフロンティアセンター、 エージェントベース社会システム科学センター、分子理工学センター、地球史研究センター、 ものづくり教育研究支援センターを設置 大学院総合理工学研究科物理情報システム創造専攻及び電子機能システム専攻を改組し、 物理電子システム創造専攻及び物理情報システム専攻を設置 先進ナノマテリアル研究センターを設置 統合研究院 を設置 | |

歴史

| 年 | 月日 | 沿革 | 歴代校長・学長 |
|-------|--------|---|------------------|
| 2006年 | 1. 1 | 革新的原子力研究センターを設置 | 相澤 益男 (2001年10月) |
| | 4. 1 | 応用セラミックス研究所附属構造デザイン研究センターを廃止し、応用セラミックス研究所附属セキュアマテリアル研究センターを設置 | |
| | 7. 1 | スーパーメカニクスシステム創造開発センター、学生支援センター、世界文明センターを設置 | |
| | 12. 15 | Global Edge 研究院を設置 集積光電子工学研究センターを設置 | |
| 2007年 | 4. 1 | 入試室、技術部を設置 工学部土木工学科を土木・環境工学科と改称 | 伊賀 健一 (2007年10月) |
| | 10. 12 | 情報基盤統括室を設置 | |
| | 10. 24 | 広報・社会連携センターを廃止し、広報センター及び社会連携センターを設置 | |
| | 11. 1 | 経営戦略室を設置 フロンティア創造研究センター、総合研究館、ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー及びインキュベーションセンターを統合し、フロンティア研究センターを設置 | |
| 2008年 | 4. 1 | 精密工学研究所セキュアデバイス研究センターを設置 工学部開発システム工学科を国際開発工学科と改称 太陽光発電システム研究センターを設置 | 伊賀 健一 (2007年10月) |
| | 5. 1 | 情報系教育研究機構を設置 | |
| | 7. 1 | アジア・アフリカ生物多様性・バイオテクノロジー研究センターを設置 | |
| | 10. 17 | 男女共同参画推進センターを設置 | |
| | 11. 21 | プロダクティブリーダー養成機構を設置 東京工業大学創立130周年事業統括本部を設置 計算世界観研究センターを設置 | |
| 2009年 | 3. 6 | 東工大蔵前会館を設置 | 伊賀 健一 (2007年10月) |
| | 4. 1 | 多元学術融合エネルギー研究センターを設置 社会人教育院を設置 アーカイブ推進機構を設置 | |
| | 5. 8 | 大学マネジメントセンターを設置 | |
| | 8. 19 | 総合プロジェクト支援センターを設置 | |
| | 11. 1 | 多元学術融合エネルギー研究センターを廃止し、環境エネルギー機構を設置 | |

諸事項の変遷

2008年5月1日現在

| 区分 | 学部 | | 大学院 | | | | 土地 (㎡) | 建物 (㎡) | 蔵書数 (冊) |
|------|----------------|-------------|-----------|---------|---------|---------|-----------|-----------|------------|
| | 入学定員 | 卒業生数 (人) | 修士課程 | | 博士後期課程 | | | | |
| 年度 | | | 入学定員(人) | 修了生数(人) | 入学定員(人) | 修了生数(人) | | | |
| 1929 | 150 | 0 | | | | | | 3,834 | 21,525 |
| 1940 | 252 | 178 | | | | | 262,902 | 54,542 | 51,848 |
| 1945 | 400 | 358 | | | | | 293,345 | 56,383 | 72,555 |
| 1950 | 旧制460 新制300 | 392 | | | | | 312,211 | 58,499 | 92,925 |
| 1955 | 355 | 335 | 135 | 37 | 68 | | 309,514 | 71,114 | 111,173 |
| 1960 | 505 | 387 | 145 | 44 | 73 | 12 | 309,484 | 78,581 | 145,107 |
| 1965 | 705 | 590 | 213 | 205 | 87 | 37 | 308,737 | 111,166 | 200,208 |
| 1970 | 895 | 773 | 294 | 348 | 149 | 72 | 484,515 | 146,473 | 284,677 |
| 1975 | 774 | 790 | 617 | 512 | 205 | 68 | 510,683 | 185,309 | 360,499 |
| 1980 | 774 | 775 | 643 | 613 | 248 | 91 | 529,515 | 245,791 | 444,765 |
| 1985 | 836 | 776 | 665 | 694 | 250 | 86 | 531,848 | 261,968 | 538,884 |
| 1990 | 1,182 | 1,107 | 720 | 840 | 250 | 139 | 533,242 | 277,672 | 647,330 |
| 1995 | 1,317 | 1,282 | 908 | 1,154 | 331 | 253 | 535,239 | 319,404 | 750,172 |
| 2000 | 1,068 | 1,237 | 1,290 | 1,488 | 534 | 349 | 534,728 | 362,769 | 858,316 |
| 2001 | 1,068 | 1,188 | 1,290 | 1,497 | 534 | 346 | 534,728 | 368,935 | 871,089 |
| 2002 | 1,068 | 1,243 | 1,290 | 1,538 | 534 | 291 | 534,728 | 396,634 | 886,484 |
| 2003 | 1,068 | 1,156 | 1,291 | 1,559 | 535 | 357 | 534,728 | 419,728 | 879,397 |
| 2004 | 1,068 | 1,113 | 1,292 | 1,642 | 536 | 313 | 566,366 | 428,653 | 891,753 |
| 2005 | 1,068 | 1,175 | 1,322(30) | 1,633 | 543 | 382 | 566,366 | 428,492 | 904,293 |
| 2006 | 1,068 | 1,188 | 1,322(30) | 1,671 | 543 | 370 | 566,544 | 430,079 | 771,003 |
| 2007 | 1,068 | 1,161 | 1,322(30) | 1,677 | 543 | 387 | 566,544 | 430,171 | 774,552 |
| 2008 | 1,068 | 1,168 | 1,322(30) | 1,648 | 543 | 387 | 566,605 | 439,433 | 774,712 |

※()内は、専門職学位課程で内数。※蔵書数は、各年度3月31日現在の数。

役員等紹介

役員

| | |
|------------|-------|
| 学長 | 伊賀 健一 |
| 理事・副学長(企画) | 大倉 一郎 |
| 理事・副学長(経営) | 牟田 博光 |
| 理事・副学長(教育) | 齋藤 彬夫 |
| 理事・副学長(研究) | 伊澤 達夫 |
| 監事 | 清水 康敬 |
| 監事 | 鈴木 基之 |

経営協議会構成員

| | |
|--------------------|-------|
| 日本女子大学理事長・学長 | 蠟川 芳子 |
| 城西国際大学長 | 工藤 智規 |
| (株)日立製作所相談役 | 庄山 悦彦 |
| (社)蔵前工業会理事長 | 庄山 悦彦 |
| (株)ぐるなび取締役会長 創業者 | 滝 久雄 |
| (株)東芝研究開発センター首席技監 | 土井美和子 |
| (財)化学技術戦略推進機構理事長 | 中島 邦雄 |
| 前日本放送協会会長 | 橋本 元一 |
| (財)神奈川科学技術アカデミー理事長 | 藤嶋 昭 |
| 学長 | 伊賀 健一 |
| 理事・副学長 | 大倉 一郎 |
| 理事・副学長 | 牟田 博光 |
| 理事・副学長 | 齋藤 彬夫 |
| 理事・副学長 | 伊澤 達夫 |
| 大学院総合理工学研究科教授 | 石原 宏 |
| 大学院情報理工学研究科教授 | 龍口 克己 |
| 事務局長 | 吉川 晃 |

教育研究評議会構成員

| | |
|-----------------------|-------|
| 学長 | 伊賀 健一 |
| 理事・副学長 | 大倉 一郎 |
| 理事・副学長 | 牟田 博光 |
| 理事・副学長 | 齋藤 彬夫 |
| 理事・副学長 | 伊澤 達夫 |
| 大学院理工学研究科理学系長 | 岡 眞 |
| 大学院理工学研究科工学系長 | 岡崎 健 |
| 大学院生命理工学研究科長 | 北爪 智哉 |
| 大学院総合理工学研究科長 | 三島 良直 |
| 大学院情報理工学研究科長 | 笹島 和幸 |
| 大学院社会理工学研究科長 | 今田 高俊 |
| 大学院イノベーションマネジメント研究科長 | 田辺 孝二 |
| 理学部長 | 岡 眞 |
| 工学部長 | 岡崎 健 |
| 生命理工学部長 | 北爪 智哉 |
| 資源化学研究所長 | 池田 富樹 |
| 精密工学研究所長 | 小林 功郎 |
| 応用セラミックス研究所長 | 岡田 清 |
| 原子炉工学研究所長 | 有富 正憲 |
| 大学院理工学研究科理学系教授 | 鈴木 啓介 |
| 同 | 高橋 栄一 |
| 大学院理工学研究科工学系教授 | 小長井 誠 |
| 同 | 鈴木 正昭 |
| 大学院生命理工学研究科教授 | 喜多村直実 |
| 同 | 岡畑 恵雄 |
| 大学院総合理工学研究科教授 | 原料 幸彦 |
| 同 | 淵上 壽雄 |
| 大学院情報理工学研究科教授 | 藤井 修二 |
| 同 | 米崎 直樹 |
| 大学院社会理工学研究科教授 | 飯島 淳一 |
| 同 | 滋夫 |
| 大学院イノベーションマネジメント研究科教授 | 長田 洋 |
| 炭素循環エネルギー研究センター教授 | 玉浦 裕 |

学長選考会議構成員

| | |
|------------------|-------|
| 日本女子大学理事長・学長 | 蠟川 芳子 |
| (株)日立製作所相談役 | 庄山 悦彦 |
| (社)蔵前工業会理事長 | 庄山 悦彦 |
| (株)ぐるなび取締役会長 創業者 | 滝 久雄 |
| (財)化学技術戦略推進機構理事長 | 中島 邦雄 |
| 前日本放送協会会長 | 橋本 元一 |
| 大学院理工学研究科理学系教授 | 鈴木 啓介 |
| 大学院理工学研究科工学系教授 | 鈴木 正昭 |
| 大学院総合理工学研究科長 | 三島 良直 |
| 大学院社会理工学研究科教授 | 飯島 淳一 |
| 精密工学研究所長 | 小林 功郎 |
| 理事・副学長 | 伊澤 達夫 |

部局長

| | |
|----------------------|-------|
| 大学院理工学研究科長 | 岡 眞 |
| 大学院理工学研究科理学系長 | 岡 眞 |
| 大学院理工学研究科工学系長 | 岡崎 健 |
| 大学院生命理工学研究科長 | 北爪 智哉 |
| 大学院総合理工学研究科長 | 三島 良直 |
| 大学院情報理工学研究科長 | 笹島 和幸 |
| 大学院社会理工学研究科長 | 今田 高俊 |
| 大学院イノベーションマネジメント研究科長 | 田辺 孝二 |
| 理学部長 | 岡 眞 |
| 工学部長 | 岡崎 健 |
| 生命理工学部長 | 北爪 智哉 |
| 資源化学研究所長 | 池田 富樹 |
| 精密工学研究所長 | 小林 功郎 |
| 応用セラミックス研究所長 | 岡田 清 |
| 原子炉工学研究所長 | 有富 正憲 |
| 附属図書館長 | 古井 貞照 |
| 附属科学技術高等学校長 | 市村禎二郎 |

事務系役職者

| | |
|----------------|-------|
| 事務局長 | 吉川 晃 |
| 総務部長 | 清水 秀一 |
| 総務課長 | 松本 胤明 |
| 人事課長 | 戸村 和弘 |
| 評価・広報課長 | 平井 陽子 |
| 事務情報企画課長 | 貴志 武一 |
| 130年事業事務室長 (兼) | 橋本 美克 |
| 財務部長 | 吉永 達雄 |
| 主計課長 | 内藤 秀人 |
| 経理課長 | 川村二三夫 |
| 契約課長 | 寺島 雄二 |
| 国際部長 | 藤田 健一 |
| 国際連携課長 | 満尾 俊一 |
| 留学生交流課長 | 大川 晴美 |
| 国際事業課長 | 箕作 康志 |
| 学務部長 | 江澤 治正 |
| 教務課長 | 延 善洋 |
| 学生支援課長 | 草薨 久男 |
| 入試課長 | 藤掛 亨祐 |
| 研究情報部長 | 真子 博 |
| 研究業務課長 | 佐野 護 |
| 外部資金支援課長 | 竹田 和彦 |
| 産学連携課長 | 稲田 一弘 |
| 情報図書館課長 | 富田 健市 |
| 情報基盤課長 | 五味 照明 |
| 施設運営部長 | 佐藤 政弘 |
| 施設総合企画課長 | 須崎 茂弘 |
| 施設安全企画課長 | 菊池 良昭 |
| 施設整備課長 | 小川 昭 |
| すずかけ台地区事務部長 | 山下 利幸 |
| 総務課長 | 高塚三枝子 |
| 会計課長 | 篠原 岩雄 |
| 学務課長 | 馬島 紀子 |
| 大岡山第一事務区事務長 | 尾方 浩一 |
| 大岡山第二事務区事務長 | 山田 豊 |
| 田町事務区事務長 | 大河原 勲 |
| 事務支援センター管理課長 | 古谷 時夫 |
| 事務局参事役 | 橋本 美克 |